

その他の食料品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	11～ 12	作業場のゴミの入った袋を、1m程離れた場所にある別棟のゴミ庫に捨てるために外に出て、数センチ程積もっていた雪を足で払った際、滑って転んだ。その際に肩を打ち、痛みは無かったので休憩に入り作業に戻ったとき、肩が上がりづらかった。	68	719	2	100 ～ 299
2017	1	7～8	入社時、会社東の従業員入口で鍵を開けようとしていたところ、凍結した足元に足を滑らせた。地面に対して左向きに仰向けの体勢で転倒し、地面に左手首をつき骨折した。	61	719	2	1～9
2017	1	0～1	揚生産時、釜で湯を沸かし湯通しをするが、生産を早める為に他者が湯を沸かして釜に湯をためたままにしておいたが、生産担当者への引き継ぎを忘れた為に生産担当者が内部を確認するため蓋を開けたところ、蓋よりも多く湯が入ったため、下部より流出した湯で両足大腿部を火傷した。	30	715	11	100 ～ 299
2017	1	17～ 18	退社時、会社駐車場で自分の車へ歩いている時に、外気温が上昇して溶けた雪が凍り、滑りやすい状態だったため転倒し、倒れた際に右手で体を支え、右手首を骨折した。	52	719	2	50～ 99
2017	1	17～ 18	就労後、工場駐車場に止めてある自家用車に乗車するため、敷地内の駐車場を歩行中、足を滑らせて左臀部および左大腿部を強打した（左股関節ヒビ、軟骨の先端欠損）。	27	719	2	500 ～ 999
2017	1	16～ 17	工場内で高さ50cmの番重から納豆の袋を（300g）1つずつ面台に移動していたとき、腰に痛みが出て、その場で立てなくなった。	47	921	19	100 ～

									299
2017	1	14～ 15	当事業所工場内にて機械清掃中、麺のかき寄せ機の棒に手を挟み、 右手甲を打撲した。	28	165	7			50～ 99
2017	1	12～ 13	食品製造工場で掃除をしている際、餃子を作る機械の電源を入れた 状態でカウンタークロスを使用して拭き掃除をしていたところ、餃 子が流れるレーンの上の押し出し口部分に右手親指を挟まれ、すぐ に指は引いたが骨折してしまった。	35	165	7			10～ 29
2017	1	7～8	朝出勤し、会社の駐車場から自分の作業場である第2工場に向かう ため会社構内を歩いていた際、食堂脇を通ったとき氷で滑って尻も ちをついてしまい、右側大腿部を骨折してしまった。	68	719	2			100 ～ 299
2017	1	11～ 12	物置の掃除をしていたところ、棚の上の物を取ろうとして、発電機 (高さ30センチ位)を踏み台にして登ったところバランスを崩し地 面に落下し、右足首を捻ってしまい受傷した。	29	371	1			30～ 49
2017	1	16～ 17	工場内生産工課N010種ミックスラインにおいて、製造終了後の豆 伸ばしコンベアー機械拭取清掃作業時、ウェスを使用し、コンベ アーを動かしながら拭き取っていた所、コンベアー上部に設置されて いるローラーに右腕が接触、右腕が引き込まれ、コンベアーとロー ラーに右腕が挟まった状態となった。	58	163	7			100 ～ 299
2017	1	18～ 19	カップ包装リフト付近で、ポーターリフト(台車)を持ってリフト に移動中、他の作業者がリフトを上げていることに気が付き、移動 中のポーターリフト(台車)を手から放してしまった為、ポーター リフト(台車)が足に接触して倒れた時に、右手を床に突いてケガ をする。	62	362	2			300 ～ 499
2017	1	11～ 12	揚物工場2階凝固ラインを清掃していた時、高圧洗浄機ポンプを停 止させないで(清掃ルールは必ず停止)左手薬指をポンプに入れ挟 まれ、左手薬指の骨折を負った。	48	165	7			100 ～ 299
		16～	1階がんも製造ラインで清掃中、清掃用具を落とし拾おうとして屈						100

2017	1	17	み、起き上がった時に、頭部の左側を記録表等を置く台にぶつけ、骨折を負った。	61	379	3	～ 299
2017	1	13～ 14	当社パスタ室で、麺茹で槽の塩分値を決定する時に、槽からボールで、お湯を採取した際、槽のお湯が突沸上昇し腕に掛り、右前腕内側に熱傷を負った。	19	715	11	500 ～ 999
2017	1	16～ 17	醤油製造作業中にバランスを崩し、木桶の底に落ち、その際に身体を強く打った。	78	371	1	10～ 29
2017	1	12～ 13	包装室で包装機付近通路にて、切り換え作業時に排出された廃棄フィルム掛けをしているときに、長く伸びた廃棄フィルムを引きずって歩いていたため、フィルムを踏んでしまい滑って転び、左大腿頸部を骨折した。	57	417	2	50～ 99
2017	1	22～ 23	野菜スライサーに円盤状の刃を取り付け、手で回転させながら異音がないかチェックしていた時、誤って右手の人差し指を刃のところに入れてしまい、指先を切創した。	25	169	8	500 ～ 999
2017	1	12～ 13	現場事務所から加熱の作業場に向かう途中で転倒し、頭部を打撲した。	59	417	2	—
2017	1	18～ 19	第二工場内国産プラントにおいて、業者と部品交換最中にバルブ開閉操作が終了し、作業場所から降りようとした際、消包剤補充専用踏み台に足を掛けようとしたが踏み外し落下し、踏み台の端に頭部を強打し負傷した。	43	371	1	50～ 99
2017	1	12～ 13	6B口ロボットケーサーの切り替え操作直後、ダンボール製函機でアラームが鳴ったため、床が濡れているところを走り出したところ、転倒し負傷した。	20	417	2	100 ～ 299
2017	1	20～ 21	製造盛付ラインで番重を台車に載せて移動中、天井のコンセントから伸びた寿司巻機の配線に番重が当たり、上部2段が落下し、頭部右部を負傷した。	67	379	4	100 ～ 299
		19～	工場内廊下に置いてある食材を乗せる台車を取りに旧スープ室から				100

2017	1	20	廊下に出て左に曲がった時に足を滑らせ体勢を崩し、右足を痛めた。	44	921	19	～ 299
2017	1	12～ 13	ラインの湯せん洗浄の為に、熱湯を入れたバケツを両手に持って仕込室から盛付室に移動の際、前の人がかざし自動ドアを開けて入室していたので一緒に入ろうとしたがドアが閉まってきた。その際、バケツが当たって熱湯がこぼれると同時に本人も転倒し、体の右ひじ、右ふともも外側に熱湯を浴びて火傷した。	75	418	11	～ 299
2017	1	10～ 11	給食室において、給食で提供する「鶏肉と南瓜のオレンジソース」用の南瓜を包丁で切っていたところ、包丁が南瓜から抜けなため、力を入れたことにより、誤って左環指を切る怪我をしてしまった。	56	364	8	—
2017	1	2～3	1Fでパンチング装置を点検している時に、往復動作をする部分に残った製品を手で取り除こうとし、別の作業員が当該作業員に気づかずに稼働スイッチを入れたため、往復動作が開始され、下がってきた部分に引き抜こうとしていた右手甲をえぐられた。	47	169	7	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	冷却室にて、ドーリー（1台約60kg）2台を運搬中、右わき腹に痛みがはしたが、そのまま業務を続けた。2週間位たった時に息苦しくなり、その後、右脇第3肋骨疲労骨折と診断される。	52	362	19	～ 499
2017	1	13～ 14	工場内1階Aライン仕込みケトン下のパルパー処理室にて、送液用ロータリーポンプの洗浄作業中、ポンプを移動させようとしたとき、送液ポンプを停止せずに洗浄用高圧ホースを外し、向きを変えるためジョイント部に指を入れた際、過って中のローター（刃）部分に左手親指を挟み受傷した。	38	169	7	300 ～ 499
2017	1	19～ 20	当社野菜処理室で、スライサー（幅：140cm、高さ：157cm、奥行：60cm）内部の食材を押させる部分が操作した通りに下りてこなかったため、その調整をしていた際に、本来はベルトコンベア（コンベアの端から刃まで：35cm、幅：30cm、*スイッチを入れて食材を乗せると稼働）の電源を切って確認するところを、電源を	58	224	8	300 ～

			切らずに左手をスライサー内部に入れ調整をしていた為、左肘がベルトコンベアに触れ、稼働してしまいそのまま巻き込まれて左手中指先端切断、左手薬指先を切創してしまった。				499
2017	1	13～ 14	本社工場内にて製造ラインにある金属検出機の正常運転を確認するため、テストピースを流していたが、手で取り上げないルールになっているが、本人の不注意により、テストピースを取り上げようとした。この際、ベルトコンベアと検出機のステンレス製ダンパーの間に指を挟んでしまった。本人が慌てて無理に手をひき抜こうとしたため、指を裂傷し、骨折してしまった。	30	169	7	10～ 29
2017	1	14～ 15	事業所内給食室において、ワゴンのトレイを洗う為に、トレイをシンクの水に浸ける作業をしていたところ、突然腰に激痛が走り、動けなくなってしまった。	46	921	19	1～9
2017	1	12～ 13	保管庫前の通路にて、洗浄作業の交代のため、急いで作業場に向かう際、濡れた床に足をもたれてしまい転倒した。	59	417	2	300 ～ 499
2017	1	22～ 23	機械洗浄を終えて、洗い場より台車にのせた部品を運搬中、床が濡れていた為足を滑らせて転倒し、後頭部と腰を打った。	63	416	2	500 ～ 999
2017	1	14～ 15	原菜室の野菜洗浄機を洗浄後、機械の底面に部品を取り付けようとしたところ、ネジが固く、無理な体勢となり、肋骨が側面にこすれ、骨折してしまった。	62	169	19	500 ～ 999
2017	1	19～ 20	当社工場内に於いて、焼きそばの蒸し器の縁を洗浄作業中、誤って機械を停止しないで作業した為、左手中指が歯車に挟まれ被災した。	59	165	8	30～ 49
2017	1	9～ 10	当日の給食献立に使用する小松菜を包丁で裁断中に、自身の手に持っていた包丁が滑り、小松菜を押さえていた左手人差し指第一節先端部を切ってしまった。一度に大量の小松菜を処理しなくては	44	364	8	—

			ならず、滑ったと思われる。				
2017	1	20～ 21	中央工場もち麦ラインSP包装場にて、スティック梱包機が稼動中異音に気づき点検をした際、スティック梱包機の計量升上のカバーがずれており、定位置に戻そうと機械を停止させずカバーを掴んだ為、前後に動いているシリンダーに左手中指を挟み負傷した。	44	169	7	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	ミソ製造をする際に、茹でた大豆を電動ミキサー（大豆すり機）に投入して、ミンチ状にする工程が終了すると、ミキサーヘッドの中に大豆が少し残ってしまう。通常は電源を切ってから、ミキサーヘッドやその中で回転しているスクリーロールを外して分解清掃する。被災者は10年以上のベテランで指導的立場にあり、毎回そのようにしていたが、今回はミキサーヘッド内の残骸大豆をとるため電源を切らず、作動中に本来絶対に触れてはならない大豆投入口に手を突っ込んでしまったため、手袋が巻き込まれて手が引き込まれ、右手中指先端を切断してしまった。	63	165	7	1～9
2017	1	8～9	自宅から車で通勤し、職場の駐車場に到着して、降車した際に路面が凍結しており、転倒して左手三角骨を骨折した。	58	719	2	—
2017	1	9～ 10	3tトラックの荷台でシートをかける作業をしている時に足元が滑り、荷台から転倒し、左肩を強打してしまった。	63	221	2	10～ 29
2017	1	16～ 17	会社工場内で水を撒いて、床掃除機で吸水していた。吸水しきれていなかった所を歩き、滑って転んだものである。	47	417	2	30～ 49
2017	1	8～9	工場内において、米のフレコンパック（1,000kg）をクレーンでつり上げ、米のフレコンパック下部の紐をほどき中身を排出する作業中に、クレーンにつるす紐が切れ、米のフレコンパックとガードパイプの間に頭が挟まれた。	56	611	4	100 ～ 299
2017	1	8～9	工場の屋根に積もった雪下ろし作業の準備をしていたところ、下屋に氷がぶら下がっていたので、棒で落とそうと叩いたところ、氷の破片が頭の上部にあたり、頭の上部が切れた。	58	719	4	30～ 49

2017	1	11~ 12	工場内ビロー機で商品のシーラ作業中、シーラ部分に右手指2本（中指・薬指）を挟み、負傷した。	64	169	7	10~ 29
2017	1	15~ 16	配送を終えて、工場へ戻って荷卸しをしていた。荷卸し中に荷物を持った他の人とぶつかった時、右手首をひねってしまった。	51	921	19	—
2017	1	10~ 11	食材を取りに、食材準備室側からチルド半製品保管庫の入った所で足を滑らせて転倒し、受け身を取ろうとして、床面についた左手の手首を骨折した。	62	417	2	300 ~ 499
2017	1	16~ 17	本社工場構内にて製粉作業を終了後、杵を順番に上げていく際、ロックが不完全だったために、杵が手の上に落下し負傷した。	61	165	7	10~ 29
2017	1	12~ 13	勤務を終えて、帰宅しようとバックヤード出入口のスイングドアを開けようとした際、ドアが強風によって勢いよく手前に開いて左手に当たり、左手小指のつけ根部分を骨折した。	46	419	6	10~ 29
2017	1	13~ 14	本社工場内、チルドBラインにてトッピング作業をしていたところ、はかりが落下したので拾おうとした際に足を滑らせ転倒し、右足を捻った。	61	417	2	300 ~ 499
2017	1	7~8	野菜加工室で、原料のきゅうりをスライサーでカットしている時に、曲がったきゅうりが引っかかってしまったので、指できゅうりを押し込んだ際、スライサーの刃で右手中指の先端を切ってしまい、7mm程欠損した。	61	169	8	100 ~ 299
2017	1	10~ 11	施設食堂ホール内を昼営業前の準備で歩いていたとき、新品に取りかえたばかりの指定靴のサイズが少しゆるくて靴の中で足が動き、ぐきっとよじれた形になってしまった。ホール床は絨毯であり、靴のサイズは合っていたが幅が広がったと思われる。	66	417	3	—
2017	1	6~7	事業所内に於いて、みたらしだんごの製造中、だんごの素となる生地を蒸練機より、バットに移しかえる際、生地を落としそうになったので、つい手が出てしまい、その熱い生地が右手（指先から肘あたりまで）に付いて負傷した。	47	165	11	1~9

2017	1	18～ 19	第一工場内惣付室フロアーにおいて、寿司新ベルトコンベアーで商品の流す作業を終えて歩いていた時に、声をかけられ振り向きざまに、左足を水で濡れた床に滑らせ転倒し、頭部右側を打ち、右手首をひねった。	55	224	2	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	すぐ前の駐車場に置いてある車の中に置いてある、水筒を取りに行き、帰る途中の通路にあるパレットに足を引っ掛け転倒し、左ひざより着地した際、下のコンクリートで強く打ち、皿が割れた。通路にパレットを置いてあったのが原因であり、今後は通路にはパレットを置かないようする。	62	379	2	10～ 29
2017	1	7～8	敷地内駐車場で、路面凍結のため足をすべらせ、体勢を立て直したが、すべり前のめりに倒れ、右手を地面につき負傷した。	18	715	2	100 ～ 299
2017	1	17～ 18	加工室から包装室へ入るドアの所で、包装室へ入ろうとした時、先に入った者が後方確認不足でドアを閉めようとし、後から来た者をドアではさんでしまった。	53	418	7	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	被災従業員が廊下を歩行中、作業室から別の従業員が台車を押しながら廊下へ出てきた為、被災従業員の背中が扉に当たって転倒し、左膝を強打して左膝蓋骨を骨折した。	61	391	6	30～ 49
2017	1	15～ 16	畜産作業場で牛、外ももを成形中、包丁を使用し脂を取ろうとした際、脂ですべって左手小指を切った。	49	364	8	100 ～ 299
2017	1	10～ 11	ランドリー室に脚立を取りに向かう途中、扉の枠の角に左足の小指をぶつけてしまった。	41	418	3	50～ 99
2017	1	23～ 24	おにぎりを製造する時に使用する加工ピローA飯成型機が、正常に作業しない為、修理をしようと成型機の蓋を開けた。蓋を開けると安全装置が作動するが、機械が止まると不具合箇所がわからない為、少しずつ成型機を動かし対応しようとした。手を入れて不具合場所を確認しようとした時、プレスと円盤に左手小指を挟まれ負	41	165	7	300 ～ 499



			傷した。脱臼と診断され、左手小指第一関節から切断する事となった。				
2017	1	8~9	給食室でまな板の上に包丁を乗せて作業台へ移動中、包丁が滑り、とっさに右手で押さえようとしたところ、包丁の刃が右中指に当たり切創した。	49	364	8	10~ 29
2017	1	21~ 22	包装室で、複数ある包装機の管理作業中に、1つの機械を見ながら、別の機械の方へ移動中、足元に置いてあるバケツに気づくのが遅れ、さっと避けて足をついたが、バランスを崩し転倒、右足を負傷した。なお、バケツは定位置に置かれていた。	45	379	2	100 ~ 299
2017	1	15~ 16	駐車場出入口の鉄の門扉を押して閉めようとした際、予想以上に門扉の動くスピードが速く、門扉下部のフレームに右足首をぶつけた。前日は雪が積もっており、強く押さないと中々動かなかったが、当日は雪も少なく、押して少し手を離し前進したが、予想以上に動きが速く、フレームが右足に当たり負傷する。	47	391	6	1~9
2017	1	7~8	敷地内で、雪で滑って転んだ。	72	417	2	1~9
2017	1	16~ 17	味噌フィルム機と具フィルム機の間を、生産後の機械の拭き掃除中に、機械の上を渡る踏み台から、1段低い踏み台のあるところで、拭き掃除をしながら移動し、一段下がった踏み台から床に足を下ろす際に、床を見ないで降りたため、右膝で音がして違和感を感じ、痛みと腫れで歩行が困難になった。	54	413	19	100 ~ 299
2017	1	10~ 11	洗い場にて、残飯廃棄用のカゴを持ってこようとして台車に乗せて運んでいたところ、床の油で足を滑らせ転倒しそうになり、膝をついたその衝撃により股関節及び腰に痛み・炎症が発生した。	58	417	2	50~ 99
2017	1	13~ 14	会社に出勤して、更衣室で作業着（ズボン）に着替えていたところ足を滑らせ、体の左側を下にした形で転倒した。左足がしびれ、動こうとすると激しい痛みがあり、床に座ったまま立ち上がれなくなり、後日に大腿骨骨折と診断された。	46	416	2	300 ~ 499

2017	1	10～ 11	弁当を納品中、14段の階段を上りきった時に立ち眩みがし、14段の階段を転げ落ち、左目下を負傷した。メガネの破損が原因と思われる。	53	413	1	50～ 99
2017	1	8～9	当社内の原料庫搬入口にて、3メートルのはしごに登ってビニールシャッターを清掃中、誤って落下し負傷した。	60	413	1	1～9
2017	1	8～9	1F冷凍茹で槽前にて、超鮮度うどんの製造中に、ザル状のカゴが槽に引っかかったので1人で引き抜こうとしたところ、うどんが入ったザルを傾けてしまった為に、熱湯が右足にかかり火傷を負った。	16	391	11	100～ 299
2017	1	17～ 18	仕上げ室にて、空荷リフトをバックで運転し車体の後に降りようとした。完全停止をする前に左足を車外に出してしまった為、パレタ柵と惰性で動いているリフト後部に左足が挟まれ、左足かかと付近を裂傷した。	25	222	7	10～ 29
2017	1	2～3	調理室でフライヤー2号機に食材を流す作業をしている時、フライヤー1号機と2号機の間を移動する際、台車を跨ごうとしてバランスを崩し前方へ転倒した。定期清掃を行っているがフライヤー周囲の床は、フライ油が付着する事があり、被災者の作業靴もかかと部分がやや摩耗していた。	65	417	2	300～ 499
2017	1	1～2	製造室にて、麺帯を伸ばしてカットする機械のカッター下にある鉄板部分を清掃しようとしていた。機械の停止ボタンを押したが、完全に刃が停止する前に、カッター部の下に左手を入れた為、動いていたカッターの刃によって、左手の第2～4指が第一関節部分で切断された。	60	165	7	100～ 299
2017	1	14～ 15	派遣社員が、毎月行われる工場内清掃業務のとき、タンク内を掃除機で清掃後に高さ2mの場所から掃除機を降ろす際に、隣接している柵に右肘を接触させ負傷した。	35	419	3	30～ 49
2017	1	7～8	当社作業場内において、製造開始準備で消毒用アルコールを取りに行くため小走りに急いでいたところ、右足が滑り転倒し、左手を地面につき負傷した。	63	417	2	30～ 49

2017	1	16～ 17	麵製造工場1階にて麵を製造している時、2階で麵がたまり、1階から2階へ麵を運ぶチェーンと麵をかけている棒がからまり、そのからまりを直す為チェーンを引っ張った時、チェーンと歯車の間に指がはさまり、左手薬指を負傷した。	41	165	7	10～ 29
2017	1	11～ 12	加入用の麵が入った番中（約10kg）を無理な姿勢で持ち上げたところ、腰（左側）に突然痛みを感じた。動けないほどでもなかったので仕事を続けたが、痛みが増し、ぎっくり腰および筋損傷と診断された。	53	611	19	500 ～ 999
2017	1	11～ 12	被災者は当社作業場内に於いて、商品の入ったコンテナを台車の上に積み上げる際に反動をかけて置いたため、背中に痛みが生じた。	67	921	19	50～ 99
2017	1	15～ 16	当社工場で冷凍製品包装作業中に、冷凍庫の中で冷凍剤未包装の製品を取り出す際、足を滑らせ胸を打ち、肋骨を骨折した。	47	416	2	1～9
2017	1	13～ 14	仕分け作業員が、おむすびラインと連続巻き機の間を歩いて休憩に行く際に、寿司ライン付近の床が濡れていたため転倒した。寿司ライン清掃中で床が濡れていたことを知らず、足を滑らせ転倒した。	62	417	2	100 ～ 299
2017	1	8～9	工場の通路にある棚のところで、調理場の漂白剤を補充するため漂白剤のビン（ペットボトル）の入れ替えの際、ビンを棚に戻そうとしたときにバランスを崩して転倒し、股関節部分に痛みが発生した。その後、骨にひびが入っていることが分かった。	75	417	2	30～ 49
2017	1	14～ 15	当事業場内で、充填機械で缶銅に蓋を巻き締める作業をしていた。作業中、缶銅に右手を置いたまま作動してしまい、機械で右手親指を骨折した。	30	169	7	10～ 29
2017	1	8～9	センター内下処理室にて、計量機を移動しようとした際に、ロックが掛かった状態に気付かず、勢いよく無理に移動しようとした為、右手親指を脱臼してしまった。	48	391	19	30～ 49
			当社事業場内に於いて、車庫の屋根（塩ビ製の波板）が一部破損し				

2017	1	16~17	ていたので、破損箇所の張替補修終了後、屋根から降りるためハシゴのある場所へ移動しようと、母屋部分を歩行途中、左足を着いたときに母屋（木）の一部が折れ、そのまま真下へ落下（2m70cm）し、左手で地面に着き、左腕を負傷した。（ヘルメット着用、スニーカー履き、体重65kg）	58	415	1	1~9
2017	1	0~1	左手にしびれを感じ、中指にも痛みが出始めたため検査した結果、手根管症候群と中指ばね指と診断された。	61	921	19	—
2017	2	9~10	学校給食センター加熱処理室で、清掃作業中床を消毒する塩素水を取りに行こうとした時、床が濡れていたため滑り転倒した。その際右足を捻り右足関節部を骨折した。給食センターの床はドライ方式で通常床面は乾いている。洗浄作業中については、床面が濡れる場合もあるため、足元に注意し作業していたが転倒してしまった。	51	417	2	10~29
2017	2	13~14	工場内、肉魚処理室の冷凍肉スライサーにて豚原木のスライス作業中、原木に右手を添えた状態でスライスを行っていたところ、右手が滑って回転刃に接触し、親指付け根、薬指爪先を被災した。	59	165	8	500~999
2017	2	12~13	工場内洗い場においてパート2名が作業、1名が排水溝の清掃を行っていた。もう1名は排水溝が開放しているのを聞き取り確認はしていたが別作業中に自分が持っていた用具で視界が悪く誤って転落した。（排水溝深さ70cm）（面積50cm×50cm）	67	418	1	50~99
2017	2	14~15	加工場サンドイッチラインでサンドイッチの製品にラベル貼り作業をしており、その作業が終了したので次の作業のサンドイッチのカット作業をする為に早歩きで移動した。サンドイッチカット作業位置付近がその直前に濡れており、拭き上げた直後だった為左足を滑らせ転倒した。	35	417	2	300~499
2017	2	9~10	営業で外出する時に、事務所の入り口のガラス製の扉の前で躓き、ガラスの扉に激突した。割れたガラスの破片により、左胸に怪我をした。	33	419	3	—

2017	2	17~18	朝食の対応中にコーヒーの出し終えた粉を捨てようと持って移動していた際に、誤って鍋にぶつけてしまい、反動で左腕、手首付近にかけてしまい火傷を負ってしまった。	49	341	11	300 ~ 499
2017	2	10~11	当調理場女子トイレ内でトイレ用サンダルから通常使用のスリッパに履き替える際、一段高くなった床の上で滑り、右手・右肩の順で前方へ転倒した。右膝関節が外れたとの自覚があり、そのまま這ってトイレから出て助けを呼んだ。	43	417	2	30~ 49
2017	2	16~17	当社、仕入荷受室で、カーゴ台車をサニテーション作業をしている時、しゃがんだ姿勢で収納状態のカゴ台車の側面を開いた後、安全バーが解除されていた為、底板が落下してしまった。頭部額に接触したと同時に、受傷者も横転した。	59	362	6	500 ~ 999
2017	2	10~11	野菜室においてキャベツの芯とり機の清掃中、ゴミを取ろうとして右手を入れたところ、刃に当たり右手小指と中指を怪我してしまった。	60	165	8	50~ 99
2017	2	10~11	当事業所内において、コンベアーより流れてくる製品が入った発泡スチロール（重さ6kg、縦28cm、横41cm、高さ25cm）をパレットに積む際、左膝を捻って痛めたものである。	42	921	19	50~ 99
2017	2	10~11	食材の配送作業中に配達先の施設の敷地内にて荷物の積み込み作業中、入口の段差のある所に足をとられ転倒してしまった。その際に左足首をひねり負傷した。	32	417	2	100 ~ 299
2017	2	16~17	加熱室にて、モツのタレを作り、ビニールにパッキングした後、後方にあるカゴに入れようと歩いた際、床が濡れていたため滑って転倒し、床に手をつき左手首を骨折の負傷をした。	54	416	2	50~ 99
2017	2	16~17	工場内でキャベツ洗浄機の部品を取り付けようとした時、キャベツ洗浄機の腰より上の高さの水槽に身を乗り出して水槽の奥（奥行120cm位）部分に部品を取り付けようとした際、手に持っていた部品が重かった事と無理な体勢だった為、水槽の縁に乗り出した右脇	51	612	19	100 ~ 299

			腹部分に体重がかかり右肋軟骨骨折した。				
2017	2	14~15	2階粉ミキシング室にて餃子の生地を攪拌機にて製造中、生地の状態を確認する為に機械の蓋を開ける。通常では蓋を開けるとリミットスイッチが機能し機械は停止する構造であったが、粉等によりリミットスイッチが固定してしまい、停止する事なく稼働を続けてしまった。本来であれば直ぐに機械を止め、機械の不具合を直さなければならないところ、稼働した状態のまま機械の中へ手を入れてしまい、その際に攪拌棒に右手が挟まれ被災する。	20	162	7	300 ~ 499
2017	2	16~17	製麺室にて作業用の手袋を装着した状態で、焼きそば用の麺を圧延する作業時に、圧延機（以下ロール）に送り込んだ麺と一緒に人差し指の手袋が巻き込まれ指先を負傷した。直ぐに非常停止ボタンを自分で押し、自力で指を抜く。	63	163	7	300 ~ 499
2017	2	7~8	焼成Aラインの調合作業時、調合タンクからストックタンクへ送液する為のスイッチを押す為タンクの奥に移動した際バランスを崩し転倒してしまった。	61	416	2	50~ 99
2017	2	21~22	野菜人参原料の皮むき機で作業終了後、機械の移動中機械を持っていた左手が外れてしまい尻餅をつく形となり、その際に咄嗟に手をついてしまった事により強打し打撲となってしまった。	50	165	2	300 ~ 499
2017	2	16~17	原料処理肉処理室の作業台に取り付けてある脚が一カ所折れており、作業中に折れている脚と床の間に右足が挟まり転倒した。その際手に計量器を持っており、即座に身体を支えることが出来ずに左足の膝を床に強打して骨折した。	67	391	2	500 ~ 999
2017	2	10~11	製造2課盛付室にてAが作業中Bの後を移動中に作業車Bが急に振り返った。その際肩が接触したためよろめき転倒しそうになり、顔面と腰背部をコンベア台にぶつけて打撲した。	66	911	3	100 ~ 299
2017	2	8~9	朝礼終了後に現場へ移動中にヘッサー室裏の通路を歩行していた。工事によって一時的に置いていた空台車の色と通路の色が緑と同化している上に荷受け場の工事資材を見ながら歩いていたため、気付	32	362	2	—

			かず躓いて転倒し、手をついた拍子に負傷した。				
2017	2	18~19	包材の交換作業のため、外装を外そうとしたところ、包材が足に落ちた。作業台での交換作業を止め、番重に横置きすることで包材を傾けた状態で作業することをなくした。	19	611	4	100 ~ 299
2017	2	10~11	野菜カット洗浄室での事故である。野菜をカットするスライサーにネギを入れてカットしている時、スライサーの投入口がネギで詰まったため、手で強く奥に押し込んでいたが、その際誤って指がスライサーの刃の部分に接触してしまい、右手中指先を裂傷したものである。	20	165	8	100 ~ 299
2017	2	8~9	厨房非加熱室にて野菜の下処理のために野菜をカットしていたところ、敷いていたまな板がだんだんずれてきて、右脚つま先部分に落ち負傷したものである。	73	379	4	100 ~ 299
2017	2	20~21	加熱の下処理室でしょうゆの箱（10kg）を一気に持ち上げ、中身を樽に移そうとした際に腰に激痛が走り、動けなくなった。	63	611	19	300 ~ 499
2017	2	3~4	重さ約20kgの番重を持ち作業した。帰宅後痛みを感じたと本人から連絡があり、後日病院へ行った。	23	611	19	300 ~ 499
2017	2	16~17	被災者は当日の派遣就業先である工場にて業務終了時の清掃を行っていたところ、他の派遣会社のスタッフ2名が運搬するシンクが右ふとももにぶつかり負傷した。原因として、シンクが動くであろう位置に被災者が立っていたところである。その位置に立っていなければ事故は防げた形である。	50	611	6	30~ 49
2017	2	11~12	銀行内食堂調理場にて、きんぴらごぼうの人参をカットしていたところ、補助さんと行員さん（お客様）との対応が気になりよそ見をしながら作業してしまった為、誤って自分の左手小指を切ってしまった。	53	364	8	—

2017	2	23~24	盛付室内で計量し終わったチャーハンを台車に積んで運んでいる時、床が濡れていることに気付かず、滑って転倒した。その際、腰を強く打った。	32	417	2	300 ~ 499
2017	2	14~15	当事業場2階工場内仕込室において、砂糖等の使用済み材料の付着した寸胴（直径35cm、高さ33cm）を洗浄する作業中、熱湯の入った寸胴から排水溝へ熱湯を捨てる際に誤って手を滑らせ、左足長靴の中に熱湯が入り、左足の足首から甲にかけて、火傷した。	30	379	11	30~ 49
2017	2	9~10	給食調理室の調理台で人参を刻んでいたところ、切り終わりの際に人参が不安定になり、包丁が滑ってしまい、左手親指の先を切創してしまった。	43	364	8	100 ~ 299
2017	2	16~17	水菜処理のなぎ刃を落とし、刃が欠けた。資材庫に代替刃を取りに行った際、素手で新刃の袋を破る時に、破り損ね、刃が指に当たってしまい負傷に至る。	45	364	8	50~ 99
2017	2	8~9	工場内で作業中、食品を入れる容器の蓋がかなり古くなっているのに気づき、廃棄しようと、隣接する物置き場に持って行ったところ、そこに重ねて置いてあった台車（カート）の脚か手すりにエプロンの裾が引っ掛かり、躓いて前のめりに転倒した際、右手で床を着いて倒れ、右手首を骨折する怪我を負ってしまった。	54	417	2	30~ 49
2017	2	10~11	PF餃子ラインの餃子成形機に部品を取り付け、止め具を内側に締め上げた際、両手にビニール手袋を装着していたが手元が滑り、後方に尻もちを付く形で転倒した。当日は痛みがなかったが、翌日午前中に痛みが出て来て、病院を受診したところ、腰の骨が折れていた。	59	416	2	50~ 99
2017	2	14~15	加工場にて箱取作業（コンベアベルトで流れ作業で盛付後ラップ機を通り完品となった物にラベルやシールを貼って製品番重に取っていく）中、台車に製品を入れた番重を1段入れた状態のものに躓き、転倒し右膝を強打した。本人の癖で作業台と自分の間に製品番重を置くので慌てると同線上のものに躓きやすい状態にある。	60	417	2	300 ~ 499



2017	2	10~11	カット工場内で、野菜の入ったカゴを持ち移動中、床面に野菜の残渣が落ちていたため滑って転倒した際胸を打ち負傷した。	42	417	2	50~ 99
2017	2	10~11	会社の料理などの出荷口の階段で料理などの荷出中に足を滑らせ転倒した。その際、左方、左腰を打撲した。	38	413	2	100 ~ 299
2017	2	18~19	結婚式場において披露宴終了後、後片付け中転倒し、とっさに右手をついた為全体重が右手にかかり小指の下を骨折してしまった。	70	416	2	—
2017	2	5~6	1階の仕事場（野菜処理室）から2階トイレに行ってみようとした時、最後の階段を踏み外して右足の甲を骨折する。	53	413	3	100 ~ 299
2017	2	11~12	工場内にて麺計量機から降りようと階段（2段）を降りたところ、段を踏み外し、転落（21cm×2）した際、階段に背中を打ち負傷した。	51	413	1	10~ 29
2017	2	14~15	会社所有の茶畑で、茶葉の選定のため茶摘み機を運転していた。茶畑の東南の端にバックで機械を移動させた際、畑の右後方が急勾配になっていた箇所に機械の右後部キャタピラーを落としてしまい、機械が後ろ向きに転倒し、約1m下の斜面に機械ごと落下した。機械と地面の間に胸部を挟まれ、圧迫されたものと推測する。事故発生時には一人で作用していたため、正確な状況は不明であり、搬送先の病院で死亡が確認された。	53	169	2	—
2017	2	17~18	いつも作業を行っている包装室内で、包装ライン作業が全て終了した後に行う清掃作業中、机の拭き掃除を行った際に、その机の両脚をつなぐステンレス製の補強材の裏面の巻き込み部に手指を突っ込み拭いていたら、そのステンレスのカット面で手指を切った。	56	379	8	100 ~ 299
2017	2	14~15	日勤調理社員が、調理用ニーダーの前に食材の入ったバットを台車ごと移動した。次の食材を取りに移動しようと身体の向きを変えた時、左足がその台車にかかり、前のめりとなった。この時、右	26	417	2	500 ~

			手を強く床についてしまい、肘を痛めた。その後、痛みが引かなかったので通院したところ右肘関節脱臼と診断された。				999
2017	2	15~16	圧延機の清掃中、ローラーを布で拭いていた際スイッチを切らずローラーが回っている中に布が巻き込まれ、指（親指、人指し指）と一緒に巻き込まれた。	61	163	7	30~ 49
2017	2	5~6	トッピング室で掃除をしている際、水を撒いて汚れを落とそうとしていたら滑ってしまい、床に手をついて骨折した。	57	417	2	500 ~ 999
2017	2	18~19	工場内加熱調理室オーブン前のテーブルにて、カルビ肉を鉄板に並べ、並べ終わった肉を加熱蒸気オーブンに入れる作業を数人でしていたところ、他作業者の動きに気をとられ足を滑らせて転倒し、テーブルの角で顔面を強打した。	61	416	2	300 ~ 499
2017	2	17~18	1号釜で麺を茹でる時に機械を始動させても釜が動かなかったの で、釜上部の駆動部分を確認しようとステップ台を出さない状態で上に足を掛け、確認後降りようとした際、足を滑らせて転落し、2号釜のステップ台で腰部を強打し負傷した。	36	416	1	100 ~ 299
2017	2	15~16	当社事業所学校給食センター内において、洗浄中、食缶を洗浄している時に、少し洗浄機から視線を外した際、洗浄機のベルトに食缶が巻き込まれて、食缶の取っ手部分と洗浄機入口に手を挟まれて、左手薬指を負傷した。	52	611	7	30~ 49
2017	2	16~17	第一工場造粒課北側廊下において、天井埋め込み型エアコンの脱落・洗浄作業時に、洗浄終了した後、一人で脚立にのぼり天井へ再度組み付けを行う際、最後に取り付けるカバーが不安定な状態となり（一旦取り付けたものが再度外れた）、バランスを崩し、1.1mの高さから背面より真後ろに身体をひねりながら転落し、両手首及び右胸部を打撲した。	42	371	1	100 ~ 299
			次の製造アイテムの具材等準備時、アルコールが入った容器を取りに行き元の場所に戻ろうとしたが、ダスターを持って行かなければ				300

2017	2	10~11	いけない事に気づき、ダスターを手に取り、振り返った際に、折り畳作業台の脚に引っ掛かりそのまま膝から転倒した。	70	379	2	~ 499
2017	2	10~11	工場内のゴミ集荷場において、ゴミのコンテナ（1200×1800×800cm）をフォークリフトで上げてトラックの荷台に移し替える作業中、足場を作って作業する規定があるにもかかわらず、足場を作る作業を怠ってしまいトラックの荷台からゴミのコンテナに乗り移ろうと足を掛けた際、ゴミのコンテナがバランスを崩して1.2mの高さから落下したものである。	35	611	1	50~ 99
2017	2	21~22	切物室よりウィンナーの入ったバットを持ってトッピング室へ向かう際に切物室出入口にあった空バットに気が付かず躓き前のめりに転倒した。その際に左手首を打ちつける。	61	379	2	300 ~ 499
2017	2	8~9	給食センター北側の物資搬入口にある段ボール置場（地上より80cm高い）にて、潰した段ボールの積み込み・整理作業をしていた。両手に段ボールを持って運ぶ途中、積み込みからはみ出していた段ボールで床面が覆われ、床面が無い部分に気付かず踏み込んで右半身を下にして落下し、右大腿部を打撲した。	63	419	1	30~ 49
2017	2	5~6	製造終了後、2F加工室のリネン室にタオルを取りに入った際、リネン室を出る時に足を滑らせ転倒し、右手を床に着いた。その時に右手首を骨折した。	56	416	2	300 ~ 499
2017	2	12~13	次亜塩素酸ナトリウム20kg（以下、元の容器）から使い易いように小分けの容器に移す際、元の容器の注ぎ口が外れて、両足の太ももから膝下と左腕肘から手首にかけて液体を浴び薬傷を負った。	62	512	12	1~9
2017	2	7~8	給食弁当工場内において台車に弁当箱が20個入る「番重箱」約4kg~5kgを10段重ねて台車に載せて配送トラックまで運ぶ途中、水路に網式の鉄板が敷いてありその段差で「番重箱」が傾いたため、両手と身体で倒れないように無理な姿勢で支えた時、背中と腰部に強い痛みがはしった。そのまま配達を優先したが痛みが取れず翌日	65	362	19	100 ~ 299

			受診して圧迫骨折が判明したものである。				
2017	2	8~9	乾燥室にて内干しの最中、湿度が高くなり床面が湿気を帯び足を取られ滑り転倒し、左手首と左肩を強打する。	67	418	2	1~9
2017	2	5~6	バット洗浄室で、バットの洗浄中、濡れている床で足を滑らせ転倒した。体の左側、腰から肩、顔にかけてを床面で打ち打撲・捻挫を負った。	41	416	2	100 ~ 299
2017	2	9~10	2階加熱室の冷蔵庫に使用した原料（たけのこ）500gを置くの保管棚に置きに戻ったところ、床がエマテックの溶液（ほぐれ剤）で濡れており（油膜が出来て滑る状態であった）滑って左膝を強打した。	65	417	2	300 ~ 499
2017	2	1~2	第二工場作業場内において、包装機搬送チェーン清掃中、清掃に使用していたウエスが搬送チェーンとローラーに巻き込まれ左手指を裂傷、靭帯損傷した。	21	224	7	100 ~ 299
2017	2	16~17	床に座ってブラシと雑巾と剥離剤を用いてワックスを除去していたところ、立ち上がろうとして足を滑らせ床面に転倒し、脱臼した。	68	416	2	100 ~ 299
2017	2	11~12	工場内で、じゃがいもを切っている際、じゃがいもが包丁にへばり付き取れなかったため、包丁を左手で持ち右手でじゃがいもを取ろうとした時に手が滑り右手指を負傷したものである。	47	364	8	30~ 49
2017	2	22~23	工場内食器洗浄器室において、食器洗浄の作業中、周りに物（回収した食器のコンテナやゴミ入れ）を多く置き過ぎていた為に、食器の入ったコンテナに引っ掛かり、ゴミ入れに躓いて転倒した弾みで右手を床についたことにより負傷したものである。	69	416	2	30~ 49
2017	2	9~10	廃水作業から出る余剰汚泥を肥料に加工して、紙袋に15kg詰めている。紙袋をビニールひもで結束する作業中、ビニールひもを、農作業の鎌を使用して切っていた時、誤って鎌先が、ゴム長靴の上から当たり作業者のゴム長靴を超えてくるぶしを負傷した。	46	364	8	30~ 49

2017	2	18~19	おにぎりの具製造ライン包装工程で2名がオペレーター業務に従事していた。箱詰製品の結束機のバンド詰まりが発生したため、オペレーターAは製品の横取り作業を行い、一方のオペレーターBは結束機のバンド詰まりの対応に当たった。Bが詰まりを処置し復旧後、Aが箱入れ作業の補助に当たるべく移動しようとしたところ、床上にあった結束機詰まり処置後の不要のバンドに足を取られ、勢いよく転倒し右膝を床に強く打ちつけた。	57	529	2	300 ~ 499
2017	2	8~9	自動玉子焼機で玉子焼を製造中の事故である。玉子が二枚重ねで焼けた時点で軍手をして形を整えていた時、手を離すタイミングが遅れて機械の蓋に左手親指を挟んで負傷した。（整形が必要な時だけ行う作業し、本来なら機械が18秒程度停止している間に作業するが今回は遅れてしまった。）安全対策としては、蓋押さえの下りる箇所に停止ボタンを設置し、押さえの動作スピードを以前よりも遅くした。また、以前から手を入れないようにしていたが、今後も機械内に手を入れないよう周知徹底した。	67	165	11	1~9
2017	2	14~15	給食センターの正面玄関を出て、東側を回って検収室へ向かう途中の植木のそばで、洗浄するザルを急いで取りに行こうと走っていた際に、慣れない給食センターのスリッパを履いていたため、躓いた拍子に足がスリッパに引っ掛かり、顔面から倒れそうになったので、右手をついたが、その後、顎を地面に打ちつけた。	57	417	2	10~ 29
2017	2	23~24	工場内で容器が入っているダンボールから容器を投入しようとした際に、上部で詰まり、滑って落ちてきたので、下のダンボールとの間で受けようとした際に、挟まり右手中指を痛めた。	62	611	7	100 ~ 299
2017	2	10~11	厨房内の調理場で昼食の準備のため、包丁でじゃが芋のいちょう切りをしていた際、誤って包丁で左手中指を切ってしまったものである。	29	364	8	—
			校内の廊下で給食を配膳する食缶の回収作業を行っている際に、配膳室付近の死角から飛び出して来た生徒と衝突した。その際に、				50~

2017	2	12~13	その生徒が覆いかぶさり、受け身の取れない状態で後ろ向きに転倒し、全身を強打した。	52	999	3	99
2017	2	19~20	商品の搬入口で、パレットに商品を積み付けしている最中に、別の現場作業員が搬入口で作業している事に気付かず、シートシャッターを下ろしてしまい、頭部にシートシャッターがぶつかった。	41	391	6	300 ~ 499
2017	2	8~9	調理室において、給食の調理中、左手に人参を持ち、人参の上下を切り落としていた際に包丁が滑り、左手小指を切った。	50	364	8	50~ 99
2017	2	8~9	工場内において玉ねぎカット作業中、誤って包丁で左手中指の指先を切り負傷した。	61	364	8	30~ 49
2017	2	17~18	勤務時間が終了し、帰る為にピッキング室を通った際、番重がのった台車に気付いていたが、急いでいた為、うっかり番重に足を入れてしまい、前方に転倒した。その時、右手はエプロンを持っており、左手で体を支えた為、左手手首を骨折した。	67	416	2	100 ~ 299
2017	3	15~16	洗浄室にてカート洗浄中、洗浄水ストッパーを閉止しようと横に移動したとき、カート洗浄台スロープに左足を乗せたところ滑り、洗浄中のカートに左肩を強打し受傷した。	64	362	3	100 ~ 299
2017	3	17~18	被災者は、廊下を通行していたところ、開いたスイングドアに気づき避けたが、避けたところの床タイルがはがれていたため、はがれたタイルに躓き転倒して左太もも付近を打った。	63	417	2	100 ~ 299
2017	3	12~13	本社工場内で小袋定量包装機のフィルムシール部分の調整をする際、マニュアルには「機械を停止して作業を行うこと」と定めており、調整するために安全カバーを開けると機械が停止する安全装置を設置しているが、機械を停止せず安全カバーの下から手を入れてシール調整をしたため、整袋したフィルムを切断するカッター部に左手人差し指を挟み、第一関節上部より切断した。	43	169	8	100 ~ 299
			本社工場内において、フォークリフトのフォーク（積荷台部分）の高さを変更するため、左側のフォークを外してフォークレールに掛				10~

2017	3	11~12	けたが、掛け方が浅かったのでレールよりはずれて落下し、左足を負傷した。	64	222	4	29
2017	3	5~6	出勤時に自家用車を駐車場に止め、物流プラットフォーム前を歩行中、積雪により段差のところで滑って転倒し、左肩を強打した。	70	719	2	100 ~ 299
2017	3	9~10	常温庫に入ろうとしたとき、設置されているシートシャッターが上に上がっていたので、通過しようとしたところ、シートシャッターが下りてきて、シートシャッターの下部が頭頂部にぶつかった。	62	391	6	500 ~ 999
2017	3	11~12	工場の牛タンの皮むき場にて牛タンの皮を剥いている際、誤って手が滑り、皮剥機の刃で左手中指を切った。	20	165	8	50~ 99
2017	3	16~17	厨房で夕食のすまし汁を鍋からポットに移しかえているときに、隣の人にぶつかってすまし汁が左手の指にかかり、左手指5本を火傷した。	64	379	11	30~ 49
2017	3	10~11	本社工場内にある冷凍庫（庫内の温度マイナス20度前後）内の冷凍品（肉・タレ等）を片付け作業中（冷凍庫内と外を行ったり来たりしていた）、体調不良を感じ休憩をとった。そのあと体の冷えを緩和しようと外（外気温9.7度）に向かう途中で転倒し、外に出てもう一度転倒し、その際に額を打ち出血した。	66	715	11	30~ 49
2017	3	11~12	漬物原材料である酒かす（20~30kgの容器に入ったもの）を2人で引き取りに行き、酒かすを運搬中に左足で膝部分に激痛がはしり動けなくなった。	36	611	19	10~ 29
2017	3	9~10	揚玉を脱油機に移動するバケットコンベアのチェーンが外れていたため、元の状態に戻そうと試みたところ、チェーンと歯車の間に左手中指が挟まれ一部欠損した。	62	165	7	10~ 29
			当社工場内ベーカリーライン包装装置において、梱包作業中、梱包用のフィルムが無くなったため、新しいフィルムと交換し包装機を動かしたところ、フィルムが詰まってしまったため、包装機を一度止				

2017	3	11~12	め、詰まりを排除したあと再度動かそうとしたが、朝から包装機が不調でラインが遅れていたために焦ってしまい、本来「フィルム手動」のスイッチを押してフィルム先端を排出側まで送ってから起動ボタンを押すが、「フィルム手動」のスイッチを押さずに起動させたため、本来動かないトップシーラーにフィルム先端を引っ張っていた左手人差し指を挟まれ負傷した。	20	165	7	50~ 99
2017	3	2~3	もやしを選別するステージ上で足を滑らせてしまい、転倒しないように強く足を踏んばった際、右足首付近に痛みが生じた。その後も痛みがひかず、右足の骨に亀裂が入っていることが分かった。	35	921	19	50~ 99
2017	3	10~11	被災者は当社工場内ローラー掛け通路において、当時清掃中で床が濡れていたため、清掃作業員が口頭で注意を促していたが足を滑らせ、左手をつき、左手首を負傷した。	67	417	2	100 ~ 299
2017	3	6~7	野菜下処理室にて、排水弁の蓋を閉めようとした際に足で閉めようとして滑って転倒した。	62	521	2	500 ~ 999
2017	3	12~13	本社1階乾物工場にて、金属探知機ライン内部のベルトを座ってメンテナンス中に、別作業員がメンテナンス中であることに気づかず、スイッチを入れベルトが回り右手中指を挟み骨折した。	41	121	7	300 ~ 499
2017	3	10~11	新棟中央階段でトイレに行くために階段を3階から2階へ歩いて降りようとしたとき、左足を踏み外して踵を下の段の角にぶつけた。	27	413	2	100 ~ 299
2017	3	17~18	会社調理場で回転釜のお湯に野菜（玉ねぎ）を入れるとき、回転釜のお湯がこぼれて左足にかかってしまい、膝下を火傷した。	38	341	11	30~ 49
2017	3	16~17	清掃道具等置いてある場所で後片付けをして、ダンボール・ゴミ袋等処理しているときに段差のある場所をつまずき、足を捻って転んだ。	67	413	2	10~ 29
			第七工場1階計量室からゴミを両手で抱えてオープンスペース側に				100



2017	3	12~13	移動していた。計量室出入口付近にあった台車に視界不良のため つまずき、台車の持ち手部分に右胸部を打ちつけ、肋骨に亀裂骨折 を負った。	42	362	3	~ 299
2017	3	15~16	下処理室よりゴミを持って出たところで、床が濡れていたため滑り 転倒し、右手を強打して手首を負傷した。	64	417	2	50~ 99
2017	3	16~17	深絞り真空包装機で厚焼き玉子の包装中、上材フィルムがなくなっ たことに気づきタッチパネル操作盤のストップボタンを押し、下材 フィルムが熱板にくっつかないように下材フィルムを押し下げしてい たところ、ボタンがきちんと押されていなかったため、下側の金型 が上昇してしまい上下の金型に挟まれて火傷した。	45	165	7	50~ 99
2017	3	11~12	工場内組立ライン積込場所にて、台車に載った荷物（食材）をロー ルボックス（カゴ台車）に積み込んでいた際、置いたままの空の台 車に気づかず、次の荷物を両手に持ち作業を続けていたところ、空 台車に足が引っ掛かり滑って転倒し、膝を床に強打し、左膝を骨折 した。	52	362	2	500 ~ 999
2017	3	10~11	包装室にて空番重を台車ごと移動する際、上段の番重がしっかり重 ならずずれていたため、はずみで上段の番重が落下し、奥で作業し ていた検品者の頭上に落下した。	42	379	4	300 ~ 499
2017	3	19~20	洗った食器を乾燥機の中に入れ、先に入っていた調理器具を片付け ようと両手に持ち、2~3歩進んだときに滑って転倒し、胸を強打 し、首を捻って痛めた。	68	416	2	30~ 49
2017	3	9~10	ライスセンター内資材倉庫で台車から油缶（約15kg）を降ろして いるときに、腰の右側に痛みがはしり身動きができなくなった。	43	921	19	100 ~ 299
2017	3	15~16	ダンボールを手に持って、人とすれ違う時に少し右に寄ったとき、 荷物の置いてあるパレットの端につまずき、転んで膝を打った。	70	379	2	500 ~ 999

2017	3	17~18	キッチンにて清掃中、ラックの上段から天板が落下し、右足親指付け根と爪の間に当たり、不全骨折を負った。	21	391	4	100 ~ 299
2017	3	17~18	会社送迎バス降車時に右手小指をドア付近に引っ掛け、中手骨亀裂骨折を負い、全治2週間で休業1ヶ月の見込みとなった。	62	231	8	100 ~ 299
2017	3	9~10	機内食盛り付けに使用するベルトコンベアの清掃のため、ベルトコンベアのスイッチを入れた際、すでにベルトコンベア最後部でベルト回転部分の清掃を行っていた当該パート社員の右手親指付け根部分が回転部に巻き込まれ、関節を骨折した。	58	224	7	300 ~ 499
2017	3	12~13	夕食時に使用するトロミ剤を取りに行こうと厨房内を移動していた際、台車と配膳車の間を通り抜けようとしたところ、誤って台車に足を引っ掛けてしまい転倒し、右側に倒れたため右半身を床に強打した。	67	362	2	1~9
2017	3	9~10	施設内厨房の下処理室にて、右手に包丁を持ち、ほうれん草を左手で添えて切っていた際、手元が狂い、包丁が左手の人差し指先に当たり、指先が削がれた。	35	379	8	1~9
2017	3	5~6	当社工場内のタマゴの仕込み中、12kgのタマゴが入ったバケツの中身を大きなバケツに移す作業をしている時、6回分でいっぱいになるところ、3回目で腰に痛みが生じ動けなくなった。少し休んでから腰にコルセットを巻いて作業に戻ったが、その後、痛みが治まらなかった。	72	921	19	10~ 29
2017	3	11~12	弊社植物工場内栽培室にて、中継作業（収穫したレタスを受け取り、不要な葉を取り除く作業チームへの手渡し作業）中に足を滑らせ、左側の顔と左側頭部を床面に打ち付けた。床面が濡れていたことが原因である。	48	417	2	50~ 99
			工場1階加熱調理場で荷出作業を開始する際、洗浄室に番重をとりに行こうとして通路を歩いていた際、釜作業者が急に後ろ向きのみ				300

2017	3	7~8	ま下がってきた為ぶつかりそうになりよろけたところ、バランスを崩して転倒し、手をついた際に右手中指が不自然な状態になり、じん帯を損傷した。	45	417	2	~ 499
2017	3	15~16	当社工場内において、キノコビンのキャップが入った袋を運ぶ作業中、高さ約1mの台に乗っていたところ、誤って足を滑らせてしまい、手をついたときに右手首を負傷した。	49	719	1	30~ 49
2017	3	10~11	加工場内で、包丁でりんごの芯をカットする作業中に、誤ってりんごを押さえていた左手の親指を切ってしまった。	69	364	8	50~ 99
2017	3	13~14	工場内特調室で午後作業に入るとき、床が水で濡れていたところで足を滑らせ、作業台に足をとられて足をひねった。	49	418	2	50~ 99
2017	3	11~12	種子の保管庫において、かいわれ大根の種子のふるい選別をする作業中に、25kgの種子袋を持ち上げようとして手がすべり、後ろ向きに転倒して腰を強打した。	63	611	2	100 ~ 299
2017	3	11~12	食品工場1階包装室大袋Aラインで、印字検査装置の異常警報により印字状態の確認及び警報アラームのリセット作業をし、充填包装機ステージに戻りライン停止作業をしていた。その際、充填機前コンベアに足を取られ転倒し、定間隔プレスコンベアまで運ばれ仰向けの状態で挟まれた。	45	224	7	100 ~ 299
2017	3	11~12	食品充填機（豆腐製造機）運転中、シール機が緊急停止し、復帰作業を行うため慌ててオーバブリッジを通行（降りる）しようとしたところ転倒した。通行時の状況としては、隣接している機械が洗浄作業中のためにステップが濡れており、早くシール機を復帰させようと急いで手摺りも掴まずにオーバブリッジを降りて転倒した。	46	413	1	50~ 99
2017	3	15~16	製品作業場の凍結準備室でメンチカツの製造中、成型する機械にメンチカツの具材をホッパー内に補給する作業中に、右手でホッパー内の具材を押し込んだ際にホッパー内の具材が少なかった事で、ス	51	165	7	10~ 29

			クリューに右手が巻き込まれ、右手の平を損傷した。				
2017	3	11~12	サラダ用容器の準備作業中、容器を積み上げたコンテナを両手で持って移動していた時に、足元にあったコンテナ用台車が見えず、つまずき転倒した。左ひざ等を床に強打したが、大丈夫だと思いそのまま作業を続けたところ、痛みがひかず、後日に左ひざ等の打撲と診断された。	56	379	2	100 ~ 299
2017	3	21~22	勤務を終えて帰宅しようとして会社敷地内の駐車場（奥舗装）へ向かい、駐車場に下りようと30cm程の段差から左足を地面に着地させた際に、地面の小石で左足を滑らせて捻り、左足踵を骨折した。	58	419	3	50~ 99
2017	3	9~10	厨房冷蔵庫内で原料引き取り作業中、パレットで別の荷物が運び込まれて来たので待機していたところ、パレットが近くにあったカゴ車に引っ掛かり、原料引き取り台車を押しこみ、パレットと原料引き取り台車の間に右足ふくらはぎ部分を挟まれた。	55	362	7	300 ~ 499
2017	3	10~11	工場内の洗い場で、調理器具を運んでいたところ、足元が滑って転倒した。	74	418	2	100 ~ 299
2017	3	16~17	当社出先の内厨房の洗浄コーナーにて、職員食堂の箸と湯飲みの補充をするため移動している時、シンクからこぼれた洗剤を含んだ水で足を滑らせて転倒し、左手をつき左手首を骨折した。	69	417	2	10~ 29
2017	3	16~17	当社出先の事務所スロープ付近にて、業務を終えて帰宅するため、徒歩で病院敷地東口から公道に出る時、病院敷地は公道より約50cm高くなっているためスロープが設置されていたものの、疲れて何も考えずに歩いていたため、スロープを通らず敷地の段差に気付かず公道に落ちて、右足先を強く打ちつけた。痛みは感じなかったため、そのまま駐車場まで歩き、自動車を運転して帰宅した。その後、負傷部の痛みが増し、我慢できなくなり、右足親指骨折と診断された。	51	417	1	10~ 29
			第一工場と第二工場間の敷地内で、一人で荷下ろしをしていたと				

2017	3	13~14	き、製品を積んだカゴ車（約300kg）をトラックの荷台から降ろす際に、トラックの昇降部に付属しているストッパーをかけ忘れ、カゴ車が倒れてきたものを支えようとしたが、支えきれず転倒した。	32	362	2	100 ～ 299
2017	3	5~6	厨房で消毒液を入れたバケツを運んでいるとき、厨房内の排水溝の鉄板（ふた）のサイズが合ってなく不安全であったため、歩いている時に鉄板と鉄板がずれて左足が挟まり、腰を強打し、左手と左足を打撲した。	65	418	7	1~9
2017	3	16~17	調理作業場において湯葉の包装作業が終わり、湯葉の入った桶（直径40cm×高さ20cm）を両手で持ち、別の作業場へ移動するためにスロープ（高さ15cm、幅70cm）を下りていたところ、スロープの脇から右足を踏み外し、横座りになる格好で床に倒れ、右足を捻り負傷した。	46	418	2	30~ 49
2017	3	16~17	洗浄機の取っ手のネジを締めようと思いドライバーを取りに行き、洗い場手前のステンレス床で滑って手をついて骨折した。	51	921	3	30~ 49
2017	3	11~12	被災者は、洗浄室内で容器洗浄作業をしていた。洗浄タンク（110mm×80mm×83mm×400 l）が①水洗い②洗剤③すすぎの順に並んでいる。被災者たちは③に洗剤が入ってくるのが気になり、②と③の間を離そうとした。被災者は②を動かそうとタンクの淵に手を置いて別の作業員が①を動かすのを待っていた。別の作業員が①を動かすためタイヤのロックをつま先で外そうとしたが外れなかったため、タイヤの向きを変えようとしたところ、②の方に動き、被災者は①と②の縁で左手を挟み負傷した。	45	611	7	30~ 49
2017	3	8~9	事業所の階段を上るとき、床が濡れていたため足をすべらせ転倒し、階段の手すりでも頭部を打った。	23	417	2	100 ～ 299
2017	3	2~3	工場内盛付室で、生産終了後の清掃作業時に、清掃に必要な洗剤を補充するため洗剤の供給機を触っていたところ、供給機のホースが	58	911	4	100 ～

			抜けてしまい、ホースに残っていた洗剤（原液）が飛沫し右目に入り、右目角膜上皮剥離と右目角膜化学外傷を負った。					299
2017	3	5~6	仕事が終わרי送迎バスに乗ろうとし、一番最後に階段が有ると思ったがなかったため、足を踏み外し転倒してしまった。	53	413	2	~	500 999
2017	3	16~17	おにぎり製造ラインにて、機械停止中に製品（おにぎり）を両手に持ち移動した際、具材の入ったラックの間を強引にすり抜けようとした為、左足を土台に引っ掛け、横向きに転倒してしまい右肩脱臼をした。	68	611	2	~	100 299
2017	3	8~9	レトルト第1工場前処理室で、6号釜での液炊きが終了し、具材混ぜ作業途中で具材を入れたタル（約40kg程度）を30cm離れた後方のパレットの上に移動させる際、後方に置いてあるパレットに踵が引っ掛かり、背中から後方に倒れ込み、地面に腰を打ちつける。	50	362	2	~	100 299
2017	3	12~13	当社調理場に於いて、2年位前より4升炊きの釜を台の上に移動する作業を2人で交替して担当しており、仕事のあと腰が痛くなった。	67	379	19	1~9	
2017	3	11~12	精肉部作業場に於いて、スライサーで豚肉コマ切れを製造中、そのスライサーの下部に溜まっていた肉を取ろうとして、スライサーの刃が完全に止まっているのを確認せずにカバーを開け、回転中の刃に誤って触れ、左中指を切傷した。	65	165	8	~	100 299
2017	3	14~15	工場内の軒下でリング入れ（鉄製）の塗装作業中、塗装する際に使用する台に載せていたリング入れがバランスを崩し、本人の手前に落ちてきた。その際、落ちてきたリング入れを両手で支えようとしたところ、誤って作業台とリング入れに左手薬指が挟まれ負傷した。	21	169	7	~	100 299
2017	3	11~12	工場内にて、ごみ捨てるために生ゴミ処理室に向かう途中の前室廊下で台車を跨ごうとしたら、バランスを崩し、前のめりに転倒した。その際、積み重なった番重（高さ61cm程）にみぞおちを打ち付け動けなくなった。	48	418	2	~	500 999

2017	3	6~7	工場盛付室において、寿司成型作業終了後の清掃時、連続巻成型機のS刃を工具を用いて取り外す際に誤って左手を滑らせ、左手親指を切創した。	27	165	8	500 ~ 999
2017	3	13~14	製麺機のコンベア上に引っ掛かった生地を取り除こうと、製麺機の端に上がって（高さ104cm）いたところ、誤って足を滑らせて落ちた。	69	419	1	10~ 29
2017	3	3~4	盛付第3レーン先頭付近で、使用済みの浅番重をコロの付いた台車に乗せ運搬中、高く積み過ぎた番重の最上部が3レーン先頭にあるエアーの先端に引っ掛かり落下し、番重が頭頂部に当たり負傷した。	58	379	4	300 ~ 499
2017	3	10~11	本社工場内の2階麺製造室において、衛生管理上、定期的に粘着ローラーを使用し作業白衣に付いた埃を除去するため、粘着ローラーを使用した後、階段（6段）から降りる際、3段目あたりで足を滑らせ、床に尻を打ち負傷した。	34	413	1	30~ 49
2017	3	13~14	工場プラットホームにて、豆腐容器の入った段ボール箱を補充の為、大豆の袋の上に乗りに動かし、約1mの高さより転落し、右手首等を強打した。	69	417	1	10~ 29
2017	3	17~18	作業終了後、休憩室の扉で左手人差し指を挟み、そのあと業務中に指をかばって同指を捻ってしまった。	42	419	7	10~ 29
2017	3	12~13	折れたミキサーの螺旋の修復作業にて、グラインダーを使用し螺旋を切断している際、螺旋の切れ目にグラインダーが引っ掛かり弾かれた。グラインダーが勢いよく左手に向かってきたため中指から小指のあたりを負傷した。	39	159	8	100 ~ 299
2017	3	14~15	精米機で精米中に、精米が終了し、機械が停止したと思ってカーボンの刷毛を使って精米した米を移動させる回転式のローラー回りの清掃するため、米ぬか等を取り除こうとしたところ、ローラーが完全に止まっておらず、左手人差し指の先端がローラーにはさまれ切	49	165	8	30~ 49

			断した。					
2017	3	11~12	茹卵製造工程の卵の殻をむく工程の水が詰まり、それを解消する為に配管のフタを落としてしまい、水流に乗って卵かく搬送コンベアまで流れて行ったフタを追いかけて、かき上げ部に入らないうちに取りろうとし、動いているスクレーパー部に腕を巻き込まれ骨折した。	52	165	7	100 ~ 299	
2017	3	12~13	切込室で作業中、部屋に走って入ってきた人に気づかず、振り向いた際に足が引っ掛かり転倒し、手首を床に打ちつけて負傷した。	63	416	2	100 ~ 299	
2017	3	11~12	給食共同調理場で、ガス釜上部のダクトを掃除しようとガス釜のふちに足を乗せ、ダクトカバーを外していたところ、バランスを崩して背中から転落し、左腕を骨折した。	59	391	1	30~ 49	
2017	3	9~10	工場内に指示書を渡して帰る途中、濡れていた床に右足を滑らせ、右ひざから地面にぶつかり、救急搬送される。	40	416	2	50~ 99	
2017	3	16~17	工場内でジャーキー肉をスライスする機械メンテナンス作業中（油をさす作業中）、油をなじませるために機械を作動させた際、誤って右手の中指と薬指を機械の刃の部分にはさまれ、指の肉と骨を縦に3つに切られた状態となった。	45	165	7	1~9	
2017	3	14~15	厨房入口のエアシャワーの修繕中、左手中指に金ブラシが刺さり、少量の出血があったがそのまま作業続行した。終業間際から痛み出し、夜中に痛みに耐えきれず救急搬送された。	44	364	8	30~ 49	
2017	3	15~16	箱詰め玉ネギを台車に積み移動する際、傾斜で台車が傾いて中の箱が移動し、台車を支えていた左手親指を直撃し負傷した。	62	611	6	30~ 49	
2017	4	4~5	水産PC製品化作業場で、生食盛り付けをする仕事をしていた時、粘着ローラー掛けが終了後、振り向いて動いた際に足が接触して転倒し、作業員とぶつかってしまった。	61	719	2	100 ~ 299	
2017	4	10~11	5号機（煎茶詰）で作業中にバケットコンベアが詰まり、電源を切る決まりになっていたが、電源を切るのを忘れてしまいコンベ	52	224	7	30~ 49	



			アーに左手を挟まれた。				
2017	4	10～ 11	おからしぼり機を清掃中、作業中に閉め方のあまかった弁から苛性ソーダが吹きだし、身体にかかってしまった。	43	519	12	1～9
2017	4	18～ 19	排水口の中を清掃後、外していたグレーチングを元に戻そうとして右手から離れた時、誤って左手中指をグレーチングと床の間に挟んでしまった。	23	419	7	30～ 49
2017	4	8～9	学校給食センター1階炊飯室で、炊飯釜を洗浄するため、洗浄機のコンベアに炊飯釜をのせる作業をしていたところ、コンベアに炊飯釜がずれてのったため直そうとしたところ、洗浄機と高温の炊飯釜に左腕を挟まれ熱傷した。	38	224	7	30～ 49
2017	4	16～ 17	食肉加工工場内にて、ウレタン製の胸上部から足首までの長さのエプロンの汚れを着用したまま落とそうとし、バケツに熱湯を汲んでエプロンにかけたところ、エプロンの裾が膝あたりまで捲れ上がっており、履いていた長靴の中に熱湯が入り、右足の足首から甲にかけて火傷した。	62	379	11	30～ 49
2017	4	20～ 21	調理麺課カット室において、カットしたゆで卵を番重（アルミ製容器）に入れ、2段重ねで冷蔵庫に移動する際、上の番重が滑り落ちそうになったので、それを立て直そうとして転倒し負傷した。	67	379	2	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	事業場内で商品の切断作業をしている時、誤って切断機に指が触れてしまい、左手小指・薬指を切傷した。	44	165	8	10～ 29
2017	4	21～ 22	F3ライン盛付室内のトレイ洗浄機付近において使用の調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に、移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着いた。転倒した場所は滑りやすい状況であった。	68	416	2	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	工場包装専用室内において、午後の作業を開始しようとして準備していた時に、同僚と振り向きざまに接触して転倒し、床に左臀部を強く打ちつけた。	67	911	3	50～ 99

2017	4	16~ 17	工場内（箱詰ライン作業所）にて掃除終了後、明日の作業の準備中に、箱詰ラインのローラー（高さ20cm巾30cm）をうしろ向きでまたいだところ、ローラーの近くにあった台車（高さ20cm）に足が乗ってしまい、台車が動いてバランスをくずし転倒し、床についた左手首を骨折した。	61	362	2	10~ 29
2017	4	11~ 12	工場1階のおにぎりラインで、おにぎり用ラベラー機が作動中に機械を停止させずにラベルを取ろうとした為、機械に指を挟まれた。	26	169	7	50~ 99
2017	4	23~ 24	資材荷受場でパンの納品業者のトラックから、台車に積まれたパンの荷受けをしている際に、納品業者が渡そうと押し出した台車の番重が背中に強く当たった。納品業者が相手の状態をよく見ずに台車を強く押し出したのが原因である。	47	362	6	500 ~ 999
2017	4	15~ 16	本社工場内にて、急速冷凍庫に保管されている製品を取りに行った際に滑って転倒し、左肩を打撲した。	50	417	2	50~ 99
2017	4	16~ 17	作業場で床の掃除をしている時に野菜のくずを踏んで滑って転倒し、右手をついて骨折した。	36	417	2	50~ 99
2017	4	11~ 12	給食センターの下処理室で、翌日使う玉ねぎの下処理を行っていたとき、左手に玉ねぎ右手に包丁を持ち、玉ねぎの芯を取り除く作業を行っていたところ、誤って左手のひらの親指の付け根あたりに包丁を突き刺してしまった。	42	364	8	30~ 49
2017	4	12~ 13	物流ラインでカウント作業中、他の従業員が運んでいたカゴ車が腰と右足にぶつかり打撲した。	73	362	6	100 ~ 299
2017	4	11~ 12	センター内調理場にて調理後の片付け作業中に、床から出ているコンセント支柱（20cm）につまづき転倒し、右肘裂傷・頭部打撲傷を負い、右肘2針縫合の処置をした。	53	416	2	50~ 99
2017	4	9~ 10	工場内で、真空後の製品がベルトコンベアーで移動中、コンベアーのベルトが内側のロールから外れていたため直そうとして指を入れ	41	224	7	30~ 49

			たところ、機械を停止せずに行ったため間に挟まれけがをした。				
2017	4	5～6	殺菌B釜でB2号釜の水銀温度計を確認後温度記録を記入しようと操作盤へ戻ろうとしたときに、トラバーサーが動き出したのに気付かず、右足先にトラバーサーの輪が乗り上げて裂傷した。	53	229	7	100 ～ 299
2017	4	17～ 18	工場内にて熱湯消毒作業中に、番重（運搬容器）の蓋を台車内に入れようとしたところ、重さに耐えられず手から離れてしまい、勢いよく台車に入り跳ねた熱湯が右足の長靴の中に入って、右足甲を火傷した。	26	713	11	500 ～ 999
2017	4	11～ 12	給食で提供する揚げパンを揚げていたところ、パンの落下により、油が左手の中指・薬指・小指・甲・左手首、及び左腕にはねて火傷を負った。	55	391	11	1～9
2017	4	8～9	スティックシュガーを製造する作業場にて、次の作業に取りかかろうと包装機裏側へ回るため歩いていた際、床につまずき左肘および左膝を床につき打撲した。	49	416	2	50～ 99
2017	4	16～ 17	畜産課加工場内で、後片付け中秤を両手で持って歩行中に、濡れている床で滑って転倒した。機械（A to Z）の不具合により、肉の脂が混ざった水で床が漏れていた。	54	417	2	500 ～ 999
2017	4	9～ 10	セントラルキッチン工場内の皮剥ぎエリアで、スキナーで皮剥ぎの作業中に、牛たんを押さえようとした際に左手手指を損傷した。	29	165	7	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	2階作業場で1号機ラッパーフィルム送りのローラー部分にフィルムが残っていたため、左手ひと差し指で取ろうとした時、キャッチャーが降りてきて指に当たった。	58	169	7	1000 ～ 9999
2017	4	8～9	作業場にて成型肉の番重取りを行っている際、番重を台車に置く時に台車に足を引っ掛け、転んで打撲した。	54	362	2	300 ～ 499
		11～	中間コントロール室にて、ソーセージのタレを入れたバット（約				500

2017	4	12	5kg) を4段重ねた列から隣の5段重ねた列の上（5段目）に持ち上げようとしたところ、左右の足を捻り大腿部に痛みを感じた。	66	611	19	～ 999
2017	4	10～ 11	本社工場内にてミキサー掃除をしようと手を入れた所、誤ってミキサーに右手中指が当たってしまい切った。	38	165	8	30～ 49
2017	4	11～ 12	厨房内で仕込み作業中、さつま芋を輪切りにして小さいさつま芋を無理に切ろうとしたとき、手が滑って左手の人差し指を切ってしまった。	46	364	8	1～9
2017	4	7～8	当社工場内において麺を細く伸ばす（イタギ工程）作業中、イタギ機に新たな麺生地を送り込む際、左手で作動レバー、右手を麺生地に添えて投入するが操作ミスにより圧延ローラーに右手が挟み込まれ負傷した。	19	163	7	30～ 49
2017	4	5～6	本社工場厨房において、連続式フライヤーを掃除する際に油槽に溜まっている油を一時的に移しておくタンク（縦1m横1m高さ50cm底に車輪が着いた物）を本来ならば手で動かさなければいけないのに足で動かそうとしたところ転倒して負傷した。	69	416	2	300 ～ 499
2017	4	7～8	工場1階食材準備室内にて茹で卵（既製品）の出荷中、150ヶの茹で卵と保存液で約14kg、入れる番重約2kgと計16kgのものをうっかり2段一度に持ち上げてしまった。その際、重量の負荷が原因と思われる圧迫骨折を負った。通常男性でも2段同時に持つことはなく、本人もこの日初めて不注意で2段一度に持ってしまった。	64	921	19	300 ～ 499
2017	4	18～ 19	工場内でそばを製造するミキサーを清掃中、左腕をミキサー内に入れたまま、寸動スイッチを押してしまった。その結果、左腕をミキサー内の羽根に巻き込まれ、左手の薬指を骨折し、左腕の肘付近を挫傷した。	58	162	7	30～ 49
2017	4	14～ 15	バラきのこ作り中にダンボールカッターを取ろうと移動した際、横から来た台車と衝突して右ひざを負傷した。	63	362	6	100 ～ 299

2017	4	2~3	煮沸釜の下にある、熱湯（85℃くらい）が通っている配管があり、本来なら熱沸殺菌の工程が終わってから、外して確認する所を不注意により外してしまい熱湯が体にかかってしまった。	21	341	11	50~ 99
2017	4	9~ 10	本社冷凍庫において積み重なった原料入りのコンテナを庫外へ移動中に、移動を終えたコンテナが不安定に積み重なっていたため背後から足に倒れかかり負傷した。	47	611	5	30~ 49
2017	4	11~ 12	加工場においてフライヤーで手揚げ製品を揚げる作業を担当し、フライヤーから揚げ出てきた製品を軍手とビニール手袋をした手で整える作業を毎日繰り返していたところ、徐々に火傷の水膨れや炎症の症状が起きてしまった。	67	165	11	30~ 49
2017	4	11~ 12	自社工場内にて麺を袋詰めし、プレスと同時に熱による圧着で袋の封をする機械での作業中に、袋が詰まったことで、正規の位置に対し袋が半分ほどしか出ていない状態で止まってしまった。左手で袋を正規の位置まで引っ張り出そうとした際に機械が作動し、左手をプレスされてしまった。	61	169	7	1~9
2017	4	15~ 16	お茶を回収するため社有車を運転していたところ、わき見をしてしまい誤って電信柱に突っ込んでしまった。	28	221	17	10~ 29
2017	4	14~ 15	30mlの化粧品のガラス瓶を左手で持ち、右手でキャップを開けようとして、キャップがきつく、キャップがゆるむ前に瓶の首部分が割れてしまい、その部分で左手の親指と人差し指を切った。	55	391	8	100 ~ 299
2017	4	11~ 12	工場内、醤油詰場作業場・2階で製品出荷用ダンボールを搬出作業中に誤って頭上の鉄製の梁に側頭部をぶつけ負傷した。現場は天井部分が低く、被災者は担当業務である配送業務からはずれて工場内での不慣れな現場での作業であった。	55	418	3	10~ 29
2017	4	13~ 14	作業現場へ向かう途中、エアーシャワー室に慌てて入ろうとしたところ、自動ドアに左足小指を強くぶつけてしまった。	58	418	3	300 ~ 499

2017	4	14～ 15	パレットに詰まれた材料（ジャスミン原料）を運んで、機械の手前の台に置こうとした時に手を滑らせてしまい、床に落としそうになったので、材料を左手で受け取ろうとした際、床と材料で挟まれてしまい、左手薬指を負傷してしまった。	31	611	7	50～ 99
2017	4	7～8	会社出勤時、ドアストッパーを片足で立てようとした時、工場入口でバランスを崩して転倒し、右大腿骨を骨折した。	62	417	2	10～ 29
2017	4	11～ 12	4tトラックに積んであった製めん用の生地を降ろすため、パレット積みの荷物にかけてあったシートをはがすため荷台に乗り作業をしていたが、トラック荷台の真ん中あたりにさしかかった際、シートをはがした勢いで荷台より落下し、右足甲部を強打し負傷した。	65	221	1	10～ 29
2017	4	15～ 16	洗浄室保管庫からカートごとホテルパンを調理室棚に運んだ際、カートが引っ掛かり、力を入れてカートを動かしたとき、カート内のホテルパンが外に飛び出して足の上に落下した。	70	611	5	30～ 49
2017	4	15～ 16	工場内でコンテナへ荷物の搬入作業中、ハンドリフトを用いて荷物を移動した際、左アキレス腱を断裂した。	57	379	19	10～ 29
2017	4	15～ 16	洗浄室にて洗浄機を洗っている時に、スポンジを粉碎機の投入口に落としてしまい、それを拾おうと投入口に手を入れたところ、まだ回転していたプロペラに当たり、右手指を切ってしまった。	37	165	8	30～ 49
2017	4	13～ 14	おから絞り機から運転中に軋み音がしたため、作業終了後にチェーンカバーを外し、チェーン部に手の指でグリスを塗った。電源投入後に更にグリスを塗ろうとして動いているチェーンに右手人差し指で塗りつけていた所、歯車とチェーンの間に右手人差し指が挟まれ指先1cm程がつぶれた。	40	121	7	10～ 29
2017	4	11～ 12	お茶漬け充填機室で、充填機横のステージ上で充填機上部の清掃をした後、ステージから降りようとして一段低い踏み台に足をかけたところ、踏み台から足を踏み外して転落し、床面に尻もちをつき、両臀部打撲・腰椎椎間板ヘルニアを負った。	35	371	1	100 ～ 299

2017	4	10～ 11	工場内のパスタ押し出し成形機を稼働中に、コンベアから成形機に入る入口で粉の流れが悪くなったので粉を均そうとした。機械が止まっていると思いフタを開けて手を入れたが、機械は止まっておらず、回転している板に指を巻き込み右手の人差し指、中指、薬指を切断した。	26	165	7	50～ 99
2017	4	1～2	延長コンベヤを掃除する為に部品を取り外して他の台に運ぼうとした際に足がつって床面のコードに足が引っ掛かった。部品を両手で持ったまま転倒したため、左頭部、左ひじ、左ひざを強打し、一瞬気を失った。	50	417	2	500 ～ 999
2017	4	10～ 11	壁はしごを踏み外して落下し、左手薬指付け根を柱に強打し骨折した。	27	413	1	50～ 99
2017	4	10～ 11	当社事業所にて醤油造りの為に大豆冷却機で大豆をさまし、そのさめた大豆と小麦とコウジ菌を混ぜながら大豆をつぶす機械に大豆を入れる作業中、投入口に大豆がたまったので、それを手でかき落とそうとした時あやまって左手中指が回転した刃にふれ負傷した。	30	165	8	10～ 29
2017	4	8～9	餅製造の加工場で餅の製造作業中、他の従業員がもちつき機の回転ドラムの中から小餅切り機の中へ餅を入れるとき、被災者が説明しようとして回転ドラムのハンドルに右手があたり、右手を2ヶ所負傷した。	60	165	3	1～9
2017	4	9～ 10	野菜カット作業場で歩いて移動中、側溝のグレーチングの1ヶ所がされていないため、深さ50cmの側溝に右足が落ち、右足小指を骨折した。	55	419	1	100 ～ 299
2017	4	17～ 18	工場に出張中に包装室内Dライン脱水機の調査中、3段ステップにて脱水機内部を確認していたときに、ステップから降りたが他に気に掛かる部分があり、振り返り、脱水機を見上げながら移動しようとした際に業務用計量機掻き上げの移動用レールにつまずき転倒した。	63	416	2	100 ～ 299
			工場女子トイレにおいて、退室時にトイレ用スリッパから室内用ス				

2017	4	15～ 16	リッパに履き替える際にトイレのスノコに躓き、前に置いてあった別のスノコの角で左足中指付け根に創傷を負い、傷口が化膿して左足が腫れた。	19	911	90	～ 299
2017	4	11～ 12	給食を町内の2幼稚園、3小学校、1中学校の6か所を配送していた。最後に配送する中学校で車から給食の入った食缶を詰めているコンテナを垂直式リフトで降ろし、再度コンテナを車から降ろすためリフトを上げる操作を左手でしていた。その際にリフトの上限ストッパー部分の下側に右手小指がかかっているのに気が付かずリフトを上げ小指を挟んでしまった。	58	221	7	10～ 29
2017	4	17～ 18	回収した空箱等を（3トン）トラックの荷台から荷卸しし、荷台から降りようとしたところ誤ってトラックのステップから足を踏み外し、右側に転び負傷した。なおトラックは、普段使用している車が故障し、代車であったので、ステップ場所が狭かった。荷台の後ろ側から前向きでトラックのステップに右足を掛けて、降りようとした。	53	221	3	50～ 99
2017	4	17～ 18	茶工場内にて荒茶製造中に中揉機へ点火作業を行う際、ガスの元栓を先に開いた状態で点火したため、中揉機のBOX内にガスが充満し引火し破裂した。破裂した際に左手と顔に熱風を浴び火傷した。	49	165	11	1～9
2017	4	14～ 15	工場1階の番重洗浄室において、2名で番重の洗浄作業を実施していたとき、もう1名の作業者が加工室側から汚れた番重を重ねて台車に載せ、洗浄室の中へ移動させていたところ、その重ねた番重が数枚（2～3枚）被災者の両足の上に落下した。その際、被災者の両足の指から甲の部分に落下した番重で打った。	62	611	5	100 ～ 299
2017	4	12～ 13	米飯フロア寿司ラインにおいて、サラダ巻の盛付用具材（ツナ）を取りに行こうと巻き寿司成型機の前を通ったところ、足を滑らせて転倒し、肘と腰を打った。転倒時、床はアルコールの水滴で濡れており、かつ本人の作業靴の底は飯粒等の残渣が多量に詰まった状	62	417	2	300 ～ 499



			態で、靴底の滑り止めについてもかかと部分が摩耗しており、滑りやすくなっていた。				
2017	4	1~2	厨房盛り込み室にて手直しのお弁当を1個手に持ち運んでいたところ、手元に注意が行き、足元に落ちていた食材に気づかず踏みつけて滑り転倒し、左足首を捻り骨折した。	72	529	2	100 ~ 299
2017	4	6~7	カルビのトッピング作業中、ゴマ振りの作業をしていた時に、左側にあった作業台の設置が不安定だったため倒れ、左足小指の先端を骨折し裂傷を負った。	64	379	4	300 ~ 499
2017	4	8~9	洗浄機用のプレートラックをシンクに置こうとした際、シンクに置き損ね、シンクにプレートラックがあたり、その反動でバランスを崩し、後ろに転倒し、腰椎圧迫骨折した。	69	921	19	1~9
2017	4	15~ 16	工場の洗浄室において、屈んで飯缶の下洗いの作業を行っていたとき、近くに積んでいた飯缶が崩れてきた。その際に、残飯が入った重い飯缶を含め数個が頭頂部と身体にあたった。（飯缶に触れて、崩れたかも知れないが定かでない。）	43	611	5	10~ 29
2017	4	11~ 12	工場内のキャベツの芯取り作業場で洗浄機を3人で移動の為、ハンドリフトに乗せる作業中、洗浄機を降した時に洗浄機とリフトの端にはさまれ、左手小指の先端から多量の出血と、4cm程の切傷及び爪の部分が内出血で黒ずみ指の痺れが生じた。	72	165	7	50~ 99
2017	4	8~9	当社工場内で、豚骨を電動鋸でカットし、次に鶏肉をカットする作業の際、誤ってゴム手袋の上から鋸刃が左手親指の先方にあたり指先を切断した。	32	165	8	10~ 29
2017	4	11~ 12	茶畑の被ふく作業中、動物が掘ったと思われる穴に足が入り負傷した。	63	417	2	1~9
2017	4	10~ 11	コンクリートタンクに取り付けてある移動式攪拌機を整備の為、攪拌機先端をコンクリートフロアにつけて固定台から持ち上げたところ、攪拌機先端が滑ってしまい、攪拌機が固定台から落下し、コン	26	169	7	1~9

			クリートの角に左指を挟まれた。				
2017	4	12～ 13	スチームコンベクションオーブンの上にあった鍋つかみを取ろうとしたらスチームコンベクションの扉が開いて、蒸気により腕を火傷した。	59	391	11	1～9
2017	5	14～ 15	給食麺納品用箱の回収作業を終え、運搬用のトラック荷物積載内部（荷台）から外へ出る際、後部ステップに足を乗せきれず踏み外し、上半身から地面方向へ落下して左肘に直撃し、右膝を強打して転倒した。	34	221	1	100 ～ 299
2017	5	2～3	休憩の為、休憩室へ入ったところでふらついた状態で歩き、休憩室の椅子に気付かず右足中指をぶつけて骨折した。	26	391	3	100 ～ 299
2017	5	18～ 19	工場内の作業場で、業務用フードカッターを使用した野菜の加工作業が終わって後片付けをしている時に、キャスターの付いた作業台に載せてあったフードカッター（15kg）を所定の場所に片付けようと移動させたところ、キャスターの一つが壊れ作業台が傾きフードカッターが足の上に落下し、左足親指の付け根を骨折した。	60	362	4	30～ 49
2017	5	22～ 23	野菜の水切りをするため遠心分離機にかけ、止めるのスイッチは押したものの完全に静止する前に蓋を開けてしまい、右手を弾かれ負傷した。	64	165	3	500 ～ 999
2017	5	19～ 20	トッピング室内のゴミ箱に足を引っ掛けて転倒した際に、右肩をぶつけて腱が切れた。	58	391	2	300 ～ 499
2017	5	0～1	被災者は通路を背にして器具の洗浄作業をしていたとき、通路を別の作業者がタンクを運搬して通過している際に被災者の腰部にタンクがぶつかった。	52	362	6	100 ～ 299
2017	5	16～	径200A・長さ2mの配管を設置するために、一人で移動させようとした時に腰に痛みを感じた。その日の作業の後片付け（足場の撤	40	921	19	30～

		17	去) をしている時にさらに強い痛みを感じ、その後も痛みが持続した。					49
2017	5	13~ 14	当社工場内で切草カッターの刃を交換しようと電源を切ったが、完全に止まっていないのに右手がベルトに触れ、巻き込まれて右手小指をベルトとプーリーに挟まれた。	53	121	7		1~9
2017	5	8~9	取り外した使用不可のヒーターゴムパッキンを廃棄処分するために、左手にゴムパッキンを持ち、右手にカッターを持って切断中、勢いが余って刃が左手人指し指に当たり切り、腱を断裂した。	25	364	8		30~ 49
2017	5	7~8	工場内で、湯煮させたよもぎを味噌醸造機械でミンチしている作業中、機械の中で隅に溜まっていたよもぎを落そうとして、熱い大きめの手袋をはめていた為、手袋と一緒に左手を巻き込まれた。	63	165	7		10~ 29
2017	5	14~ 15	洗浄室で用具の洗浄作業中、洗浄済みの用具をカートの上部分に乗せようとした時に床面が濡れていたため、足を滑らせ後方に転倒した。	44	416	2		30~ 49
2017	5	12~ 13	工場準備室において排水溝の清掃の為、グレーチングを外していた所を通りかかり、深さ30cm程度の溝に落ちて右足首を捻挫した。	51	414	2		300 ~ 499
2017	5	13~ 14	営業所にてコンテナ回収作業時に、コンテナをトラック荷台へ積み込む際に、設置済みのコンテナ仕切りバーとコンテナの間に指を挟み込んでしまい、右手人差し指に裂傷を負った。	44	611	7		100 ~ 299
2017	5	17~ 18	工場仕上室内の冷凍庫を清掃する際、電源は切ったものの内部は冷えたままで、清掃した水が床上に薄く凍結した。その凍結箇所です誤って足を滑らせ転倒し、左肘を床に強打し、左肘を骨折した。	57	417	2		100 ~ 299
2017	5	7~8	足元の後ろにパレットがあり、リーダーの方を向いたまま後退りした時に躓き転倒した。	65	416	2		10~ 29
2017	5	10~	工場厨房内にて生クリームが入ったステンレスボール（直径40cm、自車+内容物=約9kg）を冷蔵庫の下段（床より20cmの高さの段）	53	379	19		10~



2017	5	14～ 15	4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を行っていて、他の従業員は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。	50	529	19	～ 999	500
2017	5	15～ 16	工場接種室にて、接種ライン第3レーンのトンネル内にある殺菌灯の交換作業を行っていた被災者が、殺菌灯交換後ステンレス製トンネルカバーを取付けする際、カバーの左側を押さえていた被災者の手が滑り補助として同僚が右側を押さえていたが押えきれず落下し、カバーの左下角部分が被災者の右足親指部に当たり骨折した。	52	612	4	～ 299	100
2017	5	0～1	センター盛り込み室にて、盛り付け作業中、床掃除後だがぬめりが残っていた部分で滑り、骨盤を床に打ちつけ骨折したものである。	72	417	2	～ 299	100
2017	5	8～9	被災者は工場2階もやし栽培室内にて車輪付の型枠に入ったもやし栽培用コンテナ（1.3×1.0×1.5、500kg）を運び出そうとして、型枠を掴んで手前に引いたところコンテナが手前に倒れて下敷きになり、両足を挟まれて負傷する。通常はハンドリフトを使用し運び出すところ、散水中であったため散水を止めずに自力で引き出そうとした。	47	362	7	30～ 49	
2017	5	15～ 16	工場内の加熱ライン充填場で、ステンレス製の容器付台車の蓋（1m×1.5m程の大きさ、約4kg）を清掃中に手が滑り、30cm程の高さから落下し、右足先に当たり、右足拇指付近を打撲した。応急処置で様子を見たが、内出血と痛みがひどくなった。	35	521	4	～ 999	500
2017	5	10～ 11	開発テストキッチンでほぼ満タンに入ったお茶を沸かした片手鍋を移動させようとして鍋を持ち上げた際に、鍋が重たくバランスを崩して左足にお茶（熱湯約90℃）をこぼしてしまった。	37	611	4	～ 499	300
2017	5	8～9	包材庫前失に入室したところ床が結露しており滑って転倒した。右手を床につく際、手に物を持っていたので手のひらをつけず、手	59	417	2	～	300

			の甲から転倒し床に強打した。					499
2017	5	11～ 12	小学校配膳室において、手押しで給食を運ぶコンテナを移動中に不注意により、その車輪に足を挟まれ負傷した。	33	362	6		50～ 99
2017	5	11～ 12	清掃作業中、回転釜に頭を挟まれ、頸部を圧迫された。救出後に脈微弱で呼吸も浅いため、心臓マッサージを行った。災害発生原因についての詳細は現段階では不明であるが、同作業の状況を記録した防犯ビデオをあり、警察に提示済みである。	48	165	7		30～ 49
2017	5	14～ 15	製造作業が終了した治具（ザル、ボール、エプロン等）一式を洗浄のため洗浄室への移送中、腰を屈めた姿勢で移送していたためバランスを崩し転倒した。	67	611	2		10～ 29
2017	5	10～ 11	調理場の1階調理室内で、釜で調理した鶏肉と野菜のトマトソース煮を配缶する際、釜の蓋（重さ約7～8kg）が突然閉まり、頭部及び左腕に当たった。左腕が腫れるとともに痺れが出た。	20	165	7		10～ 29
2017	5	16～ 17	構内（工場前）にて、終業後に更衣室に向かって歩行中に、後方から来たフォークリフトにお互い気付かず、歩行者の後ろからぶつかった。フォークリフトの左後輪と歩行者の左足が接触して歩行者が倒れ込み、フォークリフトはすぐに前進して停止し、周囲にいた従業員とフォークリフト操縦者が救助した。	50	222	6		100 ～ 299
2017	5	13～ 14	給食室において、作業台の洗浄後、沸騰したお湯で洗い流した際に、自分の長靴にもお湯が入ってしまい右足首上辺りを火傷した。その後、感染症を起こし患部が悪化した。	41	911	11		1～9
2017	5	10～ 11	ベーコン製造ラインで使用している高速スライサーにおいてベーコンの原木をグリッパーにセットする際に、誤ってグリッパーの爪付近で原木を持ってセット作業を行ってしまい、原木と指を一緒に爪の部分で挟んだ。	23	391	7		100 ～ 299
2017	5	17～ 18	畜産2階加工場の冷凍庫の床を清掃中、お湯をまいて清掃していたため、しばらく経つと床が凍ってしまい、歩いたときに滑って転倒	55	417	2		100 ～

			し、左手を床に強打して左手首を骨折した。					299
2017	5	15～ 16	給湯室で食器の洗浄作業をしていたところ、皿汚れのこびりつきがあったため、1皿ずつスポンジで洗っては洗浄機へ投入することを高速で繰り返し行ったため、手を酷使したことによる。	53	379	19	～	299
2017	5	16～ 17	作業場内にて食材を数種類混ぜ合わせる配合という作業をしていた時、食材を開封しようとした際に足を滑らせ、柱に手をついたとき右手中指を骨折した。	47	416	2	～	299
2017	5	8～9	炊飯室横の通路においてある洗浄剤ト口箱を取りに入った際、足を滑らせ横転し、床に頭部をぶつけた。	56	417	2	～	299
2017	5	7～8	本社工場地下2階加熱調理場にて、ザルに入れた杏を煮釜を使い熱湯にくぐらせた後、水の入った別の煮釜に移す作業をしていたところ、ザルから熱湯がこぼれて長靴に入り、左足足首から甲にかけて火傷を負った。	18	715	11	～	499
2017	5	16～ 17	工場内にて卵のハネ品を集めたりする作業中、重心が前にかかり、バランスを失って右肩から前のめりに転んで右上腕を打った。	59	417	2	～	499
2017	5	14～ 15	出向した被災者は、当該飼・肥料製造工場内で、飼・肥料の製造作業中、各スーパー店舗から納入された食品廃材（原料）と米ぬかを自動攪拌機に投入し、混合させていたところ機械内の攪拌回転軸2本のうち1本が停止した為、軸と付属している攪拌羽（長さ20cm×幅10cm、鉄製）を右手で押した際に突然回転軸が作動し、攪拌羽と機械内側壁の間に右手中指と環指を挟んだ。（ゴム手袋着用）	67	162	7	1～9	
2017	5	9～ 10	ピロー包装機にてパック詰め作業中、フィルムが詰まり、上部のカバーを開けず、横からフィルムを引き抜こうとした際、カット部分の刃が下がり、右手人差し指、中指の第一関節付近より切断した。	57	169	8	～	299
			事業所において、被災労働者が業務を終え、着替えをするため休憩					

2017	5	18～ 19	室に行こうとしたところ、厨房出入口の沓摺りが濡れており、誤って足を滑らせ転倒した。転倒した際、とっさに右手で身体を庇い、右手首を床に強打し骨折し、手首が腫れてきた。	60	417	2	1～9
2017	5	6～7	作業所にてエアプレス機を使用し、豆腐を圧押しするするためエアプレス機の下降レバーを下げ、下降させた時に誤ってプレス板と豆腐押し板の間に指を挟み、左第二指を受傷した。	53	165	7	1～9
2017	5	12～ 13	Bパネル洗浄室入口付近にて、収穫時のトリミング作業への収穫パネル中継作業の際に、剥がれた滑り止めシートの接着剤が水に濡れ、ゼリー状になっていたことから、ゼリー状の接着剤に足を滑らせ尻から床面へ落ち、左肘・腰を床面に打ちつけ、転倒した際にトリミング作業中の収穫製品番重作業台へ左足をぶつけた。	28	417	2	50～ 99
2017	5	10～ 11	包装フロアを移動中、床にあった突起に躓き転倒した。その際、うつ伏せに倒れ、胸部を床に強打した。	61	417	2	100 ～ 299
2017	5	13～ 14	学校給食センター洗浄室内においてフォークを洗浄する際、すすぎに使用するバケツの湯の温度が高いのに気付かず、軍手をして手を入れ、右手の指先から甲の部分に火傷を負った。	22	529	11	30～ 49
2017	5	6～7	製麺室で複合機の圧延ロールの隅に付着した麺のカスを取るため、タオルを使い圧延ロールを拭き上げる作業をしていた。この作業は本来機械を完全停止した後に行うことになっていたが、時間を短縮しようとして、機械を停止させずに作業したためタオルと共に左手をロールに巻き込まれた。	29	165	7	50～ 99
2017	5	13～ 14	現場の階段を下りた際に左足を踏み外して転倒し、骨に2ヶ所ひびが入った。	68	413	2	300 ～ 499
2017	5	10～ 11	工場内作業中、グリーンアップという機械でローラー回転部の下に茶葉が落ちるので、落ちた茶葉を掃除していた時、回転部は危険なので手を出さないよう注意していたが、回転部にある茶葉を取ろう	36	165	7	1～9



			として指を入れ挟まれた。				
2017	5	22～ 23	ライン稼働終了直後に、製麺機を停止させる前に、本人が清掃作業を開始し、麺機ロールに両手を巻き込まれた。現場のルールでは、製麺機が完全に停止した状態で作業開始するところを、自己判断で作業開始してしまった。	41	163	7	500 ～ 999
2017	5	7～8	機械へ原料を投入する為にパイプの取付作業を行おうとした際、通常利用する長い脚立（110cm）が他で利用されていた為、短い脚立（78cm）を使用し脚立に登ったところ、通常の長い脚立を使用していると思い込み、足を踏み外し落下した。落下時に左腕と左足を天板や脚立横に配置されていた掃除機にぶつけ負傷した。	54	371	1	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	下膳作業区域でしゃもじ・スプーンの洗浄作業をしている時、コンベア食器洗浄機の出口にしゃもじが引っ掛かり、停止ボタンを押した後取り除こうと、左手でコンベアを広げ、しゃもじを取ったところ、コンベアが動き出し左手親指が巻き込まれた。	47	224	7	1～9
2017	5	9～ 10	下処理室から調理場に入る時、調理場入り口横の業務用扇風機の脚にぶつかり左足もも横を強打し、前に手をついて倒れた。その後も仕事を続けたが、強打した部分がソフトボール大に腫れて痛みが増し、歩行困難な状態となった。	53	391	2	30～ 49
2017	5	20～ 21	1F蒸麺室で歩行中、蒸麺機内の煮沸洗浄に使用した高温の排水が左足首にかかり火傷した。	19	165	11	300 ～ 499
2017	5	14～ 15	洗浄室にて空の食缶を載せた台車を運搬する作業中、台車の持ち手部分に掛けてあった食缶が外れ、右足母指に落下した。	68	362	4	50～ 99
2017	5	14～ 15	野菜の洗浄処理に使用している重しをフックに掛けたところ、ネジが緩んでいたため、重しが右足の親指に落ちた。	19	379	4	300 ～ 499
			工場内製造ラインの昇降機の清掃作業をしている時に、別の作業員				

2017	5	8～9	がスイッチを押したため、昇降機が動き指を挟んでしまい、左手の指をほぼ切断する怪我を負った。	68	169	7	1～9
2017	5	9～10	第2工場キット加工室作業場鶏肉攪拌機前の床で壁面清掃作業中に床で滑り横向きに転倒し、右くるぶしを骨折した。	62	418	2	100～299
2017	5	17～18	玉ねぎの芯抜きを行う際、左手の親指と手首を回しながら玉ねぎを持ち作業を行ったあと、左手首に少し痛みを感じた。翌日も同じ作業を行ったところ、手首は晴れ、紫色に変色し、激痛を感じた。	63	921	19	100～299
2017	5	13～14	重さ約10kgの惣菜（700×400×100mmのコンテナ）を納品に行き、地下に続くスロープの入口に駐車して車両後方の荷台に入った。その際にギアを入れ忘れ、またサイドブレーキの掛け方が弱かったため車両がスロープを下り出し、車両を後方から押さえて止めようとしたが止まらず、動き続けた車両が壁に当たって止まった時に身体が車両に突き飛ばされて全身を打った。	43	221	6	50～99
2017	5	17～18	当社工場内通路階段にて、生ゴミを捨て、作業場に戻る際の階段で足を踏み外し、左手をついて怪我をした。	65	413	2	100～299
2017	5	15～16	自社工場で餃子を製造中に、麺ローラーから流れ出る材料の麺が切れたため成形機に麺をセットすることが出来ず、誤って機械の奥に指先を入れてしまい、機械の刃で左手指先を負傷する。	45	165	8	50～99
2017	5	12～13	キット袋詰室でシーラー気を操作中に、指を挟まれ、右手中指を切断した。	63	159	7	100～299
2017	5	10～11	工場内において、排水溝にパッキンを落してしまい、探すために排水口上の鉄板（50cm×50cm、約10kg）を持ち上げて立て掛けていたところ、誤って鉄板を足の上に倒してしまった。	62	521	4	10～29
		9～	商品を積んだ番重を台車に載せて出荷場へ移動中、床のくぼみに台				100

2017	5	10	車の車輪が引っ掛かり、倒れそうになった番重を支えようとして体勢が崩れて足を挫いた。	21	611	5	～ 299
2017	5	9～ 10	厨房内の盛付台の付近を歩いている時に、盛付台の下のキャスターに右足を引っ掛けて転倒した。その時に右膝を打った為、右足膝の半月板を痛めた。	65	911	2	50～ 99
2017	5	15～ 16	工場1F冷却ライン付近において、加工用酢飯を専用BOX（10kg）へ入れて台車に積み上げていたが、積み上げが不安定な状態だった事に気付かず出荷室へ移動させようとした際に、BOXがずれてきて、それを支えようとした際にBOXが胸に当たり骨折した。	56	611	6	30～ 49
2017	5	8～9	派遣先工場内において屋内資材置き場片付け中、畳んだ段ボール10枚を束にしたもの（重さ約5kg）を所定の位置に運んでいたところ、両手で持ったダンボールを置き場に置こうと前かがみになった際、腰に痛みが走った。	44	611	19	30～ 49
2017	5	8～9	納品整理が終わり、移動しようとした時にスノコに足が引っ掛かったので、横に置いておいたダンボール箱に思わず手を置いて身体を支えようとしたところ、箱が崩れて左に転倒し、左肩を骨折した。	68	911	2	10～ 29
2017	5	15～ 16	工場内で台車を運搬中、路面の段差に車輪をとられた状態で引っ張った。重い台車なので両手で引く指導をしていたが、片手で台車上部の角を引っ張るような感じで引いたため横転した。その際、倒れてきた台車が右太ももに当たり打撲した。	33	362	6	50～ 99
2017	5	3～4	作業台上で使用するパンスライサー(丸刃回転)で、バゲット(フランスパン)に切り込みを入れる作業中、右手親指を10針縫う切創を負った。本人によると、スライサーの中に手を入れた際に機械に手が当たったとのことだったが、ビデオで検証したところ、機械にパンを入れる時に中に手が入ったのではなく、切り終えたパンを左手でバット(箱)に置こうとした時に右手が不注意な状態になり、中に手が入っている様に見えた。	58	165	8	100 ～ 299
			前処理室設置の具材の検品台を、洗浄清掃のため移動させようと右				

2017	5	0～1	手で引っ張ったが、車輪ストッパーが掛かったままであったのでスムーズに動かなかった。横着してストッパーを外さず、少し勢いをつけて引いたところ、本人に向かって検品台が倒れてきて、背中に検品台に付属の照明器具の部分が当たり打撲となった。	50	379	6	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	研究棟の階段を降りている際に足を滑らせてバランスを崩し、転倒するのを防ぐため右足で踏ん張った際に負担がかかり、膝関節を骨折し靭帯を損傷した。	43	413	19	300 ～ 499
2017	5	14～ 15	洗浄室コンテナ搬入口で作業していたところ、別の労働者が移動させていたコンテナに右足が巻き込まれ、右足腱を損傷した。	44	611	6	30～ 49
2017	5	0～1	縦ピロー包装機のフィルム交換を行い、繋ぎ目の部分まで空袋送り でフィルムを出し、1サイクルでフィルムをカットした後、確認する 為1サイクルで空袋を1袋出そうとした。その際にホーマー部分 にフィルムが引っ掛かったため、慌ててフィルムを引っ張ろうとし て手を入れてしまい、横シーラー部分に右手中指を挟んでしまっ た。	54	169	7	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	配膳準備のため厨房外の廊下で4階食堂からおりてきた空の配膳車 を一人が押し、自分が引いて運んでいた際に勢い余って左足のサン ダルの上にコマが乗って負傷した。	50	362	6	10～ 29
2017	5	9～ 10	加工場の外周にて、冷水設備の点検作業中、梯子を下りようとした 時に誤って足を踏み外し転落し、背中を強打して肋骨を骨折する。	53	371	1	30～ 49
2017	5	14～ 15	被災者が、スライサーにてスライスした生肉の取り上げ作業中に前 屈みになったところ、側に設置していた解凍機のスライド扉を機器 説明中の加害者が開けたため、扉の金具が腰に当たり、腰を負傷し た。	64	911	6	300 ～ 499
2017	5	20～ 21	工場内にてトレーを入れる折コンテナを清掃後に、折コンテナをコ ンテナ搬送台に折りたたんで二段重ねにし、折コンテナに手を添え て搬送している際、コンテナ搬送台が横にあるトレー洗浄水槽に当	63	417	2	100 ～

			たり衝撃で手が滑り、左手を床についた際に左手首をひねり骨折した。					299
2017	5	11～ 12	会社にて、お昼休憩に行く際に階段を下りる時に足を滑らせてしまい、階段を踏み外してしまった。左手をついてかばったが、お尻もついてしまい、左手中指と薬指を打撲し、尾てい骨を骨折した。	39	413		2	30～ 49
2017	5	10～ 11	厨房内コンロの前で沸騰したお茶の入ったやかんを持って移動している時に、やかんが斜めになってしまいお茶がこぼれ、両足太ももと両腕の肘下にかかった。	47	911		11	10～ 29
2017	5	10～ 11	コンロの前で味噌を出汁の中で溶いている時に、他の従業員が落してしまつたやかんが床に落ち、飛び散つたやかんの中のお茶が両足の足首周りにかかつてしまつた。	26	911		11	10～ 29
2017	5	13～ 14	中学校において給食配送後の食器回収をしていた際、約50cm段差のあるターミナルに上がる時に足を踏み外し、バランスを崩して転倒し、左腕を強打した。	72	417		2	10～ 29
2017	5	12～ 13	おからを外のタンクに搬送するための機械（ロータリーフィーダー）にて、ビニールに入っているおからを機械で廃棄している際に誤ってビニールを落としてしまい、ビニールを取ろうとして機械とおから受け器に指を入れ、右手中指先端約1cmを切断してしまつた。	37	165		7	50～ 99
2017	5	12～ 13	お昼休憩後、作業場に戻る際、休憩室出入口ドアの足元の段差に気付かず、躓き転倒した。	56	417		2	10～ 29
2017	5	11～ 12	学校給食の配送補助作業中に、配送先の小学校で食缶の配送を終了し、運搬車の後部ドアを閉める際に約80cmの段差を飛び降りた際、着地に失敗して左足首を捻挫した。	68	418		3	30～ 49
2017	5	10～ 11	工場内で厚焼焼成機の洗浄後、焼成鍋の中をタオルで拭く作業中に、掻き混ぜ装置受け板の角度がついた箇所で作業し機械が動いた際に、早く作業を終わらせようと決められた場所から少しずつ	21	165		7	100 ～

			上流に移動し、作業禁止エリアで鍋拭きを行い、アングルと鍋の間に手を挟み、右手の指先を被災した。					299
2017	5	21~ 22	流し台にて20ℓプラスチック容器を洗浄する作業で、通常はシンク内に直接置いて洗浄するところ、通常より多い6本の洗浄になり、20ℓの洗浄液が入った容器を床に置いた状態から高さ80cmのシンク内まで持ち上げ、最後の6本目を持ち上げた際に腰にブチッと痛みが生じ、その後、体が動かなくなった。	56	921		19	10~ 29
2017	5	8~9	当該工場東側バラエティライン取出し口付近で、18段積んである1番上の空ケースを左手に2ケース、右手に1ケースを持って方向転換して作業場に戻ろうとした時に、右足が滑って両手にケースを持っていたため、手をつけず左肩を床に打ち脱臼骨折した。	57	416		2	100 ~ 299
2017	5	5~6	原料目視検査室2階で、コンベア清掃時にブラシがローラーに巻き込まれ、ブラシを持っていた左手の親指と人差し指を挟まれ、握っていたブラシの柄で親指を受傷した。コンベア清掃時は、スイッチを切り清掃しなければならないが、動作中に清掃を行い、ブラシごと親指と人差し指を巻き込んだ。	47	224		6	50~ 99
2017	5	16~ 17	社内作業場前で、営業車（バン）から茶類の荷物と商品を降ろす際にステップから足を踏み外して転倒し、腰部を打撲骨折した。	56	231		1	10~ 29
2017	5	11~ 12	学校給食調理室で、調理後の洗浄中（釜洗い）に金属のヘラが当たり、左手のひらの親指の下辺りを切る。	33	364		8	50~ 99
2017	5	9~ 10	胡瓜選果機の製品ラインで製品を待っている途中、誤って右手がローラーとベルトの間に挟まり、右手の甲を損傷した。	22	224		7	50~ 99
2017	5	15~ 16	製造室にて洗浄作業中に、テーブル下20cmに仮置きしていた長さ141cmのブラシがテーブルより20~40cm程はみ出しており、躓いて転倒して左膝を強打した。	58	417		2	30~ 49
2017	5	10~ 11	3回目の砂糖作りをしていて、3番鍋から攪拌機に黒糖汁を移してすぐ、代表者が攪拌機のスイッチを入れた時に、熱い黒糖汁が、代表	58	341		11	1~9

			者とその側を歩いていた被災者の腕にかかった。				
2017	5	2～3	体調不良で早退すると報告を受け、本人が現場を後にし帰宅前に女子トイレへ行ったところ、目眩がしてそのまま意識を失い、転倒した時に左太股を強打して骨折した。	68	921	2	500 ～ 999
2017	5	22～ 23	トレーが流れている機械の途中で、トレーが詰まったのでとっさに手を入れて取り除き際にバーに挟まってしまった。	19	224	7	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	生麺製造工場にて、縦型ミキサーを使い麺生地のみキシング作業を行っていた際に、機械の停止スイッチを押した後に完全停止を視認する前に下部排出口を開け、生地を掻き出すために手を入れたため、ミキサー内部の部品に巻き込まれ、左手中指を三針縫う怪我を負った。	24	165	7	30～ 49
2017	6	9～ 10	個人宅足場解体工事現場において、足場解体作業中、2段目足場にて作業していた者が、クランプを取り外す最中、先に外し足元に置いていた単管（1m）に足を接触させ単管を落下させてしまった。その時、その下で作業していた従業員の肩に一度当たり、その後に右足甲の上に落下し負傷したものである。	45	417	2	10～ 29
2017	6	9～ 10	検収室内で下処理の作業中、台の上に載った開缶済みのたけのこ水煮缶を、両手に持って移動させようとしたところ、缶が手から滑り、落下させてしまう。その際に缶のギザギザの蓋で指を4本切ってしまう。	47	611	8	1～9
2017	6	21～ 22	調理器具の殺菌作業中、85℃（お湯）の煮沸殺菌槽から消毒後の調理器具が入った籠を取り出す際、籠を殺菌槽にぶつけ調理器具が槽内に落下した。落ちた調理器具を取り出そうと咄嗟にニトリル手袋をした左手を湯の中に入れ、手首を火傷した。	33	341	11	100 ～ 299
2017	6	9～	小学校給食室内にて、給食調理作業中、冷凍のホッケの袋を解凍するため、ゴム手袋をしてホッケを沸騰しているお湯の中に入れていた最中に、釜の中で袋が横に倒れたので縦に直そうとした時に、左	38	379	11	30～

		10	手袋着用口から中にお湯が入ってきてしまい、左腕ひじ下から小指まで火傷した。				49
2017	6	16～ 17	帰宅する際、階段を下りる時にバランスを崩し、左足をくじいて負傷した。	46	413	19	100 ～ 299
2017	6	8～9	自宅を出て会社駐車場（第二駐車場）到着し、車から降りて100メートルほど歩いたところで躓き転倒した。その時に左足首をひねり転倒したままで、同じ職場の事務員に支えてもらいながら会社更衣室まで歩いた。しかし左足首が痛む為、病院に行きレントゲンによって骨折が判明した。	58	417	2	100 ～ 299
2017	6	8～9	社内休憩室にて清掃作業中、使用している掃除機の電源コードをずらそうと移動していた。その際、コードに足が引っ掛かってしまい前方に転倒し、床に両膝を打ちつけてしまい、左膝が腫れ上がってしまった。	63	416	2	300 ～ 499
2017	6	15～ 16	会社の敷地の草刈りをしていた時に、左眼に何かが当たり負傷した。	57	169	4	10～ 29
2017	6	10～ 11	工場内の調理室で通路からフレックスカートを右手で引いて、半製品庫へ収納しようとした時、通路途中の食器洗浄機の扉の角に左手小指をぶつけた。ぶつけた当日は痛みと腫れがあり、後日病院へ行ったところ骨折と診断された。	54	419	3	50～ 99
2017	6	10～ 11	工場内にて、ロールボックスから出したバットを床で滑らせ、洗浄機前まで押して移動させていたところ、グレーチングにバットが引っかかり、前につんのめり転倒し、左膝付近を打撲した。	35	417	2	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	人参を5cmカットしている時に、誤って包丁で左手人差し指を切ってしまった。	58	364	8	100 ～ 299
			こんにやく商品を製造中、包装工程において、印字がずれたため、				



2017	6	11～ 12	印字装置の調整を行っていたところ、電源を切らずに行ってしまったため、その装置の隣下にあるカット刃（包装袋をカットする刃）が降りてきてしまい、左手の中指を負傷した。	45	169	7	30～ 49
2017	6	14～ 15	会社内精肉センター内において、スライサー機の掃除中に刃が当たり、右手人差し指を負傷した。	26	364	8	10～ 29
2017	6	15～ 16	工場内を清掃中、排水溝付近をホースを持って移動していた際、排水溝の蓋が外れていることが周知されていなかったため気付かず、排水溝に足が入り転倒し、怪我をした。	64	418	2	50～ 99
2017	6	13～ 14	賄い食の用意が終了した為、休憩しようとして階段を下りていたところ、階段を踏み外し、転倒した際に右膝を捻り、右膝を捻挫負傷した。	69	413	1	30～ 49
2017	6	15～ 16	会社構内において全体清掃中、開閉ドア付近を拭いていたところ、誤ってドアを勢いよく閉めてしまい、その際に左手薬指と小指を挟んで負傷したものである。	45	418	7	10～ 29
2017	6	18～ 19	庫内（マイナス7度）において、1本135kg、高さ105cmの立っている氷を横に倒す際、片足を滑らせ体のバランスを崩し、氷が右足を直撃した。安全靴を履いていたので足指先に負傷はないが、足の甲を負傷してしまった。	50	529	7	1～9
2017	6	17～ 18	勤務終了時に、会社玄関の階段を踏み外してしまい負傷した。	40	413	2	100 ～ 299
2017	6	12～ 13	当社工場内2階食堂で、昼頃、椅子の足に躓き、両膝を床に強くついてしまう。左膝に湿布をして仕事に戻ったが、工場1階製造場で原料の入ったパットを持って移動していた夕方頃にまた転んでしまい、左肩を床に打ってしまったものである。	66	417	2	30～ 49
2017	6	11～	野菜ペーストを製造中、足が滑り、膝を機器の角にぶつけ、さらに床にぶつけた。床面の劣化が確認された為、防滑加工をした。靴	56	416	3	100 ～

		12	の交換ルールが決まっていなかったため、ルールとチェック方法を決めた。					299
2017	6	13～ 14	食品会社に勤務（検品・箱詰め）する被災者は、災害当日、通常通り、検品・箱詰め作業を行っていた。箱を取ろうと後を向いた時に、箱の下に敷いてあるパレットに躓いてしまい、左手を地面についで、倒れてしまった。その結果、左手首骨折という怪我を負ってしまった。	62	379		2	50～ 99
2017	6	16～ 17	店舗盛り込みラインにて、弁当用コンテナを準備するために慌てて後ろ向きに歩いたところ、左足のかかとを作業台に引っ掛けてしまい、後ろに倒れ、後ろにあったカゴ車に右背中を打ちつけてしまい、痛みが引かず、右肋骨不全骨折と診断された。	65	379		3	300 ～ 499
2017	6	15～ 16	製麺工程における、麺を茹でる機械のオペレーションを担当していた。生産終了後、機械からお湯を排出している時に、機械の横に設置してある排水溝の蓋で足を滑らせて転倒した。その際、床に左手・右足・腰をついてしまい、火傷と打撲を負った。	20	418		2	100 ～ 299
2017	6	0～1	米倉庫から出て、おにぎりピッキング室とおにぎり仕分け室の間を通行中に転倒した。その時、右足の靴が脱げ小指側から床面についた。	51	417		2	300 ～ 499
2017	6	21～ 22	スイングドアの前で容器の袋を開ける作業を行っていた。ゴミ袋の空気を抜くためドアの真下にしゃがみこんでいたところ、ドアが開き受傷した。	44	419		6	500 ～ 999
2017	6	11～ 12	工場内で、商品の箱詰め作業前のラベルチェックをしている際、社員に管理表との照合作業をしてもらおうと呼びに行く時、作業場内に置いてある商品が積まれたパレットに躓き、転倒を防ごうと出した右手で商品の入っている箱を突いてしまった。	54	611		2	50～ 99
2017	6	11～ 12	親子丼焼成ラインにて、高温の鉄皿を容器に移しかえる作業中、ルール通りビニール手袋3枚、軍手1枚を着けて作業していた。熱を感じていたにもかかわらず我慢し、誰にも報告せず生産終了まで	26	529		11	300 ～

			作業を続け、低温火傷を起こした。					499
2017	6	17～ 18	厨房のエレベータ前で配膳台の2台目をエレベータに入れようとしたところ、扉が閉まりかけた。急いで開けようとしたが、扉に押され、左側に体ごと倒れた。その際に左足の側面をコンクリートの床に強打し、左足小指下の骨折と左足左側面の打撲をした。	57	214	2		10～ 29
2017	6	10～ 11	当工場地下1階調整室で、ひじきご飯入容器（12kg位）を作業台（1m20cm程）の上に載せようと持ち上げた時、肩に痛みがきた。痛み止めと湿布薬で治療を続けたが痛みが取れない為、MRIを受診したところ、右肩腱板断裂と診断され、その後、入院・手術をし退院した。	69	611	19		300 ～ 499
2017	6	3～4	フィルム交換時、軸に留めてある金属の棒が、ゴムリングの劣化により外れそうになっていた。フィルムを取り付ける際、固定ゴムリングが切れている事に気づかず、フィルムを押し込んでセットしようとした。助手として反対側にいた作業員が、落ちそうになった棒を素手で押さえていたが、金属の棒が動き、金属の角で右手人差し指が削れ欠損する事故となった。	35	169	8		10～ 29
2017	6	14～ 15	給食の食器等の載った台車が降りてくる、リフト場へ向かう調理場の出入口外で、台車を引き取ろうと待機していた。台車の到着を示すランプが点灯したので、駆けて取りに行こうと左足を踏み込んだ際に、膝を捻った。	56	921	19		1～9
2017	6	7～8	送迎バスが工場に到着し、玄関前でバスから降りようとしてステップを降りている時に、急いでおり、不注意で足を滑らせ転倒し、左足首を捻挫した。	49	231	2		500 ～ 999
2017	6	10～ 11	下処理の終わった肉を運ぶ際、通路がコンテナで塞がれていた為、通路の端を通過しようとした際、足を滑らせて台車のバランスを崩し、人・車共に転倒し、台車の下敷きになってしまった。	29	417	2		100 ～ 299
		11～	当店調理場にて、空のバケツを持って移動中に、床が濡れていたの					10～

2017	6	12	に気づかず歩いてしまい、滑ってバランスを崩して左肩より転倒し、左肩を負傷したものである。	66	417	2	29
2017	6	5～6	休憩終了後、入場口にて、手洗いをしハンドドライヤーで手を乾かしていた際に、突然ハンドドライヤーに手をつき寄りかかる。その後、仰向けに倒れて後頭部を床にぶつける。意識はあったが、救急車にて病院へ搬送される。診察の結果、脳内に出血が見られる為、脳神経外科へ移送される。	62	417	2	500 ～ 999
2017	6	16～17	ベルトコンベア清掃の為、作業台の上で作業をしていたところ、バランスを崩して作業台から落下し、左腕を負傷した。	57	391	1	50～ 99
2017	6	15～16	第1工場にて紙巻機械で作業中、栽培ビンが倒れたため元に戻そうと、機械の床より1mの部分に上がり（通常はビンを起こす時は専用の棒で起こす）、ビンを起こして床に降りる時、右足に負荷がかかり負傷した。	43	417	3	50～ 99
2017	6	8～9	出勤時、敷地内駐車場に車を止め建物内に入る際、傾斜部分の砂利に足を滑らせ尻もちをつき、その際に右足が尻の下に入り、右足首を骨折した。	66	417	2	1～9
2017	6	12～13	午前の作業後、「立ちくらみがする感じがする」と訴え、休憩室で休んでいた。本人が1人でトイレに行った際に意識を失い、トイレ内のどこかの場所に左まぶた上をぶつけ切り傷を負った。	54	921	3	30～ 49
2017	6	8～9	当社工場内において、2階で着替えて現場に向かおうと階段を下りていた際、足がもつれて階段から転落した。（13段中7段目から）その際、階段の角に額を打ち、後頭部も階段に強打し受傷した。	58	413	1	50～ 99
2017	6	17～18	作業現場にて、成型コンベアの洗浄中に機械が倒れ、下半身が機械と床に挟まれ、上半身が床に激突した。成型ローラーが立てられた状態で、機械の重心が高くなっていた。	24	169	7	300 ～ 499
2017	6	9～	冷凍資材庫へ具材を取りに行った際に、資材が多く、通路が狭くなっていたため、床面に置いてあった物を避けようとしたところ、	28	417	2	300 ～

		10	バランスを崩し転倒した。その際に、持って来ていた台車のタイヤに背中を打ちつけてしまい、左肋骨を骨折した。					499
2017	6	15～ 16	工場内シンクで、食器を洗浄してコンテナに入れ、そのコンテナを下（足元）に降ろそうとした時、右腕が突然痛くなった。	70	611	8		30～ 49
2017	6	15～ 16	かごを持って移動中、線に足を引っ掛けて転倒した際、持っていたかごが顔に当たり、鼻と前歯を損傷した。	76	417	2		10～ 29
2017	6	16～ 17	当社工場内、充填室において、ハードカプセル充填機を別の労働者と2人で清掃していたところ、相手方が声掛けなく寸動スイッチを押したため、回転した部品の際間に左示指が巻き込まれ、負傷したものである。通常、当該清掃作業は1で行うこととされていた。2で行う場合は、寸動スイッチを押す者が声掛けをするよう、指導していた。	53	169	7		50～ 99
2017	6	13～ 14	工場内で、豆腐を入れるための空ケースが積んであるカーゴ車と折り畳んであるカーゴ車を、外から場内へ移動させる作業をしている時、右手で引いていた折り畳んであるカーゴ車のタイヤの動きが悪く転倒した。その際、右手でカーゴ車の転倒を抑止しようとして、右手首を捻った。	56	362	5		30～ 49
2017	6	19～ 20	翌日の準備の為、冷凍庫より商品を出していたところ、入口付近で靴に霜が付着していたようで滑って転倒した。その際、背中を強く打し、ムチ打ちを負い、ついた左手も痛くて握れなくなった。	51	417	2		100 ～ 299
2017	6	13～ 14	本社工場1階出荷場で、両手に大きなゴミ袋を持ち、足元が見えにくい状態でゴミ捨て場に向かっていた途中、パレットが1枚置いてあるのに気付かなかったため、パレットの角に足が引っ掛かり転倒し、左膝を強く打し負傷した。	56	379	2		100 ～ 299
2017	6	14～ 15	当社工場内、業務用充填機作業所において、メープルシロップ充填後の熱湯洗浄作業を終えた時、ストレーナー内の熱湯を出すため取り外したところ、熱湯受けのバケツを使用して取り外すところ、うっかりして使用せず取り外してしまったため、ストレーナー内に	46	391	11		30～ 49

			残っていた熱湯が左足の作業靴にかかり、小指と薬指に火傷を負ってしまった。				
2017	6	10～ 11	新製品の発売を控えているため、毎日の生産アイテム数が通常時の1.5倍になっていた。アイテム切り替えの際には水洗い洗浄を行うため、普段より床が濡れる頻度が高くなっていて、同時に切り替え作業を急いだため慌ててしまい、濡れた床で転倒してしまった。	51	417	2	30～ 49
2017	6	8～9	当社畑にて、茶葉の摘採を乗用式茶刈機で行っていた際に、茶葉の入った袋を交換しようとしたところ、誤って右足を茶刈機の刃に挟んでしまい負傷した。	72	169	7	1～9
2017	6	16～ 17	事業場内作業場での製造作業中、ドレッシングの排液をバケツに入れて室内の排水溝に排水している時、バケツを持ち上げた際にバランスを崩してしまい、隣の高温の温水が流れている排水溝に右足（靴着用）を踏み入れてしまったため、右足を火傷した。	31	418	11	30～ 49
2017	6	12～ 13	茶畑で摘採中に、乗用機械から落下し、身体を地面に打ちつけて負傷した。	30	169	1	1～9
2017	6	11～ 12	蒸気釜で麺を茹でる作業をしていたところ、釜からザルを取り出す際に、ザルから落下した熱湯が左足にかかった。保護具としてエプロンと足カバーを着けていたが、エプロンはめくれ、足カバーはずれていた。	60	379	11	300 ～ 499
2017	6	3～4	工場内において、炊飯機から炊き上がったご飯釜をほぐし機へ流すためのレーン上で、釜が止まってしまったため、レーンの奥から釜を押したところ、レーン上で止まっていた別の釜が落下した。落下した釜を引き上げて、釜から飛び散ったご飯を片付けていたところ、その作業に気づいていない別の同僚が、同じように釜を奥から押したため、別の釜が落下し、その際に右腕と右指に釜が接触し負傷した。	69	224	4	30～ 49
		13～	1F茹麺機の製品切り替え作業を行う為、2段の作業台を使用し、作				300

2017	6	14	業を終えて後ろ向きで降りた際、床の突起物に足を乗せてしまい、足首を捻った。	25	417	3	～ 499
2017	6	11～ 12	場所移動中に呼び止められ、振り返った際に足を滑らせて転倒し、右肩を床に打った。	66	417	2	30～ 49
2017	6	11～ 12	工場包装室で惣菜のパック包装作業中、空になった容器を片付けようと運んでいる時に、足元にあったカートに躓いて転倒し、胸部を地面に打ちつけて肋軟骨骨折をした。	64	417	2	100 ～ 299
2017	6	6～7	業務中、テーブルを移動させた時にテーブルの脚に足が掛かり、転倒して大腿骨を強打してしまった。	67	391	2	30～ 49
2017	6	21～ 22	調整室で作業していて、ガゼットを取りに行った時に、両側で作業していた間を通り抜けたところ、簡易型テーブルキャリーの脚に右足が引っ掛かって転倒し、左肘を強打した。	51	379	2	300 ～ 499
2017	6	11～ 12	検収室の器具洗浄機でバケツ等の洗浄作業中、洗浄機のカバーがしっかりはまっていなかったため外れ、左足に落下し、左足小指を骨折した。	54	169	4	50～ 99
2017	6	22～ 23	製造二課米飯室で、材料を取りに行く移動中に、海苔保管庫前の床が濡れていた為、滑って転倒した際、尾てい骨を負傷した。	59	417	2	300 ～ 499
2017	6	16～ 17	工場内において製麺作業中、自動玉取り機のオペレーターをしていたところ、ラインに付着した埃に気付き、本来であればラインを停止して除去するところを、誤ってラインを停止せずに除去しようとした為、機械の刃に右手中指が触れ負傷したものである。	37	165	8	10～ 29
2017	6	13～ 14	当社工場内において、掃除の為に、自動茹麺玉取機から内部にあるキャップを外す作業をする時に、キャップが外れない為、機械の電源が入ったままキャップの中心の穴に指を入れて取ろうとしたところ、差し入れた左手中指先端を7.5mm程欠損した。	42	165	7	10～ 29
		12～	食材運搬用台車に食材を入れて移動していたところ、1Fエレベーター				300

2017	6	13	ター入り口で台車の操作を誤り、衝突防止用鉄柱と台車に左手を挟み負傷した。	63	362	7	～ 499
2017	6	3～4	工場製造Bラインにおいて、たまご焼サンドを製造中、丸刃スライサーに詰まったパンを取り除こうとした際、パンの耳を落とす刃に指が触れ切ったものである。	48	165	8	300 ～ 499
2017	6	14～ 15	工場内でスライサーにキャベツを投入している時に、スライサーにキャベツが詰まり、手で押し込んだところ、手を奥まで入れすぎてスライサーの刃に手が当たり、指を切ってしまった。	74	165	8	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	自社所有の茶畑で、刈り取った青芽（10～15kg程）を運んでいる際、左足に痛みを感じ、疲労骨折が判明した。茶畑の足元は傾斜地であった。	15	611	19	1～9
2017	6	14～ 15	洗浄室で、排水口のごみを取ろうと排水口溝蓋をずらした時に、指を挟んで怪我をした。	36	419	7	1～9
2017	6	2～3	混合ドラムの蒸気殺菌作業をしていた被災者は、作業終了後、蒸気を止め、蒸気ホースを取り外し、混合ドラムの蓋を外して内を確認しようと、顔をドラムの方へ向けた際、顔に蒸気が当たった。	54	341	11	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	肉下処理室冷蔵庫にスライスされた肉が入ったバットを運び入れ、振り返った際に転倒し、臀部を床に打ち付けた。（床は濡れていて滑りやすい状態だった）	56	416	2	300 ～ 499
2017	6	10～ 11	厨房で冷凍庫に食材を収納している時、両手がふさがっている状態で動こうとして足が滑り、転倒しそうになる。転倒は堪えたが、足を捻ってしまい骨折した。	50	417	19	10～ 29
2017	6	7～8	退社時に工場から駐車場へ向かう際、階段を踏み外し、前のめりに転倒した。その際に左手を階段に打ちつけ、左手甲部分の腫れと痛みがあり、左手首を骨折した。	55	413	2	100 ～ 299
2017	6	17～	工場の2階にある作業現場（第4包装）から、次の作業指示を確認する為、別の作業現場（第2包装）へ移動中、階段の1段目を上ったと	55	413	19	100 ～



		18	ここで長靴のゴム底が擦り減っていた事から足を踏み外してしまった。その際、右手をついた反動により骨折した。					299
2017	6	11～ 12	段差を降りようとした際、配管に右足が引っ掛かり、そのまま転倒した。その際に足首を捻った。	49	417	2		300 ～ 499
2017	6	22～ 23	工場内炊飯室で炊飯作業終了後、機械等を水洗いしていた時、右足でホースを踏みつけた拍子に足が滑り横転したため、床に右手を着いた際に負傷したものである。	50	417	2		100 ～ 299
2017	6	12～ 13	食器の洗浄中、洗浄機から乾燥機に移動中、近くのステンレスのシンクの角に肘を思いきりぶつけ、骨折した。	51	391	3		1～9
2017	6	9～ 10	当社の味噌等製造工場内において、蒸した米・糀等を攪拌機（以下、「機械」と言う）により攪拌し終わったので、それらを他に移し、後仕事として機械の出口付近に不着した糀等の残りを左手により掻き出していた。その際、他の職員が被害者の作業を十分に確認することなく機械の回転レバーを作動させた為、左手の指3本が機械の回転羽根と接触し、負傷した。	64	165	7		1～9
2017	6	10～ 11	調理場の野菜カットコーナーで、五目ビーフンに使用する玉葱をカットする作業中に、左手で押さえていた玉葱の薄皮が滑り、右手に持っていた包丁で左手薬指の先を爪と共に切った。包丁が新しくよく切れたため、指先を切り落とした形となり、病院を受診し2針縫合した。（左環指先端切創）その後、消毒に毎日通い、1週間後の抜糸となった。傷口が蒸れても濡れてもいけないと医師に言われたため、抜糸まで調理業務を休んだ。	45	379	8		10～ 29
2017	6	8～9	包装機のフィルムを抱えて戻ろうとした際に、棚の付近で他の人が屈んで作業をしていたので避けて通ろうとしたが、バランスを崩し、抱えていたフィルムで左膝上部を強く打ちつけた。疼痛はあったものの外傷もなかったためそのまま就業していたが、2時間後に左膝上部が内出血の様に腫れて変色してきた。	76	529	3		50～ 99

2017	6	12～ 13	コンテナを積んだ台車を作業所に運ぶ際、床の排水用の窪みにタイヤがはまって倒れて来た。その際、後ろにあったコンテナの台車にぶつかり、体を打ちつけた。	55	362	6	50～ 99
2017	6	15～ 16	工場顆粒包装課Cチーム具材ラインの段ボール手詰作業中に、応援で中箱折り作業を行い、中箱折り作業から、段ボール手詰作業へ戻る途中、足を滑らせたため身体が倒れないよう、保管中の段ボールの上に手をついた。	63	611	3	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	配達先にてお弁当の回収をする際、段差に気付かず足を踏み外し、左足首を亀裂骨折してしまった。	50	417	2	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	配達及び回収から戻り、洗浄コーナーに車両から弁当箱（ケース入り）を下ろそうとしたところ、足元の弁当箱（ケース）に気付かず接触し、転倒して右膝を負傷した。	44	417	2	10～ 29
2017	6	10～ 11	工場内でグルテンを右手に持ち、1階から2階へ上がろうとしたところ、最初の段に躓いた際、左手を地面に打ちつけて、左手手首を骨折した。	57	413	3	1～9
2017	6	17～ 18	工場内の階段において、就業を終えたため帰宅しようとした際、送迎バスの時間が迫っており、急いで敷地内の階段を数段飛ばしで降りていたところ、階段を踏み外したため、右足首を受傷した。	58	417	3	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	工場で作業中、台車が足首にぶつかった。初めは症状も酷くはなかったが、症状が悪化した。	34	362	6	10～ 29
2017	6	13～ 14	食品製造工場において、食肉の解凍作業場から加工場へ台車を使用し食肉を運搬する際、台車の車輪が滑ってしまい、積載していた食肉が入ったケースが左足外側へ落ち、左足小指を不全骨折した。	28	611	4	300 ～ 499
2017	6	7～8	工場の肉ラインにて、肉をスライサー投入時、折れ曲がっている少し凍った肉の原料を、まっすぐに直そうと力を入れたところ手が滑ってしまい、左手親指を反対に捻り脱臼を負う。その後、痛み	22	921	19	50～ 99

			があったものの腫れもなかったため、数日様子を見ていたが、痛みがなかなかひかなかった。				
2017	6	15～ 16	盛付Aラインにて、盛付終了後、次の商品への切替準備のため、残った具材の入った台車を押して運搬していたところ、滑って転倒し、臀部から腰にかけて強打した。全く動けない状況だった。レントゲンの結果、異常はなかった。	55	417	2	300 ～ 499
2017	6	16～ 17	倉庫内にて、パレットに積んだ皿うどんの具材を工場へ移動させるため、手押し台車へ運んでいた。積み上げられた具材を1個両手で抱え、振りかえって移動しようとしたところ、たまたまパレットの一部が欠けた穴に左足を落とし込み、前のめりに倒れて、左足アキレス腱を負傷した。	48	379	2	10～ 29
2017	6	11～ 12	当該工場内エコプラント室で苛性で釜を洗浄中、釜の中に苛性が残っているのに蓋を開けたため、釜の中にも圧力が掛かっているのに苛性が噴き出て、身体にかぶってしまった（圧力容器内100℃以上）。	25	312	11	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	養殖したシイタケをハサミで刈り取る作業をしていたところ、3ヶ月程前から右手首に痛みが出た。大事ではないと思い就業を続けたが、痛みが酷くなった。	34	364	19	50～ 99
2017	6	8～9	当社工場内で豆腐の製造中、豆乳の入った型箱をプレス機のレーンに乗せるため持ち上げようとした時、型箱を載せた台車を足で押し間違い、台車が動いて、少し離れた状態で持ち上げようとしたため、通常作業時より異常な負荷が腰にかかり、腰を痛めてしまった。	26	921	19	50～ 99
2017	6	11～ 12	学校給食センターにて、各学校の食器・食缶を入れたコンテナを2tトラックの荷台に2人1組で前後になり積み込む際、トラック荷台の開閉扉の半分が閉じた状態になっていたことに気付かず、後ろ向きに下がりながらコンテナを引っ張った為、開閉扉とコンテナに身体ごと挟まれた。その際、開閉扉の取っ手部分の出っ張りで強く左	66	611	7	30～ 49

			肩を打撲したため、左手があがらなくなった。				
2017	6	10~ 11	工場入口の門辺りを放水作業中、ホースに躓いて転倒し、コンクリート地面に左膝を打った。	48	416	2	10~ 29
2017	6	15~ 16	弊社製造現場の、原料の異物撤去設備の殺菌処理のために、次亜塩素酸投入を完了し、3段の階段を下りる際に設備に設置してある水道ホースに足を取られ、避けた際に正常な状態で右足を床面に置くことができず、右足の甲を捻った状態で床面についてしまい負傷した。	54	413	19	100 ~ 299
2017	7	21~22	出勤時、送迎バスを降り入口の階段を上っていた時、足を踏み外し斜め左側へ転倒した。その際身体を支えようと左手を強くついてしまった。着替えをし業務に就こうとしたが、痛みがひどかったためそのまま帰宅した。	65	413	2	100 ~ 299
2017	7	15~16	学校給食センター調理場内の消毒保管庫上部の清掃作業中、蒸気配管部分に誤って右前腕内側を接触させてしまった。	49	391	11	10~ 29
2017	7	15~16	被災者はコミットロールの組み立て作業を行っていた。カッティングヘッドの取り付けでスパナでボルト締め付けを行っていた際に、スパナがボルトの頭から外れた拍子にスパナが手から外れ、右目に当たった。	56	364	4	100 ~ 299
2017	7	14~15	工場第1整形室にて機械の入口から出てきた原料肉をひっくり返し、その原料肉を再び同じ機械に入れる作業をしていたときに、機械の入口から離れたところから原料肉を入れようとしたため、体勢を崩して原料肉を持っていた右手首をひねってしまった。後日痛みが増し、右手関節捻挫の診断を受け18日後にMRI検査をした結果、右肩腱板不全損傷で休業見込みを1か月要することがわかった。	37	529	19	300 ~ 499
2017	7	13~14	盛付作業場にて、商品切り替え時にコンベア下のローラー部分についていた具材残渣をブラシによる清掃作業中に履いていたビニール手袋が巻き込まれ、左腕がローラーに挟まり被災した。被災者は事故	49	224	7	100 ~

			当日の入社であった。					299
2017	7	15~16	当社作業場内にてパート従業員がチンゲン菜原料処理作業中、チンゲン菜の根をカットする作業内にて、左手にチンゲン菜を持ち右手に専用ナイフを握りカットしたところ、誤って左手人差し指を切っ てしまい負傷した。直ぐに当社事務所に本人より報告を受け、作 業手袋を外し傷口を水洗いし清潔なタオルにて止血処置を行い、治 療を行った。	27	364		8	10~ 29
2017	7	11~12	第一包装充填室において、袋取り機を使用し、20食ずつ袋詰め の作業をしていた。20食を袋に入れ、シールをしようと、スタートボ タンを押した時、製品が背貼りシール部分に引っ掛かっている事に 気づき、とっさに安全カバーの下から手を入れて製品を直そうとし たため、背貼りシールカバーに、右手親指の先端を挟んでしまっ た。	44	169		7	50~ 99
2017	7	15~16	野菜処理室で野菜をカットする作業中、作業台に置いてあった包丁 が落下。それが手の平に触れ、包丁の先が刺さって負傷した。	68	364		8	500 ~ 999
2017	7	13~14	児童用の使用済み食器を洗浄機に掛け、流れてくる食器を受け取っ ていた。奥の食器を取ろうとした際、洗浄機のコンベア部とのタイ ミングが悪く、左中指を可動部に挟まれ指の皮膚が裂傷したも の。	56	169		7	30~ 49
2017	7	16~17	当工場第2工場入荷場入口にて、第1?第2工場間荷物搬送トラック に、フォークリフトを使用して空パレットを積み込む作業をしてい たところ、通常12枚で幌の天井がいっぱいになるが、そのときはそ れ以下の枚数しか積載できなかったためパレットを再度積載して、 そのまま（フォークリフトのマストを下げずに）いたところ、マス トが入口シャッターにぶつかりシャッターを歪めてしまった。受 傷者はこれくらいなら営繕係の手を借りなくても修理できると考え	32	379		1	30~ 49

			て、パレット4枚（高さ約50cm）をシャッターの下に運んだ。受傷者はパレットを踏み台にして、シャッターのゆがみ具合を確認していた。パレットから降りようとしたところ、パレット端から足を踏み外して床面に顎を強打した。				
2017	7	15~16	厨房にて老健（併設）の配膳車に盛り付けた小鉢を差しこむ作業をしていた時、配膳車下段に差しこもうと一度しゃがみ、片手にトレイを持ったまま立ち上がろうとして、バランスを崩して転倒、身体を支えられずに手首を捻挫してしまった。	53	921	2	10~ 29
2017	7	9~10	生麺室内で麺帯巻き取り作業中、複合機上部のフェンダーが作動していたが、フェンダー内に残存生地があったので複合機へ落とし込むため、フェンダースイッチを切らず左手でカバーを押さえ右手で残存生地を落としてする最中に、回転してきた羽根に右手指2本が挟まれた。※アクリル板カバーにリミットSW無（現状取り付けできないためとして）	38	165	7	30~ 49
2017	7	9~10	冷蔵庫前の床に置いてある、牛乳（900ml×6本）1ケースとソフトクリームミックス（3000ml×3袋）8ケースから右手で取り出して冷蔵庫へ入れる作業をしている時に、突然右肩に痛みが出た。しばらく様子を見ても取れないので病院を受診したところ、腱板炎症との診断。しかし痛みは取れず別の病院で診察したところ右肩腱板断裂と診断された。	51	921	19	10~ 29
2017	7	13~14	他の社員がたたんであった手前のカゴ車を引き出した時、豆腐を製造中の被災者の背中に後方のカゴ車が倒れた。	45	362	5	30~ 49
2017	7	23~24	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	59	417	2	100 ~ 299
			製品包装にて、新しいラップをセットする切り替え作業をしていて、右手でボタンを押しながら、左手では送りベルトの間から出て				

2017	7	4~5	きたラップの端をつかみ、引っ張っていた時に、人差し指第二関節までが送りベルト直下の軸に挟まれてしまった。電動のため、電源を切った上で、指付近の送りベルトを指が抜ける向きに引っ張った。しかし、引っ張った方向には全く動かず、手を放した瞬間、それとは逆の方向に少し戻る動きが生じ、さらに指の付け根まで入ってしまった。その後、送りベルトを切ったり、部品を外したりしたが、取れないまま救急隊到着となった。	36	121	7	300 ~ 499
2017	7	14~15	野菜処理室で、下処理をするたまねぎの入ったコンテナを作業台にのせる作業を何度か行う中で、腰に負荷がかかり痛めた。普段、重いものは2人で持つよう指導され実践していたが、その日は周りに人が少なかったため、1人で持つ不安全な行為があった。腰に負荷が掛かっている状態で作業を継続したため、バランスを崩し左足を痛めた。	40	529	19	100 ~ 299
2017	7	8~9	出勤時、合同庁舎の駐輪場で自転車を止めて降りようとしたときに、自転車とともに左側に倒れ、腰を打ちつけた。	48	379	1	100 ~ 299
2017	7	17~18	機械部品洗浄中に部品に足がつかずいて床に転倒。	45	417	2	50~ 99
2017	7	10~11	当社工場内調理バット洗浄室内に於いて、バットを洗浄する際に、積んであるバットを取ろうとしたところ、バットの中に予備洗浄した水が入っていたため重く、落としてしまった時に左足親指に当たった。	54	379	4	100 ~ 299
2017	7	11~12	冷蔵庫内で冷凍鶏肉1箱（12kg）をパレットからカゴに移し替える作業をしていたところ鶏肉を持ち上げた際に腰を痛めた。	31	611	19	50~ 99
2017	7	10~11	工場内フライヤーラインにて苛性ソーダを用いてラインの洗浄をしていたところ、長ゴム手袋を着用していたが目に見えない小さな穴が開いていたため、中に苛性ソーダが侵入し、薬品火傷を負った。	63	519	12	50~ 99
			圧搾室2Fで諸味充填前準備をしているとき、諸味をのせるステンレ				

2017	7	8~9	スの板にワイヤーを引っ掛けるためその板を仮置きさせる金具（4ヶ所）を出し忘れ、板の重みと勢いで落下した。	56	165	1	10~ 29
2017	7	21~22	定温トッピング室にて製品を番重に入れて積みあげていく作業をしていたところ慣れない作業のため慌ててしまい、腰を痛めてしまった。	46	379	19	~ 999
2017	7	8~9	本社2階工場入口付近で発生。工場へ入ろうとしたところ転倒右手を強く打ち右手首骨折。	61	417	2	~ 499
2017	7	15~16	被災者は工場の3階から下り方向を掃除機で清掃中に誤って転落した。その際右手を着いたため右手首を負傷した。	60	413	1	~ 499
2017	7	16~17	負傷の3ヶ月前に自宅で左足の皿の負傷しており、左足をかばって生活をしていたが、調理場でテーブルを拭いていたところ、振り返った瞬間にバランスを崩し転倒し、左足太ももを骨折した。	57	416	2	~ 499
2017	7	7~8	当社弁当調理工場内で天ぷらを揚げるためボールを持って天ぷら粉を溶いていたところ、揚場付近に油っぽい物があり滑って転倒し、その際に左肩を負傷したものである。	66	416	2	50~ 99
2017	7	8~9	工場内資材事務所（倉庫）の出入口付近にて、滑って転倒した際にドア枠に右足のすねをぶつけ、切り傷と打撲を負った。	46	417	2	100 ~ 299
2017	7	22~23	製造2課現場おにぎりラインにてトッピング作業をしていた。作業場上部の天井が一部落下し頭部に破片が当たり負傷した。	43	419	4	~ 499
2017	7	22~23	生食加工室にてハムスライサー加工中に原料（カタロース焼豚）を追加するため機械を止め上から原料を追加している時に手を滑らせてしまい刃の部分に当たり左手親指の付け根を2cm程削いでしまう。	28	165	8	~ 499



2017	7	8~9	1階1-2作業場にて、作業前に作業台の配置換えを行っている際に、台と台の間に左手人差し指の先端を挟んでしまった。	46	379	7	100 ~ 299
2017	7	4~5	盛付室において台車積みにした食材を運んでいた別の従業員と出合い頭にぶつかり、膝を打撲した。台車には納豆がライスバットいっぱいに入っておりぶつけた従業員も走っていたので、より大きな災害となった。現場には片付けられていないバットがあり、それが死角となっていた。	52	362	6	300 ~ 499
2017	7	3~4	フィルター交換のため、棚上部にあるオイルフィルターを脚立を使用して取ろうとした。その時に足を滑らせ転落、右脇腹を強打した。	62	371	1	100 ~ 299
2017	7	3~4	洗浄室の投入側で、ステンパンチ鋼があり、お湯をかけて洗っていた際に低温火傷を負った。手袋は白手袋をしており、水疱もなく、外傷も確認できなかった。帰宅後、痛みが出て診察の結果熱傷と判定された。	26	911	11	300 ~ 499
2017	7	11~12	コロッケのパン粉をつける作業中に成型機にコロッケの具を投入するために、成型機の横に置いてあった踏み台につまずき、前向きに転倒して両膝とオデコと右手を負傷した。	70	371	2	100 ~ 299
2017	7	8~9	圧力釜の入れ替え作業をしていた同僚が釜の中に閉じこめられ熱傷で死亡。第一発見者として同僚を釜の中から助け出した。	60	999	99	10~ 29
2017	7	8~9	早朝出社し、豚骨スープの製造のため、圧力釜の入れ替え作業をしていたが、3釜目の釜の中に入り残渣をならす作業をする際、蓋の安全ボタンを押すのを忘れたため蓋が自然に閉まり温度が90℃ぐらいの釜の内部に閉じこめられ全身熱傷で死亡したと考えられる。閉じこめられてからおよそ30分後に同僚が蓋を開け発見された。	51	312	11	10~ 29
2017	7	18~19	休憩時間にトイレに行き、スリッパに履き替え後、ふらっとして倒れ、右脇腹を強打した。	56	419	2	300 ~ 499

2017	7	8~9	麺を製造している時に、第1ローラーの下に製品が溜まり、下から出そうと体を第1ローラーと第2ローラーの間に入れた際、右肩の服が、第2ローラーのシャフトのボルトに引っ掛かり、そのまま捲かれ、右腕がシャフトの下に挟まった。服を切るまで10分くらい圧迫され上半身のあちこちに内出血が見られ、数カ所切り傷があった。	69	165	7	1~9
2017	7	7~8	事務室において、事務用肘かけ椅子（キャスター付）に乗って棚の上の荷物を整理していたところバランスが崩れ椅子が突然動いた。このため、椅子の肘かけ部分で腰を強打し床に落ちた。	67	371	1	10~ 29
2017	7	13~14	工場の蒸しラインの出口にて、蒸加工された商品をセイロに並べる作業をしていたところ、立っていられなくなり、座り込んでしまった。（熱中症のような症状）当時は外気温31℃、室内温度35℃、湿度90%の高温多湿な環境で、蒸ライン2本、焼ライン1本、蒸庫2台の全ての加熱設備が同時に作動してしまっていた。	57	163	11	50~ 99
2017	7	14~15	当社工場内オムレツ製造ラインのコンベアから流れてくるオムレツを反転させる金具の部分に不具合が発生したため、電源スイッチを切らないまま補修、反転金具の部品に右手小指を挟まれ負傷する。	51	224	7	50~ 99
2017	7	7~8	作業にとりかかり麺帯を運んでいる時、背後のドアを開けられて背中を押される格好になり、体が動いた際、麺帯を巻いた軸を握った手（左）がカベとの間挟まれて圧力で手のひらを創傷してしまった。	67	364	7	100 ~ 299
2017	7	11~12	被災者が当社工場内で接種の作業中にローラー下の鉄板にキャップが落ちていたため拾おうとしたところ軍手がからまり、ローラーに巻き込まれ受傷した。	20	121	7	30~ 49
2017	7	7~8	きのこ培地のビンに穴を開ける機械で（台座をモーターで上下させ16本のビンが入ったコンテナを持ち上げて穴を開けていく）台座が一番上に持ち上げられた状態で止まってしまい、下げるためにモー	65	165	7	50~ 99

			ターブレーキを解除し台座を上から押した。その時に台座とフレームの間に足先が入っていたため挟まれ負傷した。				
2017	7	8~9	場内でダンボールを作る機械の確認作業をした。ノリ入れの蓋を開けてノリの量を確認。ノリ入れの中に内蓋があると勘違いし160度のノリの中に手を入れ火傷となる。	64	169	11	100 ~ 299
2017	7	0~1	ライン作業終了後、設備上（機械）の清掃をするためにステンレス製の作業台（高さ30cm）を設備横にセット、その上に登った。その際、ペンキ仕立ての滑らかな床面に作業台が滑り、作業者は体のバランスを崩し転倒。転倒した際、左側背中を作業台に打った。	56	379	1	100 ~ 299
2017	7	11~12	加熱調理室にて、脱水機の洗浄をする際、水を流す蛇口があり扉を開けた際に避けきれず、機械とポールの間で足を挟み左足の太腿付近に打撲と裂傷を負った。	60	165	7	100 ~ 299
2017	7	15~16	第二工場厨房にて熱湯を排水溝に流すため、熱湯を沸かした釜からプラスチック製バケツ（70?程度入るもの）に移した。プラスチック製バケツはコロがついたキャスターの上に乗っていたのだが、バケツを動かそうとした際、床のグリーチングにコロが引っかかり、その反動でバケツが倒れそうになった。バケツは手で押さえたのだが、熱湯がはね、はねた熱湯が両足の長靴の中に入り、両足の甲・指に火傷を負った。	38	379	11	50~ 99
2017	7	14~15	工場内の1階作業場から仕込作業で発生したゴミを作業場裏手に設置のゴミ収集庫に廃棄するため、北作業場のドアを開き階段を下りかけた時に足をすべらせ前面右側に転落、左手にゴミ袋を持っていたため右手のみで体全体を支える形になり右肩を負傷した。	60	413	1	50~ 99
2017	7	6~7	作業場にて作業終了時の片付けをしていた際床が湿っていたため、足を滑らせ転倒してしまった。その際、右手首及び頭部を床に打ち付け負傷した。	47	417	2	300 ~ 499
2017	7	16~17	天かすを揚げる工場内で原料ミックスミキサーの清掃の際、設置場所が地上1.5m位のところにありその間の階段から転倒した様子。	37	413	1	1~9

			(本人があまり憶えていない)				
2017	7	11~12	仕出し配達を終え、会社に戻り、車から降りる際、運転席が高いのと駐車場の地面（コンクリート）が斜めになっていることで降りた時、右脚がボキッと捻ったかたちになった。外傷もないので、大丈夫だと思い、そのままだったが、日を追って痛くなり、後日パンパンに腫れ我慢できなかった。	47	417	3	10~ 29
2017	7	1~2	盛付ライン先頭で作業しており、開封した容器の袋を近くのごみ袋に捨て戻ろうとした際、ライン作業していた人の足に躓き、四つん這いになる形で転び両膝を打撲した。痛みもすぐ引くと思ったが、金曜日になり立って作業するのも辛くなったため、早退。土曜日に事後報告をもらった。3週間の安静休養・療養が必要と診断された。	55	417	2	100 ~ 299
2017	7	11~12	味噌の仕込み桶で、桶内の洗浄作業を行うため、内部に立て掛けたはしごを下りている時に足を踏み外してしまった。この時、安全ベルトをしていなかったため、約1.5mの高さから落下してしまい、両足の踵を骨折した。	61	371	1	100 ~ 299
2017	7	7~8	工場内の更衣室で作業服のズボンをはこうとして滑り、前のめりに倒れその時に左ヒザに体重がかかり負傷した。	54	921	2	300 ~ 499
2017	7	7~8	第3工場豆腐の資材置場において右手にソフト豆腐用フィルム巻（4kg）と左手に2P豆腐用フィルム巻を両手に持って運搬用台車に載せようとした所、右手に持ったフィルム巻が滑り右足の小指の上に落とし骨折してしまった。	51	529	4	100 ~ 299
2017	7	11~12	当社工場内において換気扇の修理作業中、誤って回転している羽根に触れた際、被災したもの。	70	169	7	10~ 29
			プラント室洗浄槽前にて、装置カバーや治具を洗浄する作業をしている時、粉末のアルカリ薬品を溶かしアルカリ液をつくり洗浄効率				

2017	7	16~17	<p>が上がる様に水温を上げる。本来アルカリ薬品は水温40℃以下で投入口より柄杓にて投入、その後蒸気を入れ水温を上げていくが今回薬品投入前に水温を上昇させ、粉末を槽内にそのまま入れようとして袋ごと落としてしまい、突沸し、前半身に薬液を浴びた。作業手順の省略行為、保護具の未着用により顔面、太ももを薬傷した。</p>	46	514	12	50~ 99
2017	7	19~20	<p>会社工場内センター2階にてコンテナに入った豆腐を台車に積み運ぼうとした際にコンテナが崩れバランスを崩し、被災者も前方へ転倒した。</p>	46	611	2	100 ~ 299
2017	7	22~23	<p>たこ焼き製造現場にて、生産終了後、タコ投入機の洗浄中、本来機械を止めて持ち手のあるタワシを使用して洗浄すべきところを、機械を止めずに持ち手のないタワシで洗浄していたため、機械の回転軸とバーの間に左手中指が挟まれ受傷。</p>	37	121	7	100 ~ 299
2017	7	9~10	<p>パレット積みされた補材が入荷したので、フォークリフトの爪幅をパレット幅に合わせる作業を実施していた所、腰に痛みが発生した。</p>	30	921	19	1000 ~ 9999
2017	7	4~5	<p>番重洗浄室成型室側入口前にて床が濡れていたため、足を滑らして転倒。その際に床面に手を衝く。</p>	50	417	2	100 ~ 299
2017	7	16~17	<p>工場にて、全てのつき棒を止める作業をしていた時、つき棒が止まる位置まで上がらないためトモエ本体をOFFにして手動でつき棒を上げ、ウスとつき棒の間に鉄の棒を入れてストッパーが止まる位置まで上げて止めようとした際、つき棒が下に降りて鉄棒がはね上がり顔にぶつかった。</p>	31	165	6	100 ~ 299
2017	7	9~10	<p>内番重洗浄室で洗浄作業をしているときに、床がタルタルしていたため、移動していたら誤って足を滑らせて転倒し、右手首を打撲した。</p>	27	417	2	500 ~ 999
			<p>当社工場内、冷凍室において材料を格納する作業を行っていた。</p>				

2017	7	16~17	材料を冷凍室に置き、冷凍室を出ようとしたところ、棚に置かれていた材料に気を取られていたためか、誤って着氷した床面で足を滑らせて後ろ向きに転倒。咄嗟に右手をコンクリート製の床面につき、右手首を負傷したもの。	50	417	2	50~ 99
2017	7	15~16	工場において、小袋液卵充填包装機による液卵の包装を行っていた際、液卵を充填したフィルムを個包装ごとにカットする構造部のカット刃の部分にフィルムが引っかかったため、これはずそうとしてカット刃の部分の下から右手を伸ばしてフィルムを引っ張ろうとしたときにカット刃が動いて右手示指と中指の末節を切断したものの。	20	169	7	100 ~ 299
2017	7	12~13	応援に行った調理室で、じゃがいもの皮むきをしていてコンボスタのドアを何度か開けたときに、蒸気が顔にあたり、目のまわりを火傷した。	44	715	11	500 ~ 999
2017	7	0~1	センターで仕分け作業時に商品を入れる番重を乗せる台車を片付けるために台車を収納スタンドに入れようとした。その際台車とスタンド補強部分に、右手中指先端を挟まれた。仕事終了後に病院で診察を受けた所打撲と診断された。	24	362	7	300 ~ 499
2017	7	11~12	3階生麺室の中華生麺の生産開始時に複合機から出てきた麺帯を熟成庫のハンガーコンベアに乗っていることを確認しようとして熟成庫に入ってずれている麺帯を直そうとした際にチェーンとスプロケット部に制服の左そでを巻き込まれて左手親指のつけ根部分を被災した。	43	165	7	100 ~ 299
2017	7	14~15	油揚工場の包装室において、天井の拭き掃除をしている時、乗っていた台（高さ80cm・縦60cm・横120cm）から足を踏みはずして、前方へ落下し、左足の踵を骨折した。	40	371	1	50~ 99
2017	7	10~11	2Fトイレ内で用を足した後、トイレ用スリッパを脱ぎ、体を屈めてスリッパを揃えた後、立ち上がる際にバランスを崩し転倒した。その際に手洗いの陶器製のシンクに右目をぶつけ負傷した。	54	391	3	300 ~ 499

2017	7	8~9	本社工場の、1階茹麺室中華そばラインにて、麺の切刃の交換作業をしている時、Aのスイッチを切った確認をせず、（Bの歯車が動いたまま）Cの切刃を持ってセットしてしまい、BとCの歯車に右手中指先を挟まれ、第一関節上裂傷骨折をしてしまった。本来ならAのスイッチを切って、歯車を停止を確認してから交換する手順だった。	23	165	7	50~ 99
2017	7	15~16	第3製造計量ラインにて、製品を、計量、充填中に空袋が機械の間に数枚落ちたため、作業員Aが一旦停止した。災害者が空袋を、取ろうとした時に作業員Aが周囲を確認せず、寸動状態で起動ボタンを押したため、機械が手前に下がりながら回転した。そのため、被災者が機械の下の部分と下がってきたフタに挟まれて、負傷した。	41	391	7	100 ~ 299
2017	7	22~23	勤務終了後、更衣室で職服から私服に着替える時に、脱ごうとしたスラックスからうまく足を取り出せず、バランスを崩して右手をついて、転んでしまった。その転んだ時の衝撃で右手首をひねってしまった。翌日、痛みが酷いので、検査したら骨折していた。	69	911	2	100 ~ 299
2017	7	13~14	庫前の廊下で材料を運搬するため台車を手で押して移動している時右足先が床に引っ掛かり、前方に転倒して右足親指を骨折した。	58	362	2	100 ~ 299
2017	7	9~10	作業室において、弁当の製造中、右足をひねり、バランスを崩して壁に倒れ掛かった際に右背中を強打した。	48	417	2	10~ 29
2017	7	10~11	工場内で食品加工作業中、ざるに入った食品（重量約15kg）を急に持ち上げたところ、腰に激痛がして動けなくなった。	61	611	19	100 ~ 299
2017	7	13~14	サプライ施設内の調理室にて、回転炒め機を操作中に、蓋を棚から取ろうとした際、蓋が2枚重ねになっているのに気がつかず、下に重ねてあった蓋がずれて左足の甲に落下し、負傷した。	54	379	4	—

2017	7	7~8	豆煮釜に蒸気を入れて、豆を煮ていた。沸騰してきたので蒸気バルブを閉じて釜に注水し、沸騰が止まったと思いふたを開けたところ、煮汁と豆が吹き出し、両足に火傷した。本来は防水前掛をしなければならなかったが、その時はしていなかった。	36	529	11	1~9
2017	7	13~14	工場内で、エアシリンダー式突き機での製品（トコロテン）を突き出す作業中、製品に右手を添えたままスイッチを押したため中指がシリンダーとカバーに挟まり、切断された。	57	165	7	10~29
2017	7	12~13	工場にて作業中、製品を包装する機械でフィルムの進みが悪かったため、手で進めていたところ、フィルムのカット機で左中指を挟み負傷した。	37	165	7	30~49
2017	7	7~8	工場一階の第二粉末充填室でスパイス充填機を調整中包材がカタ一部に詰まり、慌てて詰まった包材を取ろうとして手を入れたところ、回転していたカッターの刃で右手中指の先端を切った。	45	169	8	300~499
2017	7	11~12	被災者は、当社事務所入口前において商品説明を終えて立ち去ろうとした時、他の従業員が水を流しながら掃除をして濡れた路面に滑り、転倒した。その際、左足首を負傷した。	72	417	2	30~49
2017	7	9~10	就業している工場内において、パレットの移動中に、手を滑らせパレットが転倒した。その際、右足甲がパレットへ接触し、打撲した。	34	379	4	50~99
2017	7	5~6	食材のハムをカットする作業中、番重に入ったハム（15kg~20kg）を両手でかかえ、作業台の方に移動させた時、右手に痛みを感じ、労務に行き、湿布を貼ってそのまま最後まで作業を続けて帰宅したが、痛みがひどくなってきた。検査の結果、右親指下部（手のひら）の部位が骨折していると診断を受ける。本人に確認したところ、番重をかかえて移動させただけで、何かに手をぶついたりは一切なかったと回答している。	22	921	19	500~999
			被災者が昼休憩終了前にお手洗いから作業場の摘み取り現場へ歩いて移動していた際、作業場へ向かう途中の部屋に、桶へ水をいれる				50~



2017	7	12~13	ために床を這わせていたホースがあった。そのホースに足を引っ掛け、前方向へ躓き、両膝をコンクリート床にぶつけ負傷した。	67	417	2	99
2017	7	16~17	工場内で素麺の仕上げの機械（カッター）の上にある麺くずを手ぼうきで払おうとした際、同機械のスイッチを止めずに作業したため、カッターで右示指伸筋腱断裂をした。	52	169	8	1~9
2017	7	5~6	充填場にて、苛性ソーダ液の濃度調整を行うため、タンク内に苛性ソーダ液を入れ、薬液ポンプを使って流し込んでいた。ある程度流し終えたところで、残りの液を押し出すため、ホースを用いて水を流し込んだときに、水の勢いもあり苛性ソーダ液が飛び散り、一部が眼の中に入り負傷した。	38	514	12	50~99
2017	7	10~11	作業場に向かう階段を下りている時に右足をひねった。	57	413	2	30~49
2017	7	4~5	工場内で、早朝、置いてあったダンボールに躓き、転んで右ひざを打ち負傷した。	69	416	2	50~99
2017	7	10~11	会社の倉庫前広場でトラックを止め、部品を助手席側で探し、降りる際に足を滑らせ膝をついて骨折した。	62	221	1	10~29
2017	7	15~16	魚肉下処理室で漬け込み作業時に移動しようとした際に、足元の台車に気付かず台車に乗り、足をとられて転倒し、左手をついて負傷した。	61	362	2	500~999
2017	7	8~9	ベジタブルセンター加工場において野菜くずの入ったコンテナ（重さ15kg）をしゃがんで持ち上げようとした時に腰に激痛があった。痛みが続き、ぎっくり腰でしばらく安静が必要と診断された。	63	921	19	50~99
2017	7	11~12	ステーキ室にてステーキ原料肉の下処理作業時に、筋部分に包丁が引っかかり、無理に切断しようと力を入れたところ、包丁の先にあった左手の甲を切り受傷した。	39	364	8	10~29
			事務所内にて、本人使用の事務機の引き出しから2段目を引いて、				

2017	7	10～ 11	開けた後閉めてからその前を横切ったが、その際最下段の引き出しにつまずき転倒した。その際、右手の甲側から床に着いたため右手首を負傷した。	64	391	2	300 ～ 499
2017	7	9～ 10	包装カット室にて、前準備の為、使用器具の確認をしていたところ、保管されていた玉子焼カット機の刃が上を向いていた為、向きを反対にしようとした際、誤って刃の部分を掴んでしまい切ってしまった。	67	165	8	50～ 99
2017	7	9～ 10	大根を入れる段ボールを組み立て中、15cm程の高さのパレット台から右足を踏み外し、足をついた際に足首をひねってしまった。	70	371	19	1～9
2017	7	15～ 16	野菜作業場で清掃の水引作業をしている時、床が濡れていて少し斜めになっている為にバランスを崩し右足を捻りながら転倒した。その際右足脹脛を捻って痛めた為、病院へ行き手当を受けた。	60	417	2	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	馬鈴薯の別選作業場でスチールコンテナをセットしている際。足元が濡れていて足が滑り転びそうになったためスチールコンテナの小秤を右手位から落とし右足に落下した。事故の際安全靴を着用していなかった。	58	521	4	10～ 29
2017	7	11～ 12	ある施設の給食を作る厨房内のガス台の前。ガス台上の中華鍋を次の鍋をあたためるため、すぐ右横、食器棚下段へ移動させる時。中華鍋の取っ手をフキンを使い持ち、中腰からしゃがみこんで、うつそうとしている時に、中華鍋が手前にひっくり返って、中の熱に揚げ油が自分の右足（ふともも付け根から足裏）全体にかかった。	45	911	11	50～ 99
2017	7	8～9	病棟へ台車を取りに行くために、洗浄室のドアを開けようとした時、少し濡れていた床で足を滑らせてしまい、そのまま転倒し床に手をついた。	50	416	2	10～ 29
2017	7	11～ 12	焼立2F焼成Bライン出口のエアガン用の巻き付けタオルを交換し、焼立1Fへ向かおうと歩行している際に、滑って尻もちをつくような形で転倒した。	34	417	2	300 ～ 499

2017	7	21~ 22	工場内下処理加熱室にて蒸気釜を使用してブランチング（茹でる作業）後、中のザルを手前に持ち上げた時、付けていたエプロンの下端がめくれており、隠れるはずの長くつの上部からお湯が入り、右足の甲を火傷した。	48	529	11	50~ 99
2017	7	9~ 10	当社、作業場内において台車を持ち歩いて移動していたところ、つまずいて転倒し床面に左ひざ右ひじを強打し負傷した。	36	417	2	1~9
2017	7	10~ 11	場内釜室で回転釜に食材を投入する際に、よろけて右腕前腕部を高温な回転釜のふちに接触させたためやけどを負った。	38	169	11	30~ 49
2017	7	14~ 15	成型機清掃中に、キャピラースプロケット駆動チェーンに右上腕部を挟み込んだ。	29	121	7	10~ 29
2017	7	3~4	店舗盛込み室で、ベルトコンベアを折りたたみ、ベルト部分を緩ませて裏側に付着した汚れの拭き取り作業をしていたところ、折りたたみ方が中途半端だったため、拭き取りによりベルトを引っ張ったために完全な状態に折りたたまれてしまい、右手中指を挟んでしまったものである。	70	224	7	100 ~ 299
2017	7	9~ 10	業務用冷蔵庫の中で、製品を積載した台車を引いて移動させているときに、誤って台車を自分の左足後部にぶつけてしまい、左足が床面と台車の間に挟まれてしまい負傷した。	19	362	7	100 ~ 299
2017	7	5~6	製造現場に向かうため2階から1階へ下る階段で、床まで2段のところ段を踏み外して、床面に着地した際に左右両方の足を捻った。躓いたり、滑ったりした様子はなく、足元を確認せずに降りて、階段のない部分に足を踏み出してしまい、そのまま床面に倒れ込んだものである。	47	413	19	500 ~ 999
2017	7	23~ 24	充填豆腐帯掛け包装ラインにて検品作業中、突然耳が遠くなり、意識をなくし転倒した。従業員に介抱され意識はすぐに戻ったが、転倒した際に左手首を床につき骨折したと思われる。	55	921	2	50~ 99
			KL500ラインボトルチップ回収装置前で、フォークリフト担当者が				

2017	7	21~ 22	ボトルチップで満杯になった袋（フレコンバック）をリフトでパレットごと引き出そうとして、誤って袋を倒した。助けに呼ばれた被災者が袋を吊り上げるため、袋のベルトをリフトの爪に掛け、リフト担当者へ爪を上げるよう合図したが、挟まれそうになり、爪を止めるよう言ったが伝わらず、リフトの爪と回収装置架台の間に左上腕部を挟まれた。	24	222	7	100 ~ 299
2017	7	10~ 11	ライン周りで品質チェックをしていたところ、洗浄時の仕切りとして使用しているカーテンに足を引っ掛け、転倒した際に両手をついた。	58	416	2	500 ~ 999
2017	7	17~ 18	被災者は、ハンドリフトを使用して製品の運搬作業を行っていたが、中断して他の作業を行っているときに、ハンドリフトから製品を降ろし忘れてしまった。降ろし忘れに気付いた他の者が、検品作業を行おうとリフトを降下させたところ、被災者の足の上に置いてしまい、被災者は左足親指を負傷した。	18	362	7	50~ 99
2017	7	12~ 13	スパイスを製造するラインにて、ラベルをシュリンクする機械を調整する際、安全スイッチをOFFにして作業してしまい、誤って左手人差し指先端を約1cm挟んでしまった。	56	166	7	100 ~ 299
2017	7	16~ 17	工場内にて、砂糖をスティックシュガーに充填し生産するラインで、充填されたスティックシュガーを100本ずつビニール袋に入れる手動の可動式梱包装置を扱う作業において、梱包装置を使い梱包する作業で、ステンレスのパーツを下方向に可動させ、また元の位置に戻す動きの中で、右手首の内側が装置の一部に当たってしまう状態であったため、ベルトコンベアの一部にぶつけ打撲した。	53	169	3	50~ 99
2017	7	15~ 16	工場内2階作業場にて、ソースの小袋を外袋に入れるプレス機にて、外装がよれていたため、それを直そうとしたところ、動いたプレス機に右手親指を挟み負傷した。	48	169	7	100 ~ 299
							500

2017	7	15～ 16	計量室にて、水に濡れて滑りやすくなった床で、足を滑らせ転倒した。倒れる際に脇腹をゴミ箱に強く打ちつけ、肋骨が2本折れた。	64	417	2	～ 999
2017	7	14～ 15	おにぎり成型室において、成型機の組立作業中に、機械の上に置いた樹脂製の側面カバー（30cm×70cm×2.5cm、4kg程度）が滑り落ちてしまい、右足先にぶつかって負傷した。	55	165	4	100 ～ 299
2017	7	18～ 19	米飯蒸米工程で、焼豚詰まりトラブル発生時の復旧作業中、焼豚投入用傾斜スクリューCY投入口にて、スクリューが動いたまま手を入れて詰まりを除去したため、そのままスクリューに指を巻き込まれ被災した。	48	165	7	300 ～ 499
2017	7	16～ 17	工場内作業場にて掃除中、ニンジンの皮で滑り、転倒したときに左膝を捻ってしまい、左膝の皿を脱臼した。	63	416	2	30～ 49
2017	7	13～ 14	工場出入口にて、途中で止めてあるシャッターの下を通過する際、シャッター下部に頭部を打った。その後2週間程で頭痛などの不調が生じ、病院で検査を受けたところ、硬膜下血腫と診断され手術、入院となった。	64	418	3	1～9
2017	7	13～ 14	包装室において包装機のロール交換の準備中に、包装機横に積まれた交換用のロール（18kg）の芯の内側に貼られたロット番号を確認するためロールをひっくり返した際、下のロールとの間に指をはさみ負傷した。	25	611	7	50～ 99
2017	7	10～ 11	1階畜産原料庫にて、牛肉ミンチ材（27.2kg）を開梱して、専用カーゴ車に段積みしているとき、腰に無理な負荷が掛かってしまい、腰を捻り、背骨に痛みが発生した。	38	611	19	500 ～ 999
2017	7	12～ 13	デリカ作業場にてフライヤーを清掃する際、油切り用の部品を取り外そうとしたときに、添えた右手小指の腱を断裂した。	45	911	19	30～ 49
2017	7	10～ 11	冷凍庫から仕込の材料が入ったダンボール（10ケース）が載った台車を出すときに、後ろ向きで引っ張っていて転んだ。	62	417	2	100 ～ 299

2017	7	16~ 17	工場3階洗浄室エリアにて、計量分割機の部品を洗浄している際に、部品の一つである上コンベアドライブローラーが受け取り台より落下し、自分の右足に直撃した。	60	391	4	50~ 99
2017	7	4~5	加工室から休憩室に移動のため、水産生ゴミ室前を歩行時、若干濡れていた床でサンダルが滑り、通路の右側に置いてあったクレートに寄り掛かろうとしておでこを打ち、後方に転倒し、床に左胸を打って負傷した。	54	417	2	500 ~ 999
2017	7	8~9	調理室（検収室）で、大根の保存食をとる作業中、左手に包丁（本人の利き手は右手）、右手に大根を持ち、3段エレクターシェルフの中段に置いたざるの上で切ろうとしたところ、右手人差し指の第1関節と第2関節の間の親指側の側面をめくるように切った。	50	364	8	1~9
2017	7	13~ 14	揚げもちの生地を切断する機械で、生地を切断加工中、機械の自動ラインの刃に誤って手を触れ、負傷した。	32	165	8	1~9
2017	7	10~ 11	第2工場にて、カップの蓋をシールする機械（クリンカー）にカップが引っ掛かり、機械を停止して直そうとしたとき、センサーによって停止していた機械が動き出し、指を切ってしまった。	43	169	8	100 ~ 299
2017	7	17~ 18	本社工場粉体棟の篩過室にて、フロービンの蓋を外し、踏み台を後ろ向きに降りたとき、バランスを崩しそうになったため、床に下ろした左足に体重をかけ踏ん張ったが捻って、左足ふくらはぎの肉離れを起こした。	44	371	19	100 ~ 299
2017	7	10~ 11	当社工場内において、オガを送るチェーンコンベアをしゃがんでチェックしていたとき、誤ってバランスを崩し、左手を出したところ、チェーンコンベアに挟まれ、左手中指先端を負傷した。	49	121	7	30~ 49
2017	7	15~ 16	当社工場たこ焼きラインにおいて、生産終了後の清掃作業を行っていた。たこ焼き用のフライパン（縦30cm、横70cm、鉄板15kg）を洗浄のため、当社研修生と2人で持ち上げたときに、研修生はしっかり支持していたが、被災者が手を滑らせ、鉄板を自らの左足甲の上に落とし負傷した。	61	391	4	50~ 99

2017	7	18~ 19	当社工場の排水処理施設において、処理水のPH調整作業を行っていた。苛性ソーダ溶液を調合する工程で、溶解用の攪拌タンクへ300L水を溜め、顆粒状の苛性ソーダ25kgを袋より投入したとき、はずみでタンクから苛性ソーダ水溶液（濃度約14%）がはね、左目に入った。通常は保護メガネをしているが、当時は着用していなかった。被災当日は、水で洗浄し様子をみていたが、翌日に目が開かなくなった。	65	514	12	50~ 99
2017	7	11~ 12	調味料室にて、調味料を出す作業をしているとき、15kg入りの味噌が入った容器を台車にのせる作業中、自分の顔の高さまで15kgの味噌を持ち上げた。その際、背中に痛みがあったので体を伸ばしたとき、左脇腹に強い痛みがはしった。	45	921	19	30~ 49
2017	7	9~ 10	学校給食センター調理室において、包丁でジャガイモの芽取りをしていたとき、左親指の先を深く切った。自力歩行で手洗室へ行き、椅子に座って止血等の応急処置を受けている最中に一瞬意識を失い、1分程度の硬直性痙攣症状となったため、救急車を呼び医療機関へ救急搬送された。	49	364	8	10~ 29
2017	7	13~ 14	会社工場作業所で、小腸切開洗浄機から出てくる牛の小腸を水で洗い、その小腸を袋詰めする作業をしようとしていたとき、機械に小腸が詰まり動かなかった。電源を止め、刃物に気づかずに詰まり物を取り除こうとし、誤って刃物が右手親指の下に当たり、切傷した。	45	165	8	10~ 29
2017	7	10~ 11	本部工場ティーバッグ製造部において、お茶のティーバッグ製造作業中、原料のお茶の重さを調整するため、計量升のつまみを動かしていたときに、すり切り可動部に右手薬指を挟み込み、指先から15mmの部分を切ってしまった。	57	165	7	30~ 49
			原料プラントの空ラック置き場へ空のラックを置きに行ったときに、元々並んでいた空ラックのうち1台が列からはみ出して並んで				100

2017	7	14～ 15	いた。このため、自分が持って来たラックを排水溝に向かって、傾斜があり床が不安定な場所に置いて、はみ出したラックを直そうとしたところ、自分が持って来たラックが倒れ、左足首に当たり負傷した。	40	391	5	～ 299
2017	7	9～ 10	調理場内の配膳室で、コンテナ保管庫のコンテナを拭く作業中に、コンテナ保管庫入口の安全レバーを解除する際、レバーが動かず、カー杯レバーを引っぱったところ、レバー奥側に置いていた左手に、レバーと連動して動く箇所が接触し、左手中指が切れた（傷口長さ3～4cm）。	47	391	8	50～ 99
2017	7	14～ 15	2階作業場の床から1階までの階段をモップ掛け掃除中、下から3段目辺りで足を踏み外し、転倒した。その際、手すりに掴ろうとして、壁に右手小指をぶつけた。様子をみていたが、痛みがあったため病院へ行ったところ、骨折と診断された。	54	413	2	30～ 49
2017	7	11～ 12	水産加工食品製造作業場内で、魚の尾切機で作業終了後、機械の上で右手を乗せた状況でよそ見をしていたときに、作業が終了したにもかかわらず、電源をOFFにしていない状態だったので、手元が滑り、右手人差し指が機械の刃の部分に入り、切断（約7～10mm）する災害が発生した。	37	165	8	30～ 49
2017	7	14～ 15	当社包装工場において、10分休憩のときに喫煙するため、2階の作業場から包装工場出入口横の喫煙指定場所に向かい、2階から1階へ階段を降りていたところ、誤って右足を踏み外しそうになり、咄嗟に6段下の踊り場まで飛び降り、バランスを崩しながら着地し、右足首を捻り受傷した。	52	413	1	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	選果場内1次選別台の稼働調整を行っている際、腐敗コンベア付近で異音がしたため、確認に行ったところ、腐敗コンベアとプーリー間に誤って右手を添えてしまい、挟まり負傷した。	41	224	7	30～ 49
			工場の炊飯室において、冷却後の舍利の積み替え作業のとき、6段目の舍利バツカンを積み上げた際、踏ん張った左足に違和感があっ				300



2017	7	8～9	た。作業を続けるが痛みが増したため受診したところ、骨折と診断された。	46	611	19	～ 499
2017	7	16～ 17	厨房の作業台で、調理に使用したハンドミキサーを洗浄しようとして刃を外すときに、手袋をはめたままで作業をした際、手にミキサーにかけた食品が付いており、ハンドミキサーを持っていた手が滑り、その時にハンドミキサーのスイッチに手が触れ、カッターが回り、右手人差し指に触れ切創した（10針縫合）。	66	165	8	1～9
2017	7	17～ 18	会社内配送センター1階豆腐包装室および冷蔵庫内にて、商品の入ったコンテナが乗っていた台車のコンテナを空台車に移す作業の途中に、台車が動いて足に引っ掛かり、前に転倒した際に手首を捻った。	51	362	2	100 ～ 299
2017	7	17～ 18	作業が終了し、帰宅するため工場玄関を出たとき、作業者が手で押して運搬していた荷物を積んだカゴ車と接触し、地面に腰から落ち、頭を打った。	62	362	6	100 ～ 299
2017	7	12～ 13	敷地内において、帰宅時に階段を降りていたところ、足を踏み外し、左足を捻挫し、剥離骨折した。	51	413	19	500 ～ 999
2017	7	9～ 10	原料切り込み場において清掃中、足を滑らせ転倒した。その際、右手を地面に打ちつけて骨折した。	46	416	2	10～ 29
2017	7	8～9	工場内において作業前準備中、誤って足が滑り、左足ふくらはぎ部分を痛めた。	27	418	2	30～ 49
2017	7	5～6	出来上がった麺を並べる作業中に、包装機に挟まった麺を取ろうとして、スイッチを切らずにそこへ手を入れてしまったため、機械に挟まれて手を負傷した。	63	165	7	1～9
2017	7	16～ 17	工場内において、被災者が使用済みのアルコールボトル（小型・軽量、霧吹きスプレーサイズ）を洗浄しようと、洗浄室内に入ろうとした際に、踏み出した左足を床で滑らせ、バランスを崩して後方へ	62	416	2	30～ 49

			転倒し、左手と腰を強打して負傷した。				
2017	7	11～ 12	学校給食センター内洗浄室の8号機後方にて、壁面の扇風機を清掃するため、ラ作業しようとラック台に登ったときに、ラック台が後方に転倒した。地面に手を強くき、右肘部分を骨折した。	43	371	1	30～ 49
2017	7	17～ 18	運動後、別室へ移動していた際、躓いて転倒した。その際に左側から転倒し、肩を強打して動けなくなり、救急車で搬送された。	45	417	2	50～ 99
2017	7	6～7	3tトラックの荷台で、箱の入ったカーゴを降ろす作業をしていた。本来は、下降リフトがトラックの荷台の位置に到達したことを確認して降ろす作業をすべきところ、確認せずに後ろ向きで後方にあるカーゴを前方に移動していた。その際、荷台から下降しているリフトに落下した。（高低差97cm）	66	221	1	30～ 49
2017	7	10～ 11	食器の洗浄をしているとき、使用後の食器をつけるための水が入った大きなトレーを持って水を流そうとした際、急に腰が痛くなった。	38	611	19	10～ 29
2017	7	12～ 13	工場内にて、搬入車両（平ボディ車）の荷台の上で、カートを降ろしやすい位置に移動する作業中、誤って足を踏み外して転落し、左肘を負傷した。	18	221	1	1～9
2017	7	14～ 15	焼きそばのミキサー作業において、ミキサーの清掃作業を行っていたとき、生地が奥に残っていたため、蓋を閉めて寸動ボタンを押した。その後、そのまま蓋を開けたところ、機械は止まったが惰性で回っているピンとミキサー壁面に入れた右手を挟まれた。	41	165	7	100 ～ 299
2017	7	8～9	本社工場1階において、完成した弁当8個を入れたコンテナを手で持って運んでいたところ、盛付作業を行っている者の後ろを通りかかった瞬間、その者が振り向いたためぶつかり、仰向けに倒れ、床で腰を強打し、第1腰椎を骨折した。	58	911	6	100 ～ 299
2017	7	7～8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	391	3	100 ～

									299
2017	7	10～ 11	コンテナ箱に入った10～20kg位の人参材料を荷台車に積み込み中、1m70cm位の高さに上げたとき、左肩がビリッと痛くなった。その後、塗り薬を塗って様子を見たが、挙上できなくなった。	58	921	19	1～9		
2017	7	21～ 22	デリカセンター盛付成形室で、空のシャリボックスを積んだ六輪カート2台を引いて移動していたとき、商品の入ったコンテナ（高さ50cm程）に左足がぶつかり、体を捻って倒れ、右の臀部を床に打ちつけた。	52	362	2	～	100	299
2017	7	1～2	スライサーを洗浄するため、ステンレス製の部品（重さ4kg）を外して洗浄後、元に戻すときに手が滑り、その部品が左足に落下し、親指を負傷した。	35	379	4	～	100	299
2017	7	20～ 21	炭火焼成担当の被災者は、夜勤のため出勤し、炭火焼成のため炭火焼成室へ運搬後、隣接するPC冷蔵庫へ焼成する肉を取りに歩いて移動していた。PC冷蔵庫前で左折しようとしたところ、左足を滑らせ、仰向けに転倒し、後頭部と腰を床面で打ち負傷した。被災場所の床面は、日勤作業後のサニテーションが十分に出来ていなかったため、滑り易い状態となっていた。	65	418	2	～	500	999
2017	7	19～ 20	事業所において、洗浄機を洗った後、床を洗い流すために洗浄機の蓋が置いてある台を動かした際に、蓋の差込口に右手指が当たって切創した。差込口は薄くて鋭利であるため、当たるとすぐに切れるようになっていた。	57	391	8	10～ 29		
2017	7	6～7	事業所において、ゴミ捨てるためにゴミ袋を持って外階段を降りているときに、下から7段目位から滑り落ち、その際に手をつき、左暁骨遠位端骨折を負った。	52	413	1	1～9		
2017	7	1～2	当社2F製造フライヤー室内において、フライヤーの取り出し作業をしていたところ、室温40度、湿度80度の中での作業が続いたためか、次第に疲労とともに体調が悪化し、頭痛、めまい、倦怠感等の症状が現れた。そのため、立ち仕事が困難となり早退した。	79	715	11	～	500	999

2017	7	14~ 15	同僚2人と共に、山林の標高約800m地点にある飲料水取水タンクの清掃作業後、山林内に敷設の水道パイプに沿って点検作業をしながら斜面を下山中に、標高約400m地点付近で谷へ滑落した。付近は岩場と急斜面が多く、パイプ敷設ルートは山道や作業道ではないため、安全な歩行には適さない所が多い。本人は数度このルートの踏破経験があるが、注意を要する中で起きた滑落事故であり、骨折・打撲等の重傷を負った。	28	711	1	10~ 29
2017	7	10~ 11	現場事務所にて、負傷者は、同僚から人事異動に伴う職務引継ぎについて、注意を受けていた。注意内容は、終えていない仕事について、期日を設けて終わらせることと、その対処についてであった。この注意は日常再々受けており、当日は感情を抑えて聞くことができなくなり、その場を早く立ち去りたいとの思いが強く、立っていた出入口付近から事務所を出ようと勢いよく振り返った際、左肘が窓ガラスに当たって破損させ、怪我をした。	47	414	3	30~ 49
2017	7	17~ 18	惣菜工場にて、しゃり攪拌機の洗浄作業のため、内部に手を入れたとき、止めたつもりスイッチが切れていなかったため、右腕が巻きこまれ、攪拌する棒が右手の平と甲に刺さって負傷した。	60	165	7	50~ 99
2017	7	11~ 12	当社工場内の1号包装機で、清掃後に包装機を作動させたとき、もやし詰まり、もやしを袋詰めするシーラー機械のフィルムが詰まり、包装機が停止した。被災者がフィルムの詰まりを直すため、フィルムヒーター部、圧縮スポンジ部順の箇所、圧縮スポンジ部の下から詰まりを直そうと右手を入れたとき、包装機が動きだし、右手親指をヒーター部に挟まれ、フィルムを切断するカッターで右手親指を負傷した。	54	169	7	50~ 99
2017	7	10~ 11	梨荷受場所で、作業開始により定位置に移動中、フォークリフト1.5t（荷重）と接触し、右足を踏まれて骨折した。	35	222	6	50~ 99
2017	7	12~	現場にて、タンク洗浄時に、タンク内湯温95℃のお湯にアルカリ性洗剤（薬品）を一度に投入した。その際、お湯が突沸し、身体前	38	519	12	500 ~

		13	面に火傷を負った。					999
2017	7	3~4	受傷当日、明け方に出勤し（夜間勤務）、作業服に着替えて就業場所に向う途中、腕力バーを取ってくることを忘れ、引き返す途中、2階から1階の職場に向う廊下の曲り角で、床面が濡れた箇所で滑って転倒し、骨折した。	57	417	2		300 ~ 499
2017	7	13~ 14	会社敷地内の工場裏にて、間知ブロック（縦30cm×横60cm）の積み下ろし作業をしていた。5tトラック車に積載されてブロックを、ユニック車のクレーンをリモコン操作し、ワイヤーフックで吊り上げ、重油タンクの側の地面に積み下ろした。その際、地上から2cm程吊り上げた状態のブロックから数秒目を離してしまい、リモコン操作を誤ったため、自分の左足へブロックが落下し被災した。	50	212	4	1~9	
2017	7	9~ 10	事業所（蔵）の駐車場にて、車から荷物（醤油やみその製品、15kg程度）を降ろすとき、腰に痛みがあり動けなくなった。	33	611	19	1~9	
2017	7	9~ 10	加工場において、パレットに商品をおろす作業をしていたとき、パレットの横に台車（キャスター付き）があり、台車があることを知らず台車に乗ってしまい、バランスを崩して転倒した。その後、左手が腫れていたことから病院へ行き、左手にひびが入っていると診断された。	63	362	1	10~ 29	
2017	9	10~ 11	廊下にて、食器の入ったコンテナを運搬中、バランスを崩しコンテナと壁の間に小指をはさみ受傷した。	43	362	7		500 ~ 999
2017	9	11~ 12	食品の詰め作業の際、容器を置くために床に敷いてあったダンボールにつまずいて転倒。右ひざをひねったか、床についたかして骨折した。	55	416	2		10~ 29
2017	9	10~	倉庫の前で、フォークリフトで芋の入った鉄のコンテナをダンプの荷台に移す作業中、鉄のコンテナのロックを外すため、被災者が荷	53	221	1	1~9	

		11	台の足場に登り、ロックを外し、降りる際に体勢を崩して落下し、左の大腿骨を骨折する。				
2017	9	8～9	給食室内において、野菜の下処理作業中にペティナイフで玉葱の皮むきをしていたところ、誤って包丁が滑り左手のひらに刺さった。	28	364	8	30～ 49
2017	9	15～ 16	調味粉（プレミックス）を使うための準備として、袋を結束していた結束バンド（幅5mm厚さ1mmくらい）を右手で押さえて、左手ではさみを持ち切ろうとしたところ、切れにくく、力を入れて切ったところ、結束バンドが切れた拍子にそのままそのはさみで、抑えていた右手親指の末節部（先端指紋側）を約1cm×1.5cmの範囲で、はさみで削ぎ裂傷となりました。（本人は左利き）	25	364	8	50～ 99
2017	9	11～ 12	食堂ホール内にて、会議用テーブルを運んでいたところ、転倒し機が落下し、股関節付近を強打した。	56	417	2	10～ 29
2017	9	14～ 15	就業中、調理室にて洗浄作業の際トレーを持って歩いている時、計りの前床に置いてあった残飯の入った袋に気付かずよけようと足を捻ってしまい、左足小指の付け根中足骨を痛めた。	44	417	2	1～9
2017	9	7～8	食堂で味噌汁をトレーに載せて配膳中、車椅子の利用者が配膳しているすぐ近くに着席した為、利用者を避けようとした所、バランスを崩し転倒した。	64	417	2	1～9
2017	9	11～ 12	熱処理室ジェットオーブンでトーストパンを焼く作業を手伝っているとき、コンベアから焼きあがったパンを作業台におこうとして、布を何枚も重ねたつかみを使って網をつかむときに指が触れてしまった。大したことはないと思い、冷やさずそのまま作業を続けてしまった。その日は通常通り働き、公休日で3日間休み、日曜日に出勤。絆創膏を貼りかえる際に血が出てきたが、出血があるため現場作業はひかえてほしいということで早退した。左第二指に5mm程度の熱傷と診断された。	60	391	11	300 ～ 499
2017	9	11～ 12	業務用フードスライダーの刃を清掃するため分解作業中、力を入れた際すべて刃物に接触したため、左手小指が切傷となった。	21	165	8	30～ 49

2017	9	13～ 14	樹脂板洗浄室において、ラックを殺菌庫に入れる作業中に足を滑らせ転倒した。体を支えようと右肩に負担がかかり受傷、又、転倒の際に床のレフレ部分に右肋骨を打ち受傷した。ラックを両手で押しながら掴んでいたが、手も滑り転倒を防げなかった。	64	417	2	50～ 99
2017	9	5～6	朝の作業中、利用者用のお茶を沸かしていて、それを移動させようと持ち上げた際に誤って足にお湯をこぼしてしまった。	61	379	11	1～9
2017	9	8～9	配膳先にて、配送車へコンテナ回収している時、トラックのテールゲートとコンテナの間にはさまれ腰を打った。腰に痛みが出た。	66	611	7	30～ 49
2017	9	14～ 15	T-3ライン盛付室において、具材具出し業務に従事していた。具材を加工している調理室から盛り付け室に具材を運搬している際に、具材のラックがバランスを崩し、このラックが転倒した際に床とラックの間に左足つま先部分が挟まり、左足を受傷した。	46	362	5	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	揚玉が入ったドラム缶をリフターに載せ上昇させたところ、ドラム缶に袋を被せたままであることに気付き、急遽下降させた。完全に停止する前に袋を取ろうとしたため体勢を崩してしまい、ドラム缶とローラーの間に左足を挟まれた。	30	169	7	30～ 49
2017	9	4～5	当社、デザートトッピング室で作業中にロール巻き作業への移動中に、ナッペマシンコードの段差に足を引っかけて、すべり転倒した。	46	417	2	500 ～ 999
2017	9	14～ 15	調理場内、洗浄室にて食器、食缶等の洗浄作業中、洗浄機に食器が挟まり改善作業中に洗浄機のお湯がかかってしまい、火傷をしてしまった。	35	169	11	30～ 49
2017	9	6～7	出入口シートシャッターで工場内から外へ出るとき、シートシャッターが閉まりウエイトバーに頭部をぶつけた。洗浄したクレーを積む台車が不足していたので、2名で外側から台車搬入作業を行っていた。その際、通常のシャッター開閉ではシャッターが閉まることはないが、連続作業していた為、シャッターの開きが悪く被災	54	418	6	100 ～

			者が、非常用スイッチを使用した。しかし、非常用スイッチは時間制の為シャッターが閉まってしまう。その時、被災者が出口に入った為ぶつけてしまった。安全装置が働きすぐシャッターは開いたが、頭部をぶつけてしまった。事故後、安全装置の確認（正常であった）非常用スイッチの使用について指導をした。					299
2017	9	14～ 15	第一工場内コンベアーベルト清掃時、稼動しながら清掃中、最後にある粉碎機に右手を誤って挟み込み中指を受傷した。翌朝、朝礼時に注意事項で清掃時はベルト稼動しないことを指導してるが、今回注意義務違反によるもの、粉碎機には安全カバーがあり、カバーを上げずに清掃したことが原因と考える。	68	224	7		50～ 99
2017	9	4～5	清掃作業中、足元に伸びていたホースに気付かず、ホースに足を引っ掛けて転倒し、左膝を強打し負傷した。	54	417	2		100 ～ 299
2017	9	7～8	ルート販売営業の為、毎朝品揃えをし、荷を積み出発します。事故当日の朝も同じ様に作業をしていた。カゴ台車に積んであった商品（餃子の皮等）を搬出口より出したところ、出口部分がスロープになっている為、カゴ台車がバランスを崩し傾斜側に転倒した。傾側でカゴ台車を引っ張っていたため、そのまま下敷きになり身動きが出来なくなった。それを製造員が発見し、他の人も呼び3名でカゴ台車を起こし救出した。	47	379	6		30～ 49
2017	9	22～ 23	炒め室の器具洗浄室内で、洗浄機（ウインターハルター）のドアを開けた状態で、屈んだまま台車を動かそうとした。機械のドアを開けたままにしていることを忘れ、屈んだ状態で前後左右の確認をしないままで台車を動かそうとしたためドアの角に右前頭部をぶつけ約3cm幅の裂傷を負った。	22	521	3		300 ～ 499
2017	9	7～8	小学校の給食室で小松菜を切っていたところ、他のシンクに溜めていた水が一杯になり、水を止めるために急いでシンクに移動した際、濡れた床で滑って右足が前方に流れたために左膝を強く床に	56	416	2		10～ 29



			打ってしまい、左膝の皿が割れてしまったものである。				
2017	9	14～ 15	工場内包装場の縦ピロ5号機の階段上部横に設置されているエージレス（乾燥剤）投入機にエージレスを補充している時、バランスを崩し投入機との間に頭から床に転落、脳挫傷を負ったものである。	50	416	1	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	食品工場1F包装室小麦がセットライン製品搬送ラインで、不良品を発見し梯子（5段）を上り、ステージ上で動いているコンベアから製品（15kg）を、持ち上げた時に、左足に負荷がかかり左ひざを負傷した。	61	611	19	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	給食室にて人参を切菜中、包丁がすべってしまい左手薬指先をえぐるように切ってしまった。	34	364	8	300 ～ 499
2017	9	0～1	商品を検査する際に、台車を足もとに準備し、別の仕事を終え、戻ろうとした際に準備していた台車を踏んでしまい転倒、右足膝を打ち皿を骨折した。	57	362	2	300 ～ 499
2017	9	14～ 15	開梱室入口付近で直進中に、正面から運ばれてきた番重に軽く衝突し、その場で立ち止まったところ、右側に置いてあったパレットに別の作業者がぶつかり、パレットが倒れてきて右足を打撲した。	55	379	5	500 ～ 999
2017	9	11～ 12	被災者は、ホッパーと粉コン位置を調整するために、ホッパー下部フレキを持ち、左右に揺らしながらホッパー下降させている際に、シリンダーからホッパーが脱落し被災者頭部に激突した。	48	391	4	1000 ～ 9999
2017	9	8～9	工場内更衣室で始業準備中、右足を誤って捻ってしまい負傷した。	57	921	19	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	現場作業中、包丁で食品を切っていた際、包丁がすべり指先（左手小指先）を切ってしまった。（指先切断）	34	364	8	50～ 99
			別の従業員が揚げ物室フライヤーにて廃油を一斗缶に取り出している時に、付近で別作業を被災者が行っていた。その際に足を滑ら				

2017	9	11～ 12	せ、廃油取り出しのために開いていた通路のグレーチングに足が落ち、臀部から転倒し、尾てい骨を骨折（ひび）した。また転倒したはずみで廃油の入った一斗缶を蹴ってしまい、廃油注ぎ口から溢れた高温の廃油が右足ふくらはぎにかかり、火傷をした。	30	419	1	30～ 49
2017	9	9～ 10	裁断機でサラダの野菜を切り終えた後に次の野菜を切るため、野菜くずをきれいにしようと、裁断機を動かしながらでないとレールの上の野菜くずがきれいにならないため、動かしながら水をかけてきれいにしていく。しかし、大きな野菜くずが裁断機のすき間に入っていたので、水では取れなく、誤って手を入れてしまい、左手の人差し指を切創した。	38	165	8	1～9
2017	9	12～ 13	厚揚げを包装中、左足が台車に接触して転倒し、頭部を机にぶつけ、また肋骨に商品を入れたカゴがぶつかった。	68	362	2	30～ 49
2017	9	9～ 10	小学校給食調理室内シンク傍の作業台で、キャベツを包丁で裁断中に自身の手を持っていた包丁が滑り、キャベツを押さえていた左手親指第一節先端部を切った。	38	364	8	30～ 49
2017	9	17～ 18	事業場内にて鳥五目の具材の仕込み作業に従事中、汁の入った容器を台車に乗せて移動したところ、床下排水口の蓋が清掃のため開いていたことに気付かず、排水口に落下して転倒し左腰を打ち、肋骨を骨折したものである。	57	416	2	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	会社惣菜室にて、フードスライサーの洗浄作業後、フードスライサーの接続してあった注水ホースを抜こうとしてホースを左手で引っ張り、勢いあまって停止している刃に左手が当たり負傷した。 (刃部を洗浄したため、フードスライサーの刃物ボックスが開放したままとなっていた)	23	165	8	50～ 99
		12～	サラダ室において、ミキサーを使用し、野菜などを混合する作業（ミキシング）がある、番重（コンテナ）を含め、約12kgの具材を胸の高さまで上げ、数種類をミキサーに入れ、混合後は、具材を番重に分けて入れていき（番重含め約17kg）、積み上げていく作				100

2017	9	13	業で、9月に入ってから週2回が週5回に増えた。重量特物を持つため、今年4月頃より腕に痛みがあり、ミキシングの作業をする回数が増えたことで悪化、9月下旬には両腕に痛みがあり、指先に力を入れて物を持つことができなくなった。	56	611	19	～ 299
2017	9	18～ 19	店内にて、惣菜厨房入口で、片付け作業中に床が油や水分で濡れていた為、足を滑らせ転倒した際に、右手を壁に押し付けて右手甲を受傷した。	61	417	2	10～ 29
2017	9	15～ 16	事務所冷凍庫内での出庫作業中、10kgの荷物を持ち上げた時、腰に痛みを感じ、違和感が出た。	48	921	19	30～ 49
2017	9	10～ 11	当社培養センターの空ビン置場で、フォークリフトで空ビンの運搬作業中に、バックする際鋼鉄製の柱に、後方確認を怠ったためフォークリフトのカバーより、投げ出していた右足をぶつけて、スピードが出ていたため、かなりの強さで圧迫した。	22	222	6	10～ 29
2017	9	11～ 12	味噌詰めした製品（1.1kg/本）が入った段ボール（7.3kg/ケース）を運ぶ作業中に、腰に痛みが発生した。	46	921	19	300 ～ 499
2017	9	9～ 10	当社工場内にて、乾麺製造作業中、原料の入れ替えの為、製麺用攪拌機の清掃をしている際、内部の枠と回転器具との間に手を挟んでしまい負傷した。	61	165	7	1～9
2017	9	15～ 16	事業所工場内にて、製麺包装機を操作中、包装フィルムが詰まった為、機械の電源を切らず、フィルムを取り除こうとした時、誤って包装機のフィルムカット部分に左手人差し指あたりを挟まれ負傷したものである。	71	169	7	10～ 29
2017	9	16～ 17	当社工場内において、千切り機で牛蒡をカットする作業中に誤って左人差し指が機械の刃に触れてしまい負傷した。	27	165	8	10～ 29
2017	9	11～ 12	工場内で生葉の受け入れ作業を行うため移動している時に転倒し、右の額を打撲した。	75	417	2	10～ 29

2017	9	12~ 13	生葉業集荷場でトラックの荷台にて生葉積み込み作業中に、移動式のコンベアから茶葉を左右に振り分けながら降ろしていたところ、後方の安全確認が足らず、コンベアと天井部分の鉄骨の間に側頭部が挟まれ、圧迫された状態で動けなくなり、レスキュー隊により救助されたが、両耳に挫創を負った。	60	224	7	10~ 29
2017	9	8~9	横ピロー機（煎餅を包装する機械）へ包装前準備で、包装フィルムを送り出そうとして稼働中の機械内部へ手を入れて、フィルム裁断部に右手の指先を挟まれた。	63	169	7	10~ 29
2017	9	9~ 10	空調機械室の前で、壁に掛けてある台車を引っぱる棒を取ろうとしたところ、空調機械室の扉が開いて、扉のノブが腰に当たった。	56	418	6	300 ~ 499
2017	9	7~8	右の製麺機において?の部分がローラーになっており不注意で左手が挟まり、左手を取ろうとして右手も挟まった状況である。	64	165	7	1~9
2017	9	12~ 13	派遣社員がホルモン包装室にて、洗浄したホルモンを入れる為の空箱を台車に移動させる際に、誤って足下にある台車に左足を乗せてしまい転倒、肋骨に骨折を負った。	58	362	2	300 ~ 499
2017	9	16~ 17	当社工場内において、別の作業者が製品を段ボールに箱詰め作業をするその補助にあたっている時に、製函機の内部から空気漏れの音がしたために、原因を調べようと緊急停止ボタンを押さず機械が休止している時に手を入れたところ動きだし、駆動部分の歯車とチェーンに小指が巻き込まれ負傷した。	28	169	7	100 ~ 299
2017	9	7~8	被災者が夜勤業務を終えた後、工場内で休息していた、期間中に実施していた定期健康診断を受診するため、1F廊下を食堂から会議室へ移動していたところ、男子トイレから出てきた従業員と衝突し、尻餅をつくような形で転倒した際、腰部を痛めた。	57	921	2	500 ~ 999
			工場作業中製品袋詰めを自動包装機①操縦者担当②印字袋等の管理担当の2名で作業、印字確認の際、キカイ内に腕を入れる為必ずキカイは停止、キカイ内は袋を取りあげるアームが円板状8セットあ				

2017	9	13～ 14	り回転、この確認中①が動かしてしまい②の腕にアームが回転しながら腕を引っ張るようあたり損傷。翌日腕に違和感を感じ病院にて受診、様子をみながら仕事をきていたが、その後痛みが増し検査の結果、腕を動かさないようギプスで固定となり、仕事を休業となる。	59	165	7	10～ 29
2017	9	11～ 12	冷蔵庫内でピッチング作業をしている時に、在庫品から製品をパレットに積み付ける作業を続けていると、腰を痛めて作業ができなくなった。	48	611	19	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	加工場で、包丁ケースから包丁を取り出そうとした時、落としそうになった包丁をつかんでしまい、右手薬指、中指を切創した。	32	911	8	500 ～ 999
2017	9	16～ 17	おにぎり成型機の稼働中、詰まりが発生したため、咄嗟に手を入れてしまい、動いている機械に指を挟んで負傷した。	20	165	7	300 ～ 499
2017	9	18～ 19	勤務終了後駐車場にある車まで行く時、駐車場内の車止めブロックに足を引っ掛け転倒した、その際、右膝を強打した。	61	417	2	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	海苔の手詰作業において一緒に封入するための石灰がなくなったため、新しい石灰ケースを開封しようと、箱の片方を持ち上げテープを外す際に腰の痛みが発生した。	49	611	19	10～ 29
2017	9	10～ 11	製麺工場内、製麺ラインの製麺作業中にプロペラのついた機械を作動させたまま作業を行った為（練りあがった、そばろ状の物を掻き集める）右手中指・薬指を負傷した。	49	165	8	10～ 29
2017	9	10～ 11	厨房でつまずいてしまい転倒、恥骨骨折、全治1ヶ月程度である。	70	417	2	30～ 49
2017	9	8～9	工場内で、こんにやくを裁断する機械の清掃を行っていた際、エアを切り忘れた状態でセンサーに水をかけてしまったため、機械が動	30	165	8	10～ 29

			き出してしまい、右手薬指を挟んだものである。				
2017	9	13～ 14	洗浄室で洗浄機のスイッチを入れようと歩いていたところ、床のグレーチングの穴に長ぐつのがひっかかって前のめりにこけた、その際、右手を床につき胸を打った、顎はグレーチングで裂傷を負った。	57	418	2	50～ 99
2017	9	9～ 10	柿の選果場で柿を箱詰め作業中、通路をフォークリフトが通過した際、自身の左足がフォークリフトの左後輪に踏まれ受傷した。	47	222	7	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	たまねぎを切る作業を行っていたところ、たまねぎの端の部分を切ろうとした時、包丁の刃がたまねぎの形に添ってすべり、左手中指の爪の一部をそぎ落とした。	34	364	8	1000 ～ 9999
2017	9	11～ 12	当社調理場にて、老健施設昼食準備中にスライサーにて、野菜エンギリを切っていたところが手元がくるい、刃に当たり負傷したものである。	26	169	8	10～ 29
2017	9	7～8	加工場内で野菜を入れるコンテナ（約1kg）が高く積まれた台車を前に押そうとした際に、積まれていたコンテナが頭に落下し、右頭頂部挫創、頸椎捻挫の負傷した。	55	611	4	50～ 99
2017	9	8～9	充填に使用する一斗缶（油）を台車に載せ、充填タンクまで運搬しようとして台車を方向転換した際、一斗缶が台車から滑り落ちそうになった為、とっさに右手で支えようと缶の開け口（フタ）のギザギザになっている部分を持ってしまい、右手（親指を除く4本指）を裂傷した。	46	362	8	30～ 49
2017	9	9～ 10	とまと選果場で3段積みのパレットの3段中、一番上のパレットを降ろそうとして、2段目（高さ30cm）から、降りる際に、着地に失敗し、右足を負傷した。	65	417	3	10～ 29
2017	9	7～8	給食センター調理室で、笹型白身魚フライ投入中（2人作業中）、両手で投入している際、片手に2、3個持って投入していたため、そ	59	529	11	50～

			の内の1つを油に落としてしまい手袋と腕抜きの間の手首が出ていたところに油がはねて火傷した。					99
2017	9	12～ 13	本社工場入口手前のエアシャワー室にて、エアシャワー中に足を滑らせバランスを崩し、進行方向のドアと右手側の壁の間に右手をついた際、右手小指を負傷した。	55	416		3	50～ 99
2017	9	11～ 12	機械のスイッチを押して、下から出てきた油あげ（常温のもの）が入っている型箱を、左手で持って手前に引き寄せた時、次のスイッチを早く押してしまい、取り出すより先に次の型箱が出てきたため、型箱と型箱の間に左手がはさまり怪我をしてしまった。	28	169		7	10～ 29
2017	9	15～ 16	作業終了にあたり左足をパレット上に、右足はフローア上にある体勢で右手を伸ばし奥の機械のスイッチを切った、その後あとずさりした時、左足首がパレット上の空フレコンの吊りベルトに引っかかり体勢が崩れ後方に転倒する際、とっさに右足に体重が乗った状態で体をひねった為、右膝蓋靭帯を断裂した。	47	372		2	10～ 29
2017	9	9～ 10	事業所1階の現場事務所前において、被災者が空のバットをキャスターに乗せて運搬中、脇にあったハンドリフトにつまずいて転倒し、床で右膝を打った。	65	362		2	50～ 99
2017	9	14～ 15	植物性廃棄物をコンテナ車の荷台（コンテナ）に投入作業後荷台から下りる際、中段足掛け場より下に足掛け場がなかったため、高さ約1.5mから後ろ向きで飛び降りた。その際着地がうまくいかず、左足の踵を強打し、転倒した、痛みがとれなかったため、業務終了後、病院で受診したところ、左足踵打撲との診断を受けた。	53	221		3	1～9
2017	9	22～ 23	生産終了後にタンクを運搬中、床にこぼれていたうどん麺を踏み靴底に麺が付着して、すべり転倒して、尻、腰を打撲した。	62	417		2	100 ～ 299
		16～	低温倉庫前にある構内にて、玄米の等級検査中、等級確定シールを積まれた玄米の袋底面に貼付するにあたり、倉庫前にある衝突防止柵と倉庫の間に入って作業をしていて偶然しゃがんだ時と、倉庫の					30～

2017	9	17	扉が同時に倉庫の内側より開き体を挟まれ骨盤の骨を骨折した。 衝突防止柵と倉庫の間は狭く進入防止（柵を黄色にしている）と なっている所に誤って入り作業をした事が原因である。	49	418	7	49
2017	9	16～ 17	製造二課原料処理室にて急凍庫に両手で原料容器を運搬しようとして したところ、入口の床に氷が張っていることに気付かず右足を滑ら せそうになった、その際、左足を踏ん張り足首を痛めてしまった。	48	921	19	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	小学校給食室の洗浄室内で、使用後のトレイ400枚がのせてある移 動式の台を布手袋を着用して、食器搬入口付近に移動中、台のキャ スター部分がグレーチング（溝）設置箇所バランスを崩し、ト レーと一緒に倒れた、元に戻そうと台の下を持ち上げようとした 際、台の外枠の角部分内側で、左手の人差し指の第一関節部分を裂 傷した。	39	417	8	1～9
2017	9	15～ 16	トイレから戻って来て漬け込みを始める前に、ボールやカップを取 りに行く途中、排水溝近くの床面が鶏肉や豚肉の脂で滑りやすく なっていた為に、ヌメリで足元を滑らせて後ろ向きに倒れ、ステン レスの机に後頭部を打ち受診となっていたものである。	63	417	2	300 ～ 499
2017	9	3～4	洗浄してあったミンチ機の部品を取り付ける作業をしている時に手 がすべり、その部品が左足親指上に落下、被災した。（左足親指骨 折）	37	165	6	1～9
2017	9	15～ 16	工場にて、イモの洗浄装置（大型ブラシが回転し泥を落とすもの） の掃除の際、被災労働者が手順を誤り装置が作動中にも拘らず、金 タワシを右手（手袋着用）に持ち、イモの出口部分のふちを磨いて いたところ、閉まった状態の蓋の隙間から回転するブラシに金タワ シと共に右手を巻き込まれて負傷した、『止めて！』との声に気付 いた同僚が装置を停止させたが、手を瞬時に引き抜いたときに右手 薬指第1関節下が引きちぎれてしまった、通常、装置の運転は合図 と共に安全に行われており、今回は装置内部の自動洗浄時に、淵に	69	169	7	30～ 49



			付いた汚れを落とそうと、つい手が滑ってしまった際に発生している。				
2017	9	13～ 14	事業所工場内のミソ充填室において、ミソをすりつぶす作業のため、ミソ漉機（全味号）を使用していたところ、ミソがスクリューにうまく巻き込まれず、上部に浮いた状態になっていたため、直接手で（ゴム手袋装着）上から押し込もうとした際、誤って右手中指がスクリューに巻き込まれ負傷したものである。	39	162	7	10～ 29
2017	9	15～ 16	お茶畑でスソ刈りをしている時、スソ刈り機（バリカンのようなもの）でスソに出ているカズラを取りながら作業をしていたため、バリカンの近くのカズラを取ろうとした時に、誤って右人指し指先を負傷した。	69	139	8	1～9
2017	9	21～ 22	サンド盛付室にて作業終了後、帰ろうとしたところ、スイングドアの前で、名前を呼ばれて振り返った。その時、室外の方から別の従業員が室内に入ろうと、スイングドアを押した為、ドアのすぐ近くにいた本人は、そのドアに押され転倒、転倒時体を支えようと手をつき負傷した。	59	417	2	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	冷凍食品の包装作業で包装機のフィルムの接着と切断する部分に、左手人差し指を挟んでしまい受傷する。受傷部位は左手一指し指の切傷と開放骨折。	28	169	7	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	この事故は当社工場2F冷凍餃子急冷室において、野菜のフードカッターの刃を、スポンジを使用して洗浄していたところ、手が滑り誤って刃に触れてしまい、左手中指を切ってしまった事故。	49	165	8	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	切り竿の製品包装の開始時に、ピロー包装機を調整しながら、出口側より包装機の中に、手を入れ包装フィルムを引っ張り出そうとしていた。その際、左手人差し指第一関節にカッター部分が触れ負傷した。	51	165	8	100 ～ 299
		14～	生産終了後の中間掃除時、スライサーを別の場所に移動しようとしてスライサーの向きを変えようとした時に、グレーチング部分にキャス				300

2017	10	15	ターが引っ掛かりスライサーが倒れ、その拍子に転倒して足首を捻り被災した。	46	165	5	～ 499
2017	10	5～6	加熱部署作業場で、設備（ベルトニーダ）のチェーン部を掃除しているときに、設備を動かしたままで作業を行ったため、右手食指をチェーン部に巻き込まれた。	40	121	7	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	生産が終わり機械洗浄に移行する時に、苛性ソーダを温湯で溶かしてタンクから伸びるホースで洗浄を行っていたが、他の機械のブザーが鳴った為そちらに気をとられ一瞬目をそらした時、手元が狂って左足にかかってしまいすぐに水で洗い流した。特に痛みとか違和感がなかったので放置しておいたが、後日気づいたら患部の皮膚が黒くなっていて驚いて病院を受診した。	52	514	12	50～ 99
2017	10	8～9	本社工場内にて、給食用の弁当缶を収納しているステンレス製のラック（長さ1m80cm、高さ1m60cm）の片づけ作業中、ラックを殺菌室に押し入れる際に、入口部分の段差のところで急いでいたこともあり、力いっぱい押したときに段差を乗り越えるときの勢いでラックが左側に流れ、押していたラックと左側に置いてあったラックとの間に左手薬指を挟み負傷した。	34	361	7	10～ 29
2017	10	14～ 15	給食室で洗浄作業後の側溝掃除で、外したグレーチングを横に置いた際に下のグレーチングとの間に指を挟み骨折した。	39	379	7	30～ 49
2017	10	13～ 14	給食室で食器等の洗浄をするために移動しているとき、足元が滑り転倒した。とっさに手を伸ばした場所が、ステンレス板がはがれていて端が鋭利だったため負傷した。	57	417	2	30～ 49
2017	10	15～ 16	工場内、シャリクーラー室（炊飯したご飯を冷凍する前に低温にする部屋）を洗浄するため入室し、通路（三段程高くなっている）を下りる際、床に足を置いた瞬間、両足が滑り（手すりを掴んでいたが、バランスを崩した）転倒。左手を床についた時、負傷した。	52	417	2	50～ 99
			当社工場内でフローズンカッターを使用し食肉の粉、碎加工作業				

2017	10	8～9	中、カッター手前に残った肉片を右手で取り除こうとした際に、誤って回転中の刀に右示指を当ててしまい切創。「カッター周辺に残った材料や異物等を除去する際には、必ず機械を停止してから行う」旨を作業標準として定め、且つ当該関連の安全教育も常々実施していたにもかかわらず、それを無視して作業を行ってしまったことが当該主原因。当時は手袋も着用していたが、無効だった。	33	165	8	100 ～ 299
2017	10	9～10	駐車場において、製粉（30kg）を配送中、段差で左足を踏み外し、捻挫受傷した。	35	418	1	30～ 49
2017	10	10～11	スイング式の扉の反対側から勢いよく台車を押してくる人が見えたため、食品トレーを持ったままと扉の手前で待っていたところ、台車ごと扉に突っ込んできた。そのため、扉と食品トレーが接触し、衝撃で左手首から肩にかけて負荷がかかり痛めた。	29	362	6	100 ～ 299
2017	10	12～13	当社工場内に於いて、包装5号Uライン周辺床の落麺回収清掃を行っていた。稼働中の結束機内で、機械がミスをし、パスタ乾麺の束を結束出来ていない商品が搬送されているのを視認した。その際、誤って、思わず手を出してしまい負傷したもの。	57	169	7	300 ～ 499
2017	10	6～7	作業終了時の靴を洗いジヤ洗浄を行うため水槽を通過しようとしたが、衛生担当が清掃作業を行っていた為、ホースが通路を塞ぐようになり跨ごうとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に右手をつき手首を痛めたが我慢し、翌日になっても痛みと腫れがあった。	62	417	2	50～ 99
2017	10	13～14	ふすまのはい積み場で、搬送中のパレットタイザー（自動はい積み装置）を恐らくは「停止中」と確認し、清掃あるいは他の目的で設備内に侵入したと思われ、その後待機中だった当該設備がプログラム通り通常動作を始めたと考えられ、「格納コンベアー」とその外枠である「昇降フレーム」の補助部材との間に上半身を挟まれてしまった。	68	169	7	30～ 49
		11～	精肉作業場で作業中、突起物等がない床で躓きバランスを崩し倒れ				30～

2017	10	12	そうになった為、左手をついたところ左手首が痛んだ。	59	416	2	49
2017	10	23～ 24	IH炒め機の清掃のため煮沸を行い、清掃終了後IH炒め機の中にあるお湯を廃棄しようとしたところ、長靴の中にお湯が入ってしまい火傷をしてしまった。	29	391	11	500 ～ 999
2017	10	14～ 15	当社工場内にて、円柱状（直径50cm・長さ200cm）の回転式毛取り器に、原料（山菜）を投入していたとき、投入口からこぼれた原料を取り除こうとしたところ、回転体の駆動部分に右示指が触れ、そのまま挟まれてしまい受傷した。	21	165	7	50～ 99
2017	10	12～ 13	惣菜加熱調理室薬品置き場において、機械の洗浄作業を行うための準備として、薬品をダンボールからケースへ移し替えていた。 ルール通りであれば、ケースごと横向きにしてコックを交換するところをケースを立てたまま交換したため、原液がこぼれ落ち、両足大腿部、左手首にかかってしまった。社内ルールでは薬品を使用する際は保護具（手袋やエプロン、フェイスガード等）の着用を定めているが、今回、未装着であったため、直接、かかってしまい火傷を負った。	62	514	12	300 ～ 499
2017	10	11～ 12	被災者は当時、もやし栽培室とコンベアーとの間に渡したステンレス板（高さ約70cm）の上で、もやしをコンベアーに移す作業を行っていたが、突然ステンレス板が外れて転倒した際、右側胸部をコンベアーの縁で打ち、負傷したものである。	66	521	6	10～ 29
2017	10	15～ 16	工場内のカット洗浄室でスライサーの刃の点検をしていた時に、誤ってスライサーの刃を落として、左足膝関節部の上にスライサーの刃が当たり怪我をした。	31	364	4	300 ～ 499
2017	10	12～ 13	蒸気釜でこんにゃくのボイル作業後に蒸気釜内のお湯を切る為に傾けた。蒸気釜内のお湯を排出中に体を横にした為、前掛けで覆われていない右足の長靴にお湯が入り込み、火傷を負った。	57	312	11	300 ～ 499
			加熱調理部署内、野菜処理室に於いて、ねぎスライサーの機械を				

2017	10	9～ 10	使ってねぎカットの作業中、差込口にねぎの皮がつかえていた為、それを取り除く為に右手を差込口に入れてとろうとした時、誤って中指の先端がスライサーの刃に触れてしまい、指先を切ってしまった。	62	165	8	～ 299	100
2017	10	16～ 17	製麺作業中、工場の搬入口から外に出る際、階段を踏み外して落下し、腰回りを強打して、右大腿骨を折った。	60	413	1	1～9	
2017	10	15～ 16	色選機械掃除中に脚立から足を滑らせて横に落下してしまい、腰を強打してしまった。	53	371	1	10～ 29	
2017	10	16～ 17	工場内コンベア機械の掃除中、コンベアの下に付いたローラーをタオルで拭いている時、機械を動かしたまま作業をしていた為、タオルがローラーに絡まり、取ろうとしたが着用していた手袋まで絡まり挟まれた。右手親指、手首を打撲。	52	121	7	～ 299	100
2017	10	12～ 13	工場2階包装室にて栗きんとん生産中に、商品を流すベルトコンベアに付着した餡子を除去する際、ダスターが巻き込まれベルトコンベアに右腕が巻き込まれ骨折した。	25	224	7	～ 299	100
2017	10	10～ 11	調理室の流し台の前を通るときに、床が油で滑りやすい状態だったため、転んでお尻を強打した。	42	417	2	～ 299	100
2017	10	13～ 14	機内食を積んだカートを押して運搬していた際に転倒した。	26	362	2	～ 299	100
2017	10	14～ 15	検収場で検収後に食材（冷凍食品）のダンボールを持ち上げてしまいうときに、腰に痛みを感じた。	23	611	19	10～ 29	
2017	10	14～ 15	調理場内の排水口のゴミカゴを掃除するために、排水溝の蓋を開けようとしたところ、うまく持ち上げて引っ張れず、蓋と排水口の溝の間に指を挟んでしまったもの。	38	911	7	10～ 29	
		13～	製造現場にて段ボール箱に箱詰めされた商品をカゴ車に積んでいる					100

2017	10	14	際に箱の下部を持って置こうとした時、カゴの鉄枠部分と商品の間に左手中指と人差し指の根元部分を挟んでしまい、挫傷した。	37	611	7	～ 299
2017	10	14～ 15	センター内洗浄室にてコンテナを移動させようとした際に、立てかけてあったステンレス製の板（配送車とフロアーの隙間を塞ぐ為の渡し板）に接触してしまい、倒れ掛かってきたので押さえようとしたが、重い為支えきれずに右足甲に倒れてしまい打撲傷を負った。後日骨折と診断される。	30	379	5	100 ～ 299
2017	10	18～ 19	バンド乾燥ラインにて、生地搬送コンベアー駆動部チェーンが外れ、バンド乾燥機上部に上り、修理を行っていた。（高さ約4m）被災者、伝達者、監督者の3名で修理を行っていたが、起動スイッチが離れているため（約12m）、騒音もあり、お互いの声が良く聞こえず、修理している時に機械を起動してしまった。そのため左手人差し指が巻き込まれ、先端を欠損してしまい縫合した。翌日より軽作業を行いながら、様子を見ていたが経過があまり良くならなかった。	22	121	7	300 ～ 499
2017	10	10～ 11	当社工場内において製麺作業中、こねた麺生地をタライに入れて（65kg程）約3m移動（運搬）しようとして中腰の姿勢で力まかせに引っ張ったところ、腰を負傷した。	49	921	19	30～ 49
2017	10	14～ 15	空になったエスレンコンテナ（重量約2kg）を5個を一度に抱えて、トラックの荷台から降ろそうと、荷物を持って台車に載せるため体を捻った瞬間に、腰を受傷したらしい。	49	921	19	10～ 29
2017	10	14～ 15	給食センター調理場内で、床面を水道水ホースで清掃していたところ、水道水ホースが足に引っかかり転倒した。転倒した際に左膝を強打し左膝の骨折となった。	61	417	2	10～ 29
2017	10	9～ 10	玄関入口で、副食を配達する為、副食の入ったコンテナ（41×69×H17cm、2～3kg）を持って玄関入口に入る際、右足首を捻り、右足首の靭帯を損傷した。	48	417	2	50～ 99
							100

2017	10	15～ 16	製品を取りに行く際、通路で台に躓き、右手前の台に左脇腹を打ち受傷した。	54	417	2	～ 299
2017	10	14～ 15	当社工場で作業中、製麺作業終了直前の複合機に流す生地を手で均していた際、異物を発見し、それを取り除こうと手を入れたところ、複合機に生地を押し込む機械を停止しなかったため、押し込み機に右手人差し指を挟み負傷したものの。	28	165	7	100 ～ 299
2017	10	7～8	原料開梱室前で、原料が入った1号缶を開缶作業中、誤って左手親指を缶上部に添えたまま機械を作動させてしまった。そのため、左手親指が刃に接触し、負傷した。	52	169	8	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	菓子製造工場内にて菓子を包装する機械の不具合（包装紙詰まり）を修正している最中に、誤って駆動部に右手を置いてしまい、そのまま起動して右手の指が機械に巻き込まれてしまった。	49	169	7	30～ 49
2017	10	12～ 13	パレットの上に30kgの玄米袋を7段積み上げ（高さ1m60cm）積み上げた一番上の袋を開ける為に袋を手前に引いた際、左手首を捻り負傷する。	32	611	19	30～ 49
2017	10	12～ 13	ジェットオーブンで使用済み鉄板を投入側シンクに置いて、取り手側に移動中、段差手前で滑って体左側部を下にした状態で転倒。転倒の際に左足を段差に引っ掛けてしまった。	59	417	2	500 ～ 999
2017	10	11～ 12	パレットを片付ける時に、手が滑り、左足にパレットが落下し負傷した。	34	379	5	10～ 29
2017	10	15～ 16	本社工場において、側溝の蓋を取り、側溝内にあるゴミかごを清掃後、側溝の蓋を閉める際専用の棒を使って持ち上げるところ、棒を使わず、手で蓋を閉めようとしたときに右手中指を挟み骨折したものである。	27	379	7	50～ 99
2017	10	15～ 16	ラベル貼り付け作業中、商品（天むす）の入ったサンテナの下段のズレを直そうとした時に、上の段のサンテナが左手中指に当たり痛みを感じた。その後痛みがなかなか取れなかった。左手中指の第	44	379	7	100 ～

			一関節が骨折していることが判明した。					299
2017	10	8～9	厨房内で、担当配送先の食材を受け取るために副厨房に入室する際、副厨房の前、厨房前、回転釜周辺が滑りやすくなっていたため、滑って転倒し、尻餅を避けようと踏ん張った時に、足首を捻り骨折した。	51	417	2		500 ～ 999
2017	10	23～ 24	釜で煮物を煮ている間に次の準備をしようと、野菜のカゴをのせている台車を移動させた。その際台車の動きが悪く力まかせに動かしたため、台車に勢いがつき、IH調理機前にあるハカリを置いている台に右手を強くぶつけた。	44	379	19		100 ～ 299
2017	10	13～ 14	調理室で半製品の入ったコロ付きの角タンクを移動した際に床に油がこぼれていたことを本人も認識していたが、そのまま放置してしまいそこで滑ってしまい手をついてしまった。その際に左手首を骨折してしまった。	25	417	2		10～ 29
2017	10	12～ 13	老人ホームの食堂厨房で食材の搬入作業を行っていた。事故当時は他の従業員が厨房内の側溝清掃のため側溝の蓋が外れた状態で、本人の不注意で足が側溝にひっかかり転倒した。転倒の際右手を床につき右手首を骨折、側溝そばに置いてあった金属製の側溝の蓋に右おでこをぶつけて切ってしまった。規模は小さく独立性はないため本社に包括している。	59	417	2		50～ 99
2017	10	9～ 10	作業場内にて、乾燥おから製造中、生おからの搬送用フィーダーにおからがつまったため、機械を停止させて、フィーダー内に手を入れたところフィーダーが停止しておらず、手が巻き込まれ、右手中指を切傷した。	73	169	7		100 ～ 299
2017	10	10～ 11	2tトラックにて配達中、納品先に到着後、運転席よりおりた際、足元に先日より雨のため水溜をよけようとし右足をふんばった際に右膝に変な力が加わり、膝より異音がし、その後強い痛みと共に右膝が曲がらなくなり歩く事がままならなくなった。	55	417	3		1～9



2017	10	16～ 17	工場で、製造工程にて軍手をしてキャベツの芯取り作業中に、ペティナイフでキャベツの芯をくり抜く作業で、芯をくり抜いた瞬間に誤って左手首にペティナイフが刺さり負傷した。芯をくり抜く瞬間に、勢い余って手首を刺したものです。	48	364	8	30～ 49
2017	10	9～ 10	施設内で貯蔵タンクの通路付近を掃除していたところ、つまずき、転倒して左足向こう脛を切傷したもの。	66	417	2	1～9
2017	10	4～5	生産終了後、11号ラインで方向転換しようとした際に、足元が滑り転倒した。その際に、横に設置してあったアルミ製のステップに背中から打ちつけ負傷した。負傷時、洗浄中であったために、作業靴は長靴に履き替えており、床は濡れていた。左側面の肋骨を1本骨折した。	58	417	2	300 ～ 499
2017	10	18～ 19	食器を洗浄中、トレーを足元に落としてしまい左足親指に当たり負傷した。	66	379	4	10～ 29
2017	10	16～ 17	工場2階に設置している洗浄場で洗浄作業をしていた時、足元に敷いてあるマットが滑り、転倒、右胸部を打撲し骨折した。	56	417	2	10～ 29
2017	10	9～ 10	厨房内で青梗菜をカットしている時に、誤って手が滑り、左手人差し指を切った。	23	379	8	1～9
2017	10	12～ 13	被災者は、明太子製造作業中、他の作業者と一緒に原料の入ったカゴ（縦450mm、横650mm、重さ約24kg）を向かい合わせで持ち上げようとしていた。他の作業者が先にカゴを持ち上げたため、被災者が慌てて持ち上げようとしたところ、バランスを崩してカゴを落としそうになり、持ち直そうと踏ん張った際に腰と左足くるぶし付近を痛めた。	51	611	19	30～ 49
2017	10	6～7	シェルマシンの機械の下部にて掃除をしようとして段になっている所を降りた際、体を捻りそのとき右腕に無理がかかり右肩を脱臼したもの。	44	419	19	10～ 29
		22～	ステンレス製の台車を洗浄室に運搬中に補強するため設置してある				300

2017	10	23	鉄板にコマが引っ掛かり、2段積みの上の台車が落下して左足に当たった。	41	362	4	～ 499
2017	10	19～ 20	洗浄室にて夕食後の洗浄作業中に、持ち場から移動しようとしたとき、床に前置きしていたホースにつまずき転倒した。	60	379	2	30～ 49
2017	10	11～ 12	商品切替え時必要な備品を取りに行った際、足元の水漏れに気づかず滑って尻餅をつく。	40	416	2	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	当社製造部内の加熱前のチャーシューをネットに入れる部署で、午前中の作業が終了し後片付けをして一段落した状態の時に、床にあった小さな肉片または脂分で足を滑べらせ、体がねじれた状態で転倒して足のつけ根を骨折した。	77	416	2	30～ 49
2017	10	17～ 18	仕事が終わりに、会社の建物を出て門の手前でつまずいて、思いっきり転び、メガネ、靴も脱げて、咄嗟に右手を突いた。右の小指の間にひびが入り、40日間ギプスをはめる状況だった。	63	417	2	50～ 99
2017	10	15～ 16	作業現場でサンテナを3つ重ねて台車で運んでいるときにサンテナが崩れ落ちそうになり、支えようとしたときに足を捻った。	49	921	19	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	野菜具材保管庫から、包装室に向かって具材の入ったカゴを台車に乗せて押しながら運んでいる時に、部屋の境目にあったグレーチングの溝に、台車をはまってバランスを崩し、カゴが横に倒れた。一度はカゴを支えたが、支えきれなくなり、床とカゴの間に左手を挟み、左手小指の付け根を骨折した。	62	362	7	500 ～ 999
2017	10	5～6	番重に入れられた商品の焼きおにぎりを冷却するために真空冷却機に入れようと台車を押した。その時、キャスターが進行方向に対して直角になり、前方に重心がかかり番重が倒れそうになった。転倒を防ごうと番重を支えたが支えきれず、肩に当たり負傷したものと思われる。	54	379	4	300 ～ 499

2017	10	12～ 13	バツカン洗浄室で台車に積んであるバツカンを後向きに引っぱって いたところ、床から出ている鉄柱に引っ掛かって後ろ向きに転倒 し、腰や背中を打ったもの。	50	418	2	～ 299	100
2017	10	23～ 24	惣菜加工場内にて、電源スイッチを切らずにシャリクーラー機の洗 浄を行っていた。シャリほぐしの回転歯車の部分に右手手袋が引っ かかって巻き込まれ、中指・薬指・甲を裂傷した。	46	165	7	～ 299	100
2017	10	20～ 21	具材保管庫を歩いている時に、床が濡れて滑りやすくなっており、 滑ってバランスを崩し、左ひざを床についたところ、左ひざの皿を 骨折した。	60	417	2	～ 999	500
2017	10	11～ 12	工場1階製品冷凍庫内で製品のピッキング作業をしていた際、冷凍 庫内の床が滑りやすくなっており、入り口に行こうとしたときに両 足を同時に滑らせ、体が宙に浮いて後方に転倒し、床に左手をつい たときに左手首に急に負荷がかかったもの。	65	417	2	～ 499	300
2017	10	7～8	組合本社工場内で下処理室から調理室へ移動する時に足洗い場で、 滑って転倒。右手で体を支えるように倒れたため、右手首を骨折 した。	67	417	2	30～ 49	
2017	10	1～2	惣菜加工場で炊飯ライン炊飯釜反転部分の部品に水をかけて洗浄し ていた際に足を滑らせて転倒し、左足くるぶしを骨折した。	61	417	2	～ 299	100
2017	10	8～9	工場内カット室で計量器を持って移動中に溝に足を取られて転倒 し、両膝と右肘を床で打撲した。尚、溝は清掃中のため、フタは 開いた状態であった。	57	418	2	～ 299	100
2017	10	14～ 15	ミニコンベアーベルト前に置いてあった台車を取ろうとした際、バ ランスを崩し、コンベアーベルトに体があたり、コンベアーベルト が転倒し、左手薬指を強打した。	49	224	6	～ 299	100
		9～	完成した商品を冷凍するために、キャリーケースから冷凍機の上部 へ運び上げた時に背中に激痛が走り動けなくなった。病院の診断					50～

2017	10	10	は、胸椎圧迫骨折のため、3週間の入院。その後も通院が必要のため、約1ヶ月の休業見込み。持ち上げた商品トレーの重さは6kg強であった。	68	611	19	99
2017	10	15～16	職場内にて、給食調理作業の終了後の清掃中に、溝蓋（グレーチング）上をデッキブラシで清掃していたところ、足が滑って転倒し、背中を痛め、MRI検査を受けたところ、「骨折」であるとの最終結果が出た。	58	417	2	30～49
2017	10	8～9	2セット包装冷却出口振り分けバーコンベアー駆動部進行方向左側において、動いているバーコンベアー駆動部スプロケットとチェーンの間に左手人差し指が巻き込まれ、爪部分までを切断した。機械が動いている中に清掃のため持っていたウエス（不織布製）が機械に巻き込まれ、左手人差し指も一緒に巻き込まれた。	35	224	7	100～299
2017	10	10～11	厨房にて、作業台と作業台の間を通り、その先の棚にあるものを取りに歩いていて、右へ曲がりかけてシンク横の棚の足に、右足が引っかかり、左斜め前方へうつぶせの状態転倒した。	63	416	2	50～99
2017	10	7～8	事業所廊下にて、配達中に、通常には置いていない机を立ててあり、接触し、机が滑り、まわりこんで転び右膝を負傷した。	72	391	2	1～9
2017	10	9～10	工場内の調理麺室への入口で、コンテナ（約30cm×50cm）を持ち、両手がふさがった状態で、急いでいたのでスイングドアを左肩で押して開けようと勢いよく押したところ左肩を脱臼した。	23	165	1	50～99
2017	10	10～11	工場調理場内で次の作業へ移るためビニール手袋を変えようと棚へ向かって歩いているとき、床が水で濡れていたため滑って転倒した。	46	417	2	30～49
2017	10	0～1	パン（コンテナ）振り分け時の事故。パンコンテナを所定の場所に置いてまた次のコンテナを取りに帰ろうと振り向いた時に、ヨコにコンテナが有り、コンテナの淵（1cm）部分が右目に当たり眼球（膜）を怪我した。振り向き様、丁度目の高さだったために回避できず怪我をした。	38	611	3	100～299

2017	10	13~ 14	学校給食センターの洗浄室において、食器を洗浄するため、はしかご、ひしゃく、トング、器の入った食器かごを食器を運ぶ移動式の棚の内部から天井部分に右手で移動させた時に、天井部分に置いていた左手の上に置いたため、食器かごの中にあつた食器の一部で左手の人差し指を切った。	48	364	8	10~ 29
2017	10	9~ 10	給食センター下処理室にて、清掃作業中に倉庫扉の前から移動するとき、床が濡れていたため足を滑らせ転倒し、シンクの下にあるパイプに手が滑り込み、右中指を負傷した。	42	417	2	10~ 29
2017	10	9~ 10	小学校の調理室で大根を切っていた際に左手の親指のつけねあたりを切った。（8針縫合）	27	364	8	1~9
2017	10	8~9	第2工場の牛すきラインで肉の選別作業を行い、選別した肉の入ったケースを両手で抱えて所定の場所に移動していた。業務用スポットクーラーの配線が床に這っていることに気付かず、足が配線に引っ掛かり両手にケースをもったまま左側から転倒したため膝を強打した。	46	417	2	300 ~ 499
2017	10	11~ 12	包装作業場にてオペレーターがきのこを乗せた台車を押して箱入れ作業者の後ろを通った際、箱入れ作業者が気付かずに後ろに下がり台車に右足首の後ろ側をぶつけ負傷した。	43	362	6	100 ~ 299
2017	10	10~ 11	交差点で、お弁当を病院へ配送中に、一旦停止で停止後、信号がないため、徐行で大通りに進行中に、後方から脇見運転のダンプカー（10トン）に追突された。	53	221	17	30~ 49
2017	10	11~ 12	1階の工場で、みかんの選別作業をしていた。自分は10mぐらい離れた工場の入り口付近で別の作業をしていた時、選別機械の側で作業していた人が、みかんの汚れを落とすために動いていたモーターがインバーターの不具合で停止してしまい、側にいた作業員が処置に困り、慌てた様子で「急いで見に来てください」と大声で呼ばれたため、慌てて選別機械の方へ駆け寄っていく際に転倒し負傷し	58	419	2	1~9

			た。				
2017	10	9～ 10	学校の厨房にて、玉ねぎを野菜裁断機でカットしているとき、裁断機の投入口に玉ねぎを真っ直ぐ押し込む際に、裁断機に付随している持ち手部分を使わず右手で押し込んだため、右手中指の爪に裁断機の刃が当たってしまい、爪が剥離し負傷したもの。	51	169	8	50～ 99
2017	10	11～ 12	包装室、冷蔵保管庫内でチルド商品（1ケース16kgの物が5段）をキャリーに乗せ、男性社員と二人で保管用パレットに1ケースずつ荷物を持ち、乗せ換えようとしていた際、腰を痛めた。	63	921	19	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	当社工場内にて、ヤードクレーンバケット吊り具を反転しようとして両手で捕まえて持ち上げた際、吊り上げ治具とワイヤーロープを連結するボルトナット抜け防止用の割ピンに右手薬指の第2・3関節が接触し裂傷した。	36	379	8	50～ 99
2017	10	9～ 10	当社工場内で塩が入ったステンレス缶を手動で移動する際、ステンレス缶と壁の間に左手親指を挟んでしまい、負傷した。	45	391	8	50～ 99
2017	11	2～3	4番冷凍庫内において、具材の運搬作業をしていた、冷凍庫内が滑り易くなっていたため、滑って転倒した。	66	417	2	500 ～ 999
2017	11	17～ 18	被災者は、当社工場敷地構内において、米穀加工業務に従事していたが、歩行中に足を滑らし仰向けに転倒した際、後頭部を床に打ちつけ負傷したものである。	37	719	2	50～ 99
2017	11	10～ 11	洗浄室にて、使用した調理器具を洗浄機に流している最中、ワゴンに乗って洗浄室に流れてきた器具を焦って取ろうとしたため、右膝を作業台にぶつけ打撲を負った。3日間の療養後、本人の判断で復帰したが、膝の腫れが悪化したため再度受診し、安静にするよう指示が出た為、再度休みを取った。	57	379	3	30～ 49
2017	11	16～ 17	被災者は、工場2階・4番冷凍室において、具材の運搬作業中、冷凍室の床が凍っていたのに気付かず、足を滑らせて転倒し、腰を強打	64	417	2	500 ～



2017	11	16～ 17	当社機材置場でダンプから降りた時に右手に作業服、左手に伝票を持っていて両手がふさがった状態でバランスを崩して尻もちをつき腰椎を骨折した。	54	362	3	30～ 49
2017	11	10～ 11	工場内6Bシール機移動式水槽にて、とうふパック詰め作業中に水槽の底板が移動中に引っ掛かり、通常電源を切りエア圧をゼロにして対処するところ電源を切らずに手で板を触って動かそうとした為、板が急に動き、右手中指指先を切ってしまった。	48	379	11	50～ 99
2017	11	16～ 17	荷受けと事務所の間のスイングドアからカートラックを持って売場方面へ向かう際、スイングドアの反動で転倒し左足を挟んで左足小指側側面を骨折した。	24	165	8	1～9
2017	11	12～ 13	車が農道から路外に逸脱し、車から降りて畑を歩いていたところ、暗くて側溝に気付かず、落ちてしまい、左足踵の骨折と顔面を損傷した。（帰社途中）	59	417	2	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	障害者支援施設（主に知的障害）において、定時排泄の時間に、利用者さんをトイレから車椅子へ移乗させた際、腰に激痛を感じ、歩行が困難になり、それ以降の利用者支援が出来なくなった。医務室で少し休み、看護師より湿布薬を貼ってもらい専門機関の受診を勧められたが、時間が遅かったことから本人の判断で近くの接骨院にて受診した。	21	169	7	50～ 99
2017	11	14～ 15	会社工場内において、建築資材の木材を自動制御の横架材加工ラインで加工作業中、センサー反応不良で機械停止となったため、材料を取り出そうと左手を入れ、材料を少し動かしたところ、センサーが反応し、機械が作動した拍子に、左手を挟まれ負傷した。	70	416	2	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	工場内ラミネート機において製品のシート替作業中、古いシートと新しいシートを1m位重ねてラミネート機のローラーに挿入して行うところ、重なり幅が10～20cm位になってしまい重なり幅が少ないのでラミネート機の熱ローラー（約175℃）に上手くシートが入らないと思いシートに手を添えて熱ローラーに入れようとしたとこ	24	391	11	50～ 99



			ろ左手をローラーに挟まれ左手母指、示指、環指を裂傷と火傷をした。				
2017	11	10～ 11	荷卸しを終え、フォークリフトの爪を荷台の上に載せて、空箱をトラックの荷台に積みながら荷台を整理する作業をしていたところ、足が絡まり誤って荷台から落ちた際にフォークリフトの爪に頭をぶつけ負傷した。	50	163	7	30～ 49
2017	11	16～ 17	店のバックにて、キャベツの芯を取り除く作業の為、左手でキャベツを押さえ、右手で包丁を持ち、包丁の先端で芯を取り除こうとしたところ、誤って左手親指第一関節部分を裂傷し、腱断裂を負う。	58	417	2	300 ～ 499
2017	11	15～ 16	事業所内の作業場において中型鋳物に注湯作業中、補助員として鋳型そばにいたところ、取鍋からこぼれた溶湯（溶けた鉄）がズボンに飛び両足の膝下を負傷したものである。	25	162	8	30～ 49
2017	11	14～ 15	鋳造工場において、次の作業場へ移動する為階段を下りていたところ、最後の一段を踏み外し左足から斜めに着地したため、左足小指部分を痛めた。	81	362	2	10～ 29
2017	11	8～9	玄関ロータリー内庭園の樹木を1人で剪定中、足場になっていた枝が折れ庭園芝生の上に落下転倒し、右足親指を骨折した。	66	521	2	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	建具の糊付け作業が一段落し、コンベア全体に付着した糊の清掃作業をしていた。コンベア各所に付着した糊をコンベアを回転した状態で、除去剤と雑巾を使用して拭き取る作業である。ローラー付近は汚れも酷く危険なので普段から注意を払って念入りをする必要がある。雑巾ごと右手をローラーに巻かれ負傷した。	46	719	8	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	店舗倉庫にて、商品を棚にしまう際、上段に持ち上げた商品が大きく中身も詰まっていたため、腰を痛めた。	62	419	7	100 ～ 299
		13～	場内入り口から製造現場に出る為の鉄扉の先にある樹脂製の段差ブ				100

2017	11	14	レートで足を滑らせ転倒した。	59	417	2	～ 299
2017	11	8～9	潜水器漁をしている最中に窓の視界が悪くなった為、左前方のへりに乗って前方の窓を拭き取ろうとした時に、足を滑らせて転倒してしまった。	44	379	1	100 ～ 299
2017	11	8～9	業務依頼元である第二工場内にて、荷物の積込作業中に自社10tトラックの荷台（運転席側中央付近）より地面に腰から落下し、同時に肩と頭部を打った。その場で救急車にて搬送され同日に入院した。	43	379	8	50～ 99
2017	11	4～5	別館1F炊飯加熱室内の炊飯2号機における釜の洗浄機の反転機（前倒れ式）に蓋が引っ掛かった状態となっていた為、当該蓋を取り除いたことにより、止まっていた回転部が動き出し、左手中指の先が挟まれたことにより受傷した。	30	165	7	500 ～ 999
2017	11	13～ 14	巻物で使用する海苔を入れたカートを運搬中、ポリッシャー清掃中で濡れた場所を通った時に足を滑らせ転倒した。その際手を地面についたため、右肩峰あたりの筋を痛めた。	51	416	2	500 ～ 999
2017	11	12～ 13	加工場ラインにて、午前の作業終了時にコンベア下側を清掃していたところ、別の作業者が清掃中の作業者に気付かず停止していたコンベアを作動させ急に回転速度を上げたため、右手全体をローラ部に巻き込まれ右手を負傷してしまった。	39	224	7	500 ～ 999
2017	11	11～ 12	番重洗浄室にて番重を洗浄機に投入する作業を行っていたところ、番重をローラーの上に置いた際に番重の押し込みが弱く戻ってきてしまった。番重が洗浄機に入ったか確認せず違う作業に移ってしまったため、番重が戻ってきていることに気付かず左足に落下し左足小指を骨折してしまった。	64	379	4	500 ～ 999
2017	11	0～1	野菜処理室内で大根カットの作業中に突然意識がなくなり、そのまま後ろに倒れた。	47	921	19	100 ～ 299

2017	11	23～ 24	生食加工室にて卓上スライサーで加工中に、機械内の肉が動いた為機械を止めないで手を入れた。その時に指が刃に触れ、右手指3本の中程を合わせて6cm程切ってしまう。	61	165	8	～ 499	300
2017	11	11～ 12	中学校内の受入室内部にて、カーゴの片付け作業中に躓いて前方に倒れ、持っていたカーゴごと床に手をついた。その際カーゴの柵部分が左手に当たり、負傷した。	43	362	3	1～9	
2017	11	11～ 12	当社野菜・果物加工工場内で、被災者は、電動フードスライサーによるキャベツの千切り加工であらかじめコンテナに入った芯を取り半分にしたキャベツ（3箱30kg）を1個ずつ機械のコンベアベルトに載せ搬入する作業中、比較的大きなキャベツ（直径約20cm）があった為、投入前に近くの作業台へ行き、キャベツを左手の平に載せた状態で、右手に持った包丁（刃渡り15cm）を使用し、縦に切った（千切りキャベツの長さを均一にする為）際、左手環指先端を切傷した。今後はまな板を使用し、再発防止に努める。	47	364	8	50～ 99	
2017	11	21～ 22	プラットホームを歩いていた時、電気が消えて暗かった為スロープの角で躓いて転倒し、左膝蓋骨骨折してしまった。	65	417	2	1～9	
2017	11	11～ 12	当店作業所において、2階の樽に醤油を入れる作業を終えて、1階に下りる際、木製の梯子の中程で足を滑らせ体のバランスを崩して梯子から落下し、左足踵を負傷した。	60	371	1	1～9	
2017	11	17～ 18	自社工場内で食品を冷凍板に並べる作業中に気分が悪くなり、目眩がした。作業を中止し、壁にもたれ掛かっていたところ意識が遠のき床に倒れ、その際に左頭部を打った。	44	921	2	～ 299	100
2017	11	12～ 13	自社工場加工室内において、脱気包装が必要な商品を空の籠を台車に乗せ取りに行く途中、当時床が水で濡れており、本人も少しばかり急いでいたため誤って滑って転倒した。転倒した時に左手を床に着き負傷したものである。	61	416	2	～ 299	100
		16～	製品の漬物の発送及び製品の品質管理について上司と話し合いを					

2017	11	17	行っていたが、途中意見の違いから口論となり上司より一方的に暴力を受け負傷したものである。	57	921	90	1～9
2017	11	10～ 11	小学校の給食室、穴開き調理台の上で、まな板と包丁を使い、玉ねぎを薄切りにしていたところ、不注意で包丁の刃を滑らせ、左手親指の爪の真ん中辺りから左側を切ってしまう傷を負った。	44	364	8	50～ 99
2017	11	9～ 10	被災者は中学校給食室にて、給食調理のためにニンジンを切っていた。野菜カッターを使用し、左手でニンジンをカッターにかけ、右手で次のニンジンを取ろうとした。その際に、左手がカッターの奥まで入り込み、左手第2指、第3指がカッターの刃に巻き込まれて、負傷した。	38	165	8	1～9
2017	11	14～ 15	コンテナ受入場にて、コンテナに入っていた油を受入後、コンテナ内部の清掃をしていた。コンテナ底面は地上約1.5mある為、通常は踏み台を使用し昇降しているが、フォークリフトの動線と踏み台が重なっていたため、他の作業者が一時的に踏み台をコンテナ横から移動した。その間にコンテナ荷台から降りてしまい、その衝撃で右足首をひねった。	38	221	3	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	休憩時間にトイレへ行こうとした際に、急いでいたため小走りで七段ある階段の一番上から下までジャンプをした。着地した際に右足を着いてから、左足で踏ん張ろうとしたところ、体重を支えきれずに転倒し、左腓骨幹部を骨折した。	29	417	3	100 ～ 299
2017	11	8～9	ドリップバック製造ラインにおいて、製造終了前に当日の原料の再投入を行うために被災者が原料搬送ブロワーを手動で動かし、その後、被災者は原料搬送ブロワーの停止を忘れ（推定）、サークルフィーダー（粉を攪拌して均一にする装置）の清掃作業を行った。清掃作業時に原料搬送ブロワーを停止していなかったため、サークルフィーダー内に窒素が流入した。その為、酸素濃度が低下したサークルフィーダー内に頭を入れて作業を行った被災者は、酸欠状態に陥ったものと推定される。	18	714	12	100 ～ 299

2017	11	14～ 15	白菜の裁断機にて裁断後の白菜を回収する作業をしていた際、排出口が白菜で山になっていたため、取り除こうとしたところ、機械内部の刃に接触し、右手の3指を切断した。	67	165	8	10～ 29
2017	11	10～ 11	倉庫内での怪我である。預けてある当社在庫の茶葉を引き取りに行った。紙袋入り茶葉30kgを肩に担いで自社のトラックに移す作業中、歩いていた床面が10cmほど低くなる段差の場所で、右足が床面に着いたと同時にぐらつきながら右斜め前方に倒れ込んだ。（履物は運動靴）その際右足の小指付け根がグキッととなった。右足甲の部分打撲、右足小指付け根骨折となった。	31	417	2	10～ 29
2017	11	14～ 15	工場内にて、人参の皮むき作業をする為に空のカゴ（約39cm×54cm×34cm）を手に持って移動した際、足元が見難かった為、床に材料を置くパレット（高さ約10cm）が置いてあることに気付かず躓いて転倒した。左膝を強打し負傷した。	65	417	2	50～ 99
2017	11	16～ 17	第2工場の玄関前の缶出し作業場にて、ルールとなっている「作業時踵のある靴で底が真っ平」ではないサンダルを履き、踏み台として利用していた木のパレットから降りる際、コンビテナーを手で持とうとして積み損ない、意図しない方法で着地し、負傷した。	35	371	3	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	本社工場内、包装機の不具合調整中、包装機の製品ガイドの調整を運転中に行い、すぐ下の回転式カッター刃に指先が接触し、損傷を負った。	38	165	8	30～ 49
2017	11	9～ 10	食品工場内の食材倉庫内で台車に躓いて転倒した。入庫の際、照明を点灯せずに入室し、台車に気付かず棚に手をついた体勢で転倒し負傷した。	70	362	2	30～ 49
2017	11	18～ 19	病院厨房で配膳車を引き出す時、配膳室のエレベーター扉付近で引き出す時に、別の用件を依頼され、配膳車の引き出し作業を中止してエレベーターに入ってしまった。別の者が被災者がエレベーターに入ったことに気付かず配膳車を引き出した為、配膳車と壁の間で肩や背中部分が挟まれた。	43	362	7	10～ 29

2017	11	16～ 17	冷蔵庫内で台車を移動中、不注意で壁と台車で手を挟んでしまった。	44	362	7	10～ 29
2017	11	10～ 11	当社工場5F作業場において、シーラー機で作業を行っていた際、インクリボンを交換することとなった。本来なら、機械が完全に止まってから作業すべきところ、誤って停止する前に作業を始めたため、送り回転ベルトに挟まれ、右手中指の先端を裂傷した。（縫合なし）	44	169	7	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	工場内の野菜カット室で人参を乱切りする際、誤って包丁で左手中指を深く切ってしまった。	28	364	8	30～ 49
2017	11	17～ 18	盛り付けトレーを落とし拾う為、屈んだ際バランスを崩し後ろに転倒しかけ、左腕で体を支えた為、肩、腕を打撲した。	55	921	2	50～ 99
2017	11	7～8	3直勤務時間の最後に乾燥機の状態を確認するため、F3形成化室から乾燥室に手に何も持っていない状態で歩いて移動していたところ、足を滑らせてでん部から転倒した。	37	417	2	50～ 99
2017	11	20～ 21	包装設備の洗浄業務にて、ラインの消毒の為に次亜塩素酸Naが入った噴霧器にて噴霧作業を行っていた。噴霧場所は計量機のホッパー箇所であり、位置的に高所にある為、高さ約60cmの足場が設置されている。その足場に噴霧器を置き噴霧していたところ、噴霧器が足場から落下しそうになり慌てて落下を阻止しようとした。その際、自身がバランスを崩して右向きで地面に落下した。	53	391	1	10～ 29
2017	11	11～ 12	工場内餃子成形機械で、餃子の具をニンニクの入ったものからニンニクなしに切替する為、機械のホッパー（餃子が入っている容器）の底コック部分（1コ分の量を押し出す部分）に指を入れ餃子の具を取り除いている時、他の従業員が成形機の可動ボタンを押した為（声かけはしたが聞こえていなかった）指先が巻き込まれ、右手中指先端5mm程切断した。	41	165	7	100 ～ 299
			茶製造工場内で茶葉を詰めた袋（約10kg）をパレットに運ぶ際バラ				

2017	11	11～ 12	ンスを崩し、近くに設置されていたステンレス製の茶葉を受ける台にぶつかりそうになり、避けようとしたが避けきれず接触し、左手首、肋骨を骨折した。	54	379	3	50～ 99
2017	11	8～9	洗浄室で洗浄準備をしている時に、足元のかごを置く台に躓き、目の前の移動式ラックに掴まろうとしたが、ストッパーを掛けていないため動き、そのまま正座の状態です床に強く両膝をついた。元々足が悪いため、踏ん張れない状態もあったと考えられる。	77	362	2	30～ 49
2017	11	16～ 17	厨房にて鍋をコンロで温めていた時、脱水症状と、高血圧の薬を服用し、低血圧になっていた為、意識が朦朧としてきて体を支えようと、思わず鍋の取っ手を素手で握った。その結果、両手のひら、指を火傷した。	69	379	11	10～ 29
2017	11	15～ 16	倉庫入口前で木の剪定作業が終了し三脚脚立から降りようとした際、脚立のバランスが崩れ脚立と共に落下した。	66	371	1	50～ 99
2017	11	18～ 19	ゴミ捨て場で、ゴミの肉を入れた袋（縦100cm×横90cm×高さ100cm、重さ15kg）を持ち上げた際、右膝に力が入り過ぎて外傷後膝関節症を発症した。	28	611	19	100 ～ 299
2017	11	21～ 22	焼きおにぎりライン6号成型機にて、成型機のカップ部に付着した米を取り除く時に、ロックアウト部に成型機を動かしたまま米を取り除こうとした。成型機カバーには安全装置（近接センサー）が付いている為、パスワードを入力し安全装置を解除した。成型機を動かしたままカップ部に手を近づけてしまった為、ロックアウトのカップ部分とプレートとの間で指を挟み負傷した。	44	165	7	300 ～ 499
2017	11	6～7	朝一の拭き掃除の際、右手でダスターを持ち拭いていた時、右手肘から手の先がローラーに巻き込まれた。	62	165	7	10～ 29
2017	11	10～ 11	厨房洗浄室にて食器をカゴに収めようと振り返った時に転び、頭、首、腰をタイルの床で打った。	67	418	2	50～ 99
		21～	被災者は、惣菜2号ライン移動中、ゼリー状の残渣で滑り、左膝を				500

2017	11	22	床に打ち付け負傷した。	62	416	2	～ 999
2017	11	17～ 18	工場1棟（日配惣菜棟）1Fのバット洗浄機ライン（洗浄機前部）でバットが機械に挟まり、事故者が挟まったバットを取り除こうとした際に（機械を停止せずに行った）、コロコンの駆動部とコロコンガイドに右手小指が挟まれ、挟まったバットを押すプッシャーの力が加わり切創した。	40	224	7	500 ～ 999
2017	11	6～7	工場の出入口付近で空のパン箱をトラックの荷台から出す作業中に、不注意で足が滑り荷台から落下した。	38	221	1	10～ 29
2017	11	9～ 10	学校給食センター厨房内において野菜を切っていたところ、誤って包丁で左手の中指を切った。	47	364	8	1～9
2017	11	10～ 11	選果中、供給ラインでコンテナが止まっていたのを発見し、復旧するためベルトコンベアに手をついたところ動き出し右手をコンベアに巻き込まれた。	33	224	7	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	発生場所は工場内包装室内のベルトコンベアー。工場内包装室内でベルトコンベアーの清掃作業を行っている時の出来事。ベルトコンベアーを動かしながら清掃中に、手に持っていた濡れたタオルでローラー部分を拭こうとして、タオルと一緒に手を巻き込まれてしまった。	20	121	7	30～ 49
2017	11	11～ 12	2階製造の調味粉投入室で、開梱が終わり段ボールが乗っていた樹脂パレットを片付ける時に、パレットの上面から手を入れ（通常はリフトの爪を挿入する2ヶ所に手を入れる）持ち上げパレットを立ち上げている最中に、床に面している下辺が滑ったため、とっさに押さえようとしたところ右膝と左手小指を打ちつけて負傷した。	52	379	4	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	工場配合室2階で配合原料を粉碎する為、粉碎機に投入する移動式昇降機を移動したところ、足元がふらついてそれを支えようとして腰を負傷した。	61	169	19	30～ 49



2017	11	9～ 10	給食の準備でしいたけの軸を包丁で切っていて、手元がよく見えなかったため、誤って左手薬指の先を切創した。	47	364	8	1000 ～ 9999
2017	11	9～ 10	事務所で机の間を歩いている時、下に置いてあった箱に躓き転倒、頭に切り傷、左足股関節にヒビが入った。	52	611	2	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	盛付室（Cライン）で箱取の作業中、積み上げられた製品コンテナ（150cm）を取ろうとしたところ、1個を取ったつもりが下に2つ引っ付いており（合計3個取った事になる）、そのうち下の2個が、約160cmの高さから右足の甲に落下した。すぐに社員に報告し、その日は早退した。翌日も痛みが引かず病院を受診した。	38	611	4	100 ～ 299
2017	11	22～ 23	工場内で、もやしを栽培した育成BOXをコーターで出庫作業中に、後方確認を怠って進んだため後方に停止していたコーターとで左足首を挟み込んだ。	19	362	7	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	給食室の水槽で短冊切り用スライサーの刃を洗浄している際、取り扱いに慣れていないこともあり、左手掌に切傷を負い、4針縫うこととなった。	28	169	8	10～ 29
2017	11	8～9	カゴ車を倉庫より引き出し踊り場から（高さ65cm）地上に降ろす際に、本来であればフォークリフトにて行うものを急いでいた為に1人、人力で抱えて降ろそうとしてバランスを崩し、カゴ車ごと前のめりに倒れてしまい、カゴ車と地面の間に腕を挟まれたもので上腕骨折と指・肘の擦過傷を負った。再発防止対策として、重量物の積み降ろしには①フォークリフトを使用して降ろす②踊り場周囲に落下防止のガードレールをつける③フォークリフトが無い場合は、2人で作業し降ろすことを再度教育徹底した。	22	362	2	300 ～ 499
2017	11	18～	給食センターでの調理業務等を終え帰宅するため駐車場へ向かう途中の外階段で暗くて足元がよく見え最後の一段（高さ14cm、幅24cm）を踏み外し転倒した。左足首に痛みがあったが自分で車を	61	413	2	50～

		19	運転して帰宅し、翌朝病院を受診し、左足関節の捻挫で4週間の安静治療を要すると診断される。					99
2017	11	11～ 12	ペットフード製造工場で、商品の裁断及び金属探知の作業をしていた時、後ろ向きで移動していた場所に電源コードがあったので、躓き転倒した時、右手で床をつき骨折する。	67	417		2	10～ 29
2017	11	13～ 14	夕食の弁当を配送するため、交差点を車で北方向に直進していたが、東側から来た車が安全確認をせずに交差点を通過しようとしたので衝突してしまい、頸椎捻挫・右ふくらはぎ打撲を負ってしまった。	24	231		17	100 ～ 299
2017	11	20～ 21	工場内の製造ラインで機械清掃の作業中、移動している時に水濡れの床面で滑り転倒し、お尻・背中・側頸部の順に床面で打撲した。	19	417		2	500 ～ 999
2017	11	15～ 16	工場で焼鳥の串刺機を洗浄していたところ、誤ってレールの間隙に指を挟み負傷したものである。	40	169		7	1～9
2017	11	16～ 17	荷物を運ぶエレベーターで製品を運んでいてエレベーターを開ける際に、エレベーターのドアと上の壁の部分で指を挟みひびが入った。	21	214		7	10～ 29
2017	11	11～ 12	食用油製品の出荷口において被災した。トラックの荷台で作業を行い、荷台から降りる際、トラックがわずかに前進し、バランスを崩して背中から転倒した。出荷口にある段差の角に背中を強打ち、救急車で病院に搬送され、胸椎骨折と診断された。	60	221		1	100 ～ 299
2017	11	8～9	出勤時間中の工場敷地内玄関前階段にて、手すりを使用せず階段を昇歩中、二段目に足を上げようとした際に上がらず、階段二段目手前角の部分に足を掛けた状態になった際に、体勢が前のめりとなり、右手を付いて身体を支えたことで右手甲を受傷した。	50	413		2	100 ～ 299
		10～	出荷準備の作業中、ゴミ箱に間違って捨てたものを拾って引き返そうとした時、すぐそばに設置しているダンボール用テープ貼り機械					50～

2017	11	11	のコードに足を引っ掛けて転んだ。この時、左足首を捻挫し、外側の骨にひびが入った。	38	169	2	99
2017	11	5~6	工場内釜場にて釜に入ったお湯を捨てようとした際に足を滑らせて、捨てようとしたお湯が長靴の中に入り左足に火傷を負った。	30	519	11	500 ~ 999
2017	11	11~ 12	給食厨房室にてガス台横にある配膳台に向かって歩いていたところ転倒し、左膝、右腕、顔面を打撲した。	64	416	2	100 ~ 299
2017	11	12~ 13	調理場内のスライサー機を置いている所で、スライサーの二枚刃円盤を刃物の消毒庫にしまって手を引いた時に、刃の先端部分に左手小指の第一関節上部が当たり怪我をした。	31	379	8	30~ 49
2017	11	17~ 18	玉ねぎの皮むき作業を行う現場で移動歩行中、湿っているような所をと通った際に滑るような形で転び、右くるぶしを骨折した。	59	416	2	50~ 99
2017	11	11~ 12	原料（ピーマン選果）を確認中、原料搬送用ベルト駆動用モーターに左足が躓き転倒した。（通路上）その際に右手を打ち骨折した。	65	417	2	50~ 99
2017	11	12~ 13	工場内で作業をしていた時に、近くで別の作業をしていた社員が誤って鉄の枠を30cm位の高さの台から落としてしまい、右足の甲に接触した。	23	391	4	30~ 49
2017	11	12~ 13	被災職員は、調理業務に従事しており、被災当日も勤務場所である小学校の給食室において、温食を杓子を使い、学級用の温食器に移そうと、温食を入れた杓子を右から左に動かしたところ、突然腰に激痛を感じ負傷したものである。	55	921	19	1~9
2017	11	11~ 12	フライヤーレーンを洗浄する際、レーンを2人で持ち上げレーンの中を洗おうとしたところ、肩にレーンが当たってしまい落ちてきて指を挟まれた。うっ血が酷かった為、整形外科を受診し骨折と診断された。	54	391	7	50~ 99

2017	11	9~10	当社工場内で、業務用タイプの食塩（20kg）を製造中に、包材をシールする圧着機に左手薬指が巻き込まれ、負傷した。	50	169	7	50~99
2017	12	8~9	開口部より製品を引き渡し後、作業場所に戻る為振り返ったとき足元が滑りキャリーにつまずいた。その際、周りに身体を支える物が無くそのまま前のめり状態で転倒し、目の前にあったコンテナに左目の下と目と鼻の間にコンテナの角部分を強打し、目の下に裂傷を負った。当日は、出血が収まってから病院で診察を受け、6針縫い、視力には支障はないと診断を受け、そのまま帰宅した。後日、抜糸の際に病院にてCT検査を行った結果、眼底部の骨折が判明し、手術となった。	54	362	2	100~299
2017	12	12~13	製造現場洗浄コーナーにおいて、機械部品を洗浄している際、水が溜まっている床で足を滑らせ転倒し、シンクに右脇腹をぶつけた。	26	719	2	100~299
2017	12	16~17	作業終了後の掃除で工場の外にゴミを捨てに行く途中、地面に雪が積もっていたため、滑って転倒し、転倒時に左手をついたため骨折した。	67	417	2	1~9
2017	12	12~13	工場にて、ふかし室の天窓を清掃するため、梯子をかけて作業していたところ、梯子の土台部分が滑り出したことで作業者がバランスを崩し約3mの高さから落下し腰を強打した。	42	371	1	30~49
2017	12	9~10	チルド棟1階の器具洗浄場付近で、器具洗浄用のRO原液が入ったステン製の洗面器がセットされた台に足をぶつけてしまい、台が揺れ、洗面器に入っていたRO原液が自身の足にかかり被災した。	52	519	12	500~999
2017	12	8~9	出勤時、敷地内の駐車場から工場のある建物へ歩いて向かっている際、凍結をしている所で足を滑らせ転倒し、腰と頭を地面に打った。	60	719	2	50~99
2017	12	4~5	事業場の調理場にある盛り付け室において、角に置いてある台車に躓いてバランスを崩し、左膝のさらを床に強打した。仕事が終わって、病院を受診したところ、膝蓋骨骨折と診断された。	65	417	2	50~99

2017	12	7~8	野菜ごみを捨てに行くため外に出て工場に戻る際、入口前に敷いてあるステンレスの板に雪が積もっていた為、足を滑らせ尻餅をつきそうになり、右手を地面についたところ体重がかかり、手首を痛めた。	55	417	2	50~ 99
2017	12	10~11	会社敷地内で、仕事終了後、駐車場に停めてある自分の車のところに歩いて向かっているときに、路面が凍っており滑って両足を上にあげた状態で仰向けに転んでしまった。幸いに頭は打たなかったが、腰と左肩を打撲し、また転んだ衝撃でむち打ちの様に頸部に痛みを感じた。	69	417	2	30~ 49
2017	12	20~21	勤務終了後、帰宅のため車輛駐車場へ行く路上にて滑り転倒した。当日は積雪があり、路面は凍結状態にて付近は薄暗く駐車場前の路面部分にて転倒した。転倒時に右手をつき、右手首骨折を負った。	65	417	2	10~ 29
2017	12	11~12	工場の排水溝のグレーチングを持ち上げて掃除をした際に、グレーチングを戻そうと下ろした際に手を滑らせて落とし、右手中指の腹をグレーチングと床に挟んで切った。	23	419	4	10~ 29
2017	12	14~15	当工場において、生ラーメンの包装作業中、生ラーメンに添付するダンボールに入ったスープ（重さ15kg、縦20cm、横20cm、長さ60cm）を資材置場から作業台へ搬送しようとしてダンボールを持ち上げた時、手が滑り持ち上げようとしたダンボールと置いてあったダンボールの間に右手を挟んでしまい負傷したものである。その時は痛みもなかったのものでそのまま作業を続けたが、翌日痛みが出てきたので受診した。	27	611	7	10~ 29
2017	12	9~10	シート包餡成型機（手巻きおにぎりの機械）が作業動不良をおこしたため、機械と機械の間の狭い通路を進み急いでスイッチを切ろうと思い、バットにぶつかり転倒し、左膝を打撲してしまった。	42	379	3	100 ~ 299
			工場内前室にて、台車に載せた半製品を包装室内に運び込もうとし				

2017	12	15~16	た。その際、入口のブラインドシャッター前に台車を置き、ブラインドシャッターを上昇させた時に台車がブラインドシャッターに触れ、台車がブラインドシャッターに押される格好となり、その流れで体を押され、尻餅をつき負傷した。	60	391	6	30~ 49
2017	12	14~15	調理室において清掃をしている際、湯を溜めた釜を固定するストッパーを外した状態で作業をしており、よそ見をしている間に水の重さで釜が傾き、熱湯がこぼれ、長靴の中に入り込み、両足首付近に火傷を負った。	60	341	11	500 ~ 999
2017	12	8~9	工場2F加熱室（加熱調理作業室）から台車にて番重（およそ400×700mm×1,500H、プラスチック箱）容器を運搬中、冷蔵庫内を通行していた所、運搬していた台車と保管台車が接触した。その際、身体が前のめりになり、運んでいた番重が倒れ、左目に直撃し、左まゆげ下、鼻の頭に切創を負った。	44	362	4	500 ~ 999
2017	12	17~18	調味料計量室内にて、両手で三温糖を持ち上げ後ろの容器に移動しようとして振り向いた時に左足が台車に躓きバランスを崩し転倒し、作業台に頭・肩・膝を打った。	63	362	2	300 ~ 499
2017	12	16~17	工場内において、もやしの袋を詰める包装機のフィルムを交換する際に、フィルムの筒の中に入れる芯（重さ約2.5kg）を誤って左足親指の爪部分に落としてしまった。	34	379	4	10~ 29
2017	12	16~17	工場2階加工ライン室にて惣菜のパック詰め用のレンコンと筍を品出し補充していた時、床に落ちていたレンコンタレをふんで転倒し、右手をつき右手首を骨折した。	57	417	2	100 ~ 299
2017	12	20~21	製造終了後のウイン洗浄時に、液体窒素タンクをウイン設置場所より移動しようとした際、タンクが傾きタンク内に残っていた液体窒素が両手にかかり火傷を負った。	45	519	12	50~ 99
2017	12	9~10	洗浄部にて、ケースの洗浄をしていた際、水で濡れた床ですべって頭を打った。	42	416	2	100 ~ 299

2017	12	8~9	おせち包材を積んだ台車に左足がひっかかり、転びそうになり、右足を強くひねり負傷した（右足第5中足骨骨折）。	71	417	3	100 ~ 299
2017	12	16~17	製麺室でコンベアから流れてきた生麺を番重に並べる作業中に、麺切り出し機から出てくる麺線が片寄ることに気づき、本来は機械を停止してから担当OPが修正するルールであったが、安全カバーを越えて左手を入れて麺線を修正しようとしてしまい、その際に切刃と接触し、右手人差し指に長さ20mm×深さ5mmの裂傷を負ってしまった。	21	165	8	300 ~ 499
2017	12	16~17	製麺室でコンベアから流れてきた生麺を番重に並べる作業中に、麺切出機から出てくる麺線が片寄ることに気づき、安全カバーから手を入れて麺線を修正しようとしたとき切刃に接触し、左示指先に長さ20mm、深さ5mm程の挫創を負った。	21	165	8	50~ 99
2017	12	15~16	店舗にて、盛り込み室から休憩に向かう途中、前方にあったエプロン掛けの足に気付かずつまずき、エプロン掛けの支柱の突起物に掴まったところ、左手親指付け根を3針縫う裂傷を負った。	70	379	8	100 ~ 299
2017	12	8~9	出勤時、第一工場食堂棟入口風除室にて発生した。出勤するため、食堂棟入口の風除室に入る時に右足を一步目にして風除室に入り、次に左足を上げて着地させようとした時に左足を滑らせて足首をひねって転んでしまった。労災発生当日の天気は晴れており、地面（タイル）は乾いた状態であった。	46	417	2	50~ 99
2017	12	8~9	エノキタケ詰込作業場所で、ビンに培地を詰込中、ミキサー内の残量を確認する為、脚立を使用してミキサーのふちに上った。その際、あおり部のロックに無意識のうちに触れ、地面へ降りた直後に、ロックが外れたあおりが落下し頭部に接触した。	20	391	6	50~ 99
2017	12	19~20	工場内の6連成型機付近で、投入装置で具材容器を上げている最中、登り切る手前でリフトが動かなくなり、再度スイッチを押した	58	169	4	50~

			ところ急にリフトが下がり、容器が落下し、左手人指し指に当たり亀裂骨折した。				99
2017	12	10~11	水産包装値付4号機にて盛付コンベア付近を歩いて移動していたところ、前方にいた従業員の足と接触し、前のめりに転倒してしまい胸部を強打し打撲した。	57	921	2	300 ~ 499
2017	12	0~1	工場内で、海老をトッピングしている時、海老の臭いで気分が悪くなり、水を飲みに行こうと歩いていた所、突然受け身もとらずに顔面から床に倒れた。	22	417	2	1000 ~ 9999
2017	12	1~2	被災者は自動ドアを引き戸と勘違いし手を触れていた所、ドアの向かう側の人自動ドアを作動させてしまった為、ドアの隙間に指を挟まれた。	60	391	7	1000 ~ 9999
2017	12	9~10	2階の番重置き場から洗浄済みの番重を運ぼうとした際に、台車のタイヤが排水溝のグレーチングに引っかかり、番重が崩れそうになったため支えようとしたところ、勢い余って左肩から転倒してしまった。	69	362	2	300 ~ 499
2017	12	7~8	工場内階段を急いで駆け上がった際、階段を踏み外し、左足小指を強打した。	26	413	3	1000 ~ 9999
2017	12	17~18	製造盛付ラインで、成型機の舍利詰まりを直すためにカバーを外し舍利を取り除いていたところ、舍利リフターが上昇して来て、慌ててカバーを取ろうとした際に、リフターフレームとカバーに右手薬指を挟まれケガを負った。	23	165	7	300 ~ 499
2017	12	13~14	ハンバーグ製造室にてハンバーグを製造中に、ハンバーグ成形機を稼働させながら、ホッパ内の残りの挽き肉を下に落とすために手を入れ、回転羽に指を挟まれてしまった。	61	165	7	—
2017	12	6~7	工場内にて、パスタ充填機の調整を行っていた際、設備を停止せずにネジを締める作業をしたため、パスタ投入部に巻き込まれ左手中	41	165	7	100 ~



			指付近を裂傷した（3ヶ所15針程縫合）。				299
2017	12	16~17	不良在庫を2階作業場から1階ゴミ庫へ運ぼうと、ステンレス台車に卵箱2つと段ボール箱2~3個をのせ、エレベーターに入る際、台車のタイヤがエレベーターの隙間にはまり、その反動で転倒し、右ひざをコンクリート床に強打した。	66	362	2	500 ~ 999
2017	12	9~10	厨房内の洗浄コーナーで、朝食下膳の洗浄をしている時、割れた食器に気が付かず、右手人差し指の第1関節から指先にかけて、切傷してしまった。	46	391	8	10~ 29
2017	12	15~16	退社時、センター内の2階から1階に下りる階段で、2階の途中から、足に力が入らず1階と2階の踊り場まで滑り落ちた。その際、踊り場の壁に激突し、頭部および左胸、腰を強打した。頭部に異常はなかったが、左足大腿骨の骨折と診断された。	52	413	1	100 ~ 299
2017	12	10~11	精肉加工センター内の豚肉スライス作業場にて、豚肉のスライス作業の準備中、アルコールをスライサーの刃に吹き掛けて刃を回転させたところ、左中指が刃に接触し、指先を切った。調整中であつたため、安全手袋を装着していなかった。	21	165	8	50~ 99
2017	12	10~11	清掃中、誤って足を踏み外し、段差1.2mの予備室へ落ちた。腰から落ち、左大腿骨を骨折した。	56	418	1	30~ 49
2017	12	14~15	弁当の空容器の回収に顧客先を車で回っていた。顧客事業所で空容器を入れた給食用バット（カゴ状の入れ物）を両手で持って玄関を出たところをつまずき両ひざから倒れ落ち、段差のあるところを越えて転び、右肘を強打した。起き上がると右腕が動かない状態であり、会社へ連絡し病院へ連れていってもらった。仕事用に手袋・長靴を着用し、早足でいたところ足がもつれて転倒したようである。	61	419	2	10~ 29
2017	12	8~9	麺製造作業現場で、作業の空き時間にローラー側面樹脂板についた生地カスを取るため、ビニール手袋を着けた状態で、ローラーが動いている中、左手を入れ、付着した生地を取ろうとしたが手袋の先	69	165	7	1~9

			が挟まり、抜こうとしたが引き込まれ、中指・薬指・小指をローラーに挟まれた。尚、骨に異常はない。				
2017	12	11~12	当該事業所において、食材の仕込作業中、まな板のバランスが崩れ包丁が滑り、左手に刺さってしまった。まな板はそのまま落ちて左足に当たり、打撲したものである。その後2週間ほど経過した頃、左手が腫れてしまい再度受診したところ、傷の中に菌が残って化膿しているとのことで、切開して膿を出す処置をしてもらい、休業となった。	54	364	8	1~9
2017	12	17~18	本社第1工場の油調室でフライヤーの清掃作業中、機械が動いていることに気づかずにシュートを取り外そうと機械に右手を入れたため、アタッチメントと串落としバーの間に右手首を挟まれた。	29	165	7	100 ~ 299
2017	12	9~10	製麺工場内製麺室において、圧延ローラーを清掃中に、電源を落さずローラーの内側に手を入れ、左手の指を骨折した。	26	163	7	100 ~ 299
2017	12	16~17	包装作業終了直前に、製品搬送ラインを越えて戻る際、製品搬送ラインで足を引っ掛けて転倒し、床にあったダンボール置き台に左脇腹を当て負傷した。	20	224	2	100 ~ 299
2017	12	12~13	1F加工場で、原料の準備確認や保管サンプルを取る作業をしているときに、保管サンプルを取るためのビニール袋を別室に取りに行き、空の状態のビニール袋のみを持って、冷蔵庫に入ろうと移動しているときに、急に目の前が真っ白になった。何かに掴まろうとしたが倒れ、床に後頭部をぶつけて頭と首に痛みがあり、救急車で搬送された。	62	921	3	100 ~ 299
2017	12	20~21	被災者が製品冷蔵庫内でプラッターに乗車し、荷役作業を行なっているとき、扉開閉用の紐が、プラッターのマストに挟まった。被災者はこの状態に気づいておらず、プラッターを後退させたところ紐が切れ、その反動で飛んできた紐が被災者の左目を直撃した。	47	529	6	30~ 49

2017	12	3~4	<p>バスタブランチャー横殺菌シンクから熱湯を桶にて汲み上げた際、前掛けが腰ひも部分で手繰り上がった状態になっており、長靴の上まで前掛けの裾が上がった状態に被災者は気づいていなかった。熱湯を汲み上げた際に桶がシンクの縁に引っかかり、熱湯が被災者にこぼれてきて、前掛けを伝い両足の長靴内に入った。</p>	54	341	11	~ 299	100
2017	12	13~14	<p>当社工場内において、コンベアの清掃作業を終え、コンベア本体の移動作業を行っていた際に、車輪が床面の段差に引っ掛かり、コンベア本体が転倒し、右足を挟まれ負傷した。</p>	73	224	6	10~ 29	
2017	12	12~13	<p>当社工場にて年末の大掃除を行っていた。手袋とアームカバーをしてしっかりと防護をし、布たわしに油汚れ落とし洗剤を浸してフライヤーの天井の掃除を行っていた。アームカバーは肘までのものを使用していたが、隙間から液体が浸入したことに気づかなかった。作業後、化学熱傷していることに気づき、すぐに病院へ行った。一度仕事に復帰したものの、後日、皮膚移植が必要となり休業となった。</p>	64	519	12	50~ 99	
2017	12	6~7	<p>事業所内作業場にて、攪拌機の清掃作業中、蓋を開けて中を清掃しようとした際、誤って蓋が倒れ、機械の攪拌棒が動き、左腕をもっていかれ、左前腕を負傷した。攪拌機は、蓋を開けると安全装置が働くもので、清掃の際は必ず電源を切って作業することになっているが、被災者は電源を切ったものと勘違いした。</p>	23	162	7	30~ 49	
2017	12	11~12	<p>デリカ作業場にて、片付け・弁当作りのとき、流し台の横にある食洗機の下に溜まった水で滑り、転倒した。その際、右肘・左膝を打撲し、右手首・右足首を捻挫した。</p>	65	417	2	1~9	
2017	12	16~17	<p>厨房で、床清掃のため水とレンジクリーナーを床全面に撒き、デッキブラシで磨き始めようとしたところ、足元が滑り尻もちをついた。転倒による負傷（打撲等）はなかったが、レンジクリーナーがついて濡れたままにしたため、翌日、尻もちをついた部分がただれた。</p>	28	417	2	10~ 29	

2017	12	9~10	工場内で作業中、トイレに行くために移動した際、野菜加工のために濡れた床で滑り、バランスを崩して転倒し、負傷した（長靴装着有り）。	69	417	2	30~ 49
2017	12	16~17	当社にて、スポンジ交換等をするため、しゃがんで作業していた。立ち上がろうとしたときに、配管の引っ張りに足を引っ掛けて躓き、近くに置いてあった台車へ顔から倒れこんだ。咄嗟に手が出ず、台車の角に歯をぶつけ、そのまま両膝を床面で強打し、負傷した。	20	391	3	1~9
2017	12	11~12	工場野菜裁断室にて胡瓜カット作業中に、毎朝、朝礼にてカット刃による手指等の負傷について注意されていたにもかかわらず、注意を怠り、胡瓜機械カット刃により右手人差し指と中指に切り傷を負った。	58	165	8	30~ 49
2017	12	3~4	当社製造一課フロアにて、作業台の上に筋切り機をのせ、鶏肉の筋切りを行っていた。その際、作業台より筋切り機が滑落し、筋切り機が足の上に落下した。	60	165	4	100 ~ 299
2017	12	11~12	工場の倉庫内を休憩のため移動しているとき、委託業者の従業員がフォークリフトで荷物を荷物用エレベーターに乗せようとしていた。前方が見えていなかったため、荷物が本人の右腕と右脇腹に当たって打撲した。	68	222	6	100 ~ 299
2017	12	8~9	作業場で、白菜鍋加工のため白菜を包丁でカットする際、不注意で柄と刃を逆に持ってカットしたため、左手人差し指を切傷した。	23	379	8	500 ~ 999
2017	12	10~11	工場の用水処理場において、2名でスチームトラップ取り替え作業のため、ボルト（フランジ用）を緩めようとしたが緩まなかった。そのため被災者が応援に入り、ソケットレンチの柄にパイプ（長さ1m）を差し込み体重を掛けたところ、レンチの根元（ヒンジ箇所）で破断し、体勢が崩れて右足首を捻って転倒した。	56	379	2	1000 ~ 9999
			厨房内の事務室から洗浄シンクヘイサービス用のお茶給水器を運				

2017	12	18~19	搬中、段差で体のバランスを崩し、洗浄シンクのヘリ（縁）に左脇腹を強打した。痛みが治まらないため翌日に受診したところ、左肋骨3本の骨折とその衝撃による肺挫傷と診断された。	64	379	3	10~ 29
2017	12	17~18	当社の食肉加工場内で、原料肉（牛バラ1枚4~5kg）を作業台に置き、立って検品・異物除去作業を行っていた。異物を発見したので包丁で除去しようと冷凍肉に包丁を入れたところ、左手親指付け根に触れ、包丁で創傷し負傷した。	68	379	8	10~ 29
2017	12	9~10	工場1F米置き場において、原料米の整理をしていたとき、フレコン（米の台車）を移動させようとした際にバランスが崩れ、重さ約400kgの米袋が倒れて右足に当たり、骨折した。	58	611	5	30~ 49
2017	12	4~5	得意先に向っている際、現場直前で脇見運転をして視線を戻したとき、すぐ目の前に車が停止しており、急ブレーキをかけたが、ブレーキが効く前に衝突した。なお、前車は赤信号のため停止していた。	37	231	17	—
2017	12	6~7	原料納品のためラックを運搬していた際、足を滑らせて転倒した。その際にラックを掴んだ右腕を捻ってしまい、右肩脱臼を負った。	72	417	2	50~ 99
2017	12	14~15	パックしょうゆを取りに食品庫へ行った。仕込室から走って入ったときに、仕込室入口の壁寄りに置いてあった生ゴミの入ったビニール袋を踏んで滑って転倒し、左肘を強打した。	47	911	2	10~ 29
2017	12	18~19	食器類を洗浄する洗浄機で、おかずを入れるバツカンを洗っていたところ、機械内でバツカンが引っかかった。それを取ろうとしてバツカンを引っ張ったところ勢いよく外れ、左手人差し指に当たり裂傷し、病院で1針縫った。	67	169	6	30~ 49
2017	12	10~11	ファクトリー内の開梱エリアで、10kgの冷凍食材が入った箱を開梱中、手が滑って足の上に落とし、左足親指に打撲を負った。	58	611	4	300 ~ 499
			前処理検品場で、トマトペースト計量作業終了後に、ペーストで汚				

2017	12	6~7	れた長靴がベタベタしているのでお湯で洗い流したく、別の具材準備作業で汲み置かれた約80度の熱湯を、別の人に頼んでかけてもらったところ、誤って左足の長靴と作業服の境目にかかり、長靴内に熱湯が流れ込み、火傷を負った。	48	911	11	100 ~ 299
2017	12	4~5	盛付室において、包装資材が入ったケースを両手で持ち移動していた際、置いてあった台車に躓き転倒し負傷した。	57	362	2	100 ~ 299
2017	12	11~12	出来上がった棒寿司をプレートに20本並べ（重さ約7~8kg）、それを16枚収納できるボックスに入れる作業を行っていたときに、腰痛で辛くなったが我慢して作業を続けた。そのうち腰痛で支えきれなくなり、同僚に交代してもらった。	62	611	19	100 ~ 299
2017	12	11~12	麺ライン包装機のフィルム交換中に、貼っていたテープが上部で剥がれたため、それを直そうとカバーを開けずに下から手を入れたが、手が届かなかった。ラジオペンチを使ってフィルムを引っ張りながらフィルム送りのボタンを押そうとしたところ、体勢が不安定であったため、誤ってテストボタンを押してしまい、圧着器具に左手甲と手の平を挟まれた。	51	169	7	50~ 99
2017	12	9~10	自家用車で通勤し、北側駐車場に駐車した際、助手席に置いてあったバッグが倒れ、中の小物が助手席の足元に散乱したので、車を出て助手席側のドアを開け、散乱したバッグの中身を拾った。中身を拾い終え、左手で助手席のドアを閉めようとした際、体を支えるためにドア枠に右手をついたとき、右手親指がドアの開口部に残っていることに気づかずに閉め、右手親指を負傷した。	65	231	7	10~ 29
2017	12	11~12	工場内で、自動製函機を用いてダンボール箱の製造作業中、機械が全て行うので見守ることが作業であるが、順調に流れていたため心に余裕ができたのか、ダンボール組立前のシート状になっているダンボール10枚綴りを束ねている紐（コンベアーの下に置いている）を、コンテナに入れ込もうと左手を近づけ、左手指がチェーンに	36	169	7	10~ 29

			触れ、指を負傷した。				
2017	12	10~11	レトルト第1工場充填作業室内にて、年末大掃除のため壁および窓の清掃を実施中、被災者の後方5m先で、大掃除のため仮置きしていたパレット10枚を、フォークリフトを使って移動しようとするが爪が上手くささらず、ずれたパレットを直そうとする際に滑り落ちるように荷崩れした。その音を聞いて驚いた瞬間に、壁際床面と床面の段差に躓くような形で前方に転倒し、壁面に備え付けの水道蛇口と壁際床面にて左足前大腿部を強打した。	62	417	2	100 ~ 299
2017	12	21~22	加熱調理室にて、蒸気釜で豆腐をボイルしたあと、豆腐を取り出す作業中に、蒸気釜を少し傾けたところ、思った以上に熱湯が流れてきた。エプロンと長靴を着用していたが、隙間から長靴に熱湯が入り、右足足背（足の甲）を火傷した。	32	715	11	100 ~ 299
2017	12	11~12	給食配膳室の西側にある水道付近で、水やりのじょうろを片づけていたとき、脇見をしながら移動した際、水道の流しの段差に躓き転倒した。なお、水やりは冬は週一回午前中に行っており、用務員が中心となって行っているが、配膳室近くの鉢等、簡易なものについては、被災者が水やりをするのが慣習的行為になっていた。	72	418	2	10~ 29
2017	12	14~15	本社工場1階の流し場にて、流し場側面の油汚れを原液洗剤を使用してスポンジで擦っていたところ、手が滑り、右手首に痛みがはしった。当初はうずくまる程の痛みではなく、痛みが出てから直ぐに治るであろうという認識で、負荷を軽減しながら作業を続けてきたが、数日経っても痛みが治らなかった。	38	921	19	300 ~ 499
2017	12	15~16	製造終了後の機械の清掃作業中に、充填包装室内の架台上から備品・パーツを両手に持ってステップを下り、床に右足をついた際に右足がそのままスリップして転倒し、その際に左足首を捻った。そのとき両手がふさがっていたため、ステップの手すりを持つことができおらず、転倒した際にも受け身の姿勢をとれなかった。	45	413	2	50~ 99
			年末の大掃除を実施中に、普段より多くの物品が通路周辺に置かれ				

2017	12	13~14	ていた。集塵機の扉を洗浄した水が床にこぼれたため、床のモップがけを行っていた。被災者がその場所を通ったとき、滑って転倒し受傷した。	47	416	2	300 ~ 499
2017	12	23~24	工場内で製造作業の巡回中に、タコ焼き機の駆動部分（タコ焼きの鉄板が水平移動する部分）にタコ焼きのこげが落ちていることに気づき、機械を停止せずに左手でこげを取ろうとしたところ、鉄板が動いてきて、親指を挟まれて切断した。	47	165	7	30~ 49
2017	12	11~12	包装室で運搬作業中、後ろ向きに台車を引いていたところ、長靴の踵が引っ掛かり、後ろ向きに転倒した。	62	417	2	100 ~ 299
2017	12	5~6	盛り付け作業終了後、両手にゴミ袋を持ってゴミ庫へ行く途中、滑って転び、その際に右腕肘を強打し、骨折した。	73	417	2	100 ~ 299
2017	12	4~5	海苔枠に入った船を救助するため、漁場に向かい作業を行っていたところ、船の上から船底を見るために開閉出来るボックスが破損していたのに気がつかず、落下した。	55	239	1	1~9
2017	12	13~14	炊飯製造中、炊きあがったご飯を3枚の回転羽機でほぐす際、ほぐし羽に左手のビニール手袋が絡まり、手をとられ、手の平に5cm、手首から腕にかけて10cmの裂傷と左手腕に打撲を負い、怪我した部分を止血し、治療した。本来は、機械を止めてからするべきところを、止めずに行ってしまった。また、安全カバーがあり、ずらすことでほぐし羽根が停止するのだが、慌ててしまい、それを忘れていた。	64	165	7	100 ~ 299
2017	12	11~12	当社工場内で、次の作業をするために商品トレイを持って工場内を歩行中、床の水気で足を滑らせて後方へ転倒し、後頭部を負傷した。	60	417	2	10~ 29
			勤務する野菜調理場（野菜部）にて、野菜切断機では商品（葉物）				



2017	12	19~20	の価値が落ちるため、包丁とまな板を保管場所に取りに行く途中、調理台の間を曲がった際に、調理台の横にキャスター付きの運搬車があり、その台車に躓き転倒し、コンクリート床面で左膝を打撲した。	69	352	2	~ 499	300
2017	12	13~14	大豆を浸漬する工程で、洗穀機の大豆を製品タンクへ移すためホースを引っ張っているとき、バランスを崩して40cm位下の通路へ足を踏み外し、右足を負傷した。	58	418	1	~ 299	100
2017	12	6~7	出勤後、女子更衣室に作業服に着替えるため入室した際、自分のロッカーの前列手前の、ワックス掛けがしてあった通路で足が滑り転倒し、尻底骨辺りを床面に当て、一時的に動くことができなくなった。	50	417	2	~ 499	300
2017	12	9~10	細かく砕くために使用する破砕機で裁断途中で詰まりが発生し、被災者が対応した。その際、機械を停止したときに「触るな」の札をスイッチ上部に貼らずに対応したため、別の箇所で整備を実施していた主任が、被災者がトラブル対応をしていることに気がつかず、破砕機のスイッチを入れてしまったことで発生した。その際、被災者は削るような切り傷を負った。	29	165	8	~ 499	300
2017	12	11~12	包装場アンケーサー機にて作業中、作業終了後の確認をしていたところ、製品供給部の下に落下している製品があり、手を入れて取ろうとした。その際、まだ機械の電源を切っておらず、自動運転の状態だったため、ワークセンサーが反応し、切り出しコンベヤープレートが上昇し、プレートとコンテナ引き込み装置の間に手が挟まり負傷した。	43	169	7	~ 299	100
2017	12	8~9	トッピング室前通路にて、階段室からトッピング室に向けて移動中、就業開始時間に間に合わず気持ちが焦っていたため、通路を走ってしまい、気がつく転倒して頭部を打撲していた。	64	417	2	~ 499	300
			被災労働者は、規格外レーンを清掃時に、白いプラスチックチェーンの下部が黄身で汚れていたため清掃を行った。右手に雑巾を持					

2017	12	18~19	ち、左手でプラスチックチェーンを持ち上げて拭き取り清掃を行ったところ、右手の雑巾で拭く力でプラスチックチェーンが動いてしまい、左手の薬指がチェーンとスプロケットの間に挟まれ巻き込まれた。	50	121	7	10~ 29
2017	12	14~15	昼食の洗浄中、食器カゴを取ろうと1~2歩前に進んだところ、排水溝の蓋につま先が引っ掛かり、前のめりに転び、右肘と右足付け根を強打した。	59	416	2	10~ 29
2017	12	14~15	被災者は、収穫作業中、用足し（大便）のため作業場所を離れた。その際、段差のある畦畔付近で転倒し、左脛と左肩に打撲傷を負った。	70	719	2	1~9
2017	12	7~8	園の門を閉めているときに、閉める勢いで門に付いている鍵が落ちてきて、左手人差指を挟み、切ってしまった。	43	391	4	1~9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)